
第17回
八潮市市民意識調査
報告書

令和元年11月
八潮市

はじめに

本市では、「共生・協働」「安全・安心」を基本理念に、将来都市像である「住みやすさナンバー1のまち 八潮」の実現を目指して、まちづくりを進めております。

平成17年のつくばエクスプレスの開通により、都心等へのアクセスの向上や駅周辺を中心に住宅・商業施設の立地などが進み、本市の人口は増加傾向が続いております。今後も市民一人ひとりにとって、八潮に住むこと、住み続けることを誇りに思えるようなまちづくりに市民の皆様とともに取り組んでまいります。

本市では、市民の皆様から市政に対する意見や要望を伺い、市政運営に活用するため「市民の声ボックス制度」や「市長とまちづくりを語る集い」、「市民意識調査」などの広聴活動を実施しております。

今回の市民意識調査は、現在の皆様の生活意識や市政への要望及び評価の実態を把握するとともに、人権問題や男女共同参画の意識などについてご意見を伺うため、広聴活動の一環として実施いたしました。

市民の皆様から賜りました貴重なご意見やご要望につきましては、今後の市政運営の基礎資料として、有効に活用してまいります。

結びに、ご多用にもかかわらず、この調査にご協力いただきました市民の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和元年11月

八潮市長 大山 忍



目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の概要	3
3. 本調査報告書の留意点	3
第2章 調査結果	5
1. あなた（回答者）ご自身について	7
（1）性別	7
（2）年齢	8
（3）居住地区	9
（4）職業	10
（5）通勤・通学先	11
（6）家族構成	12
（7）65歳以上の同居家族	13
（8）中学生以下の同居家族	14
（9）住居形態	15
2. 定住意向・暮らしやすさについて	16
（1）居住年数	16
（2）定住意向	17
（3）住み続けたい理由	19
（4）引っ越したい理由	22
3. 市からの情報入手方法について	23
（1）市からの情報源	23
（2）「広報やしお」を読む頻度	25
（3）「広報やしお」の紙面について	26
（4）「広報やしお」の入手方法	29
（5）「広報やしお」を読まない理由	30
4. 市政に対する評価と今後への期待	31
（1）市政に対する満足度	31
（2）特に力を入れてほしい施策	43
（3）地域活動への参加状況	47
（4）参加したことがない理由	49
5. 人権問題について	50
（1）人権問題について	50
（2）人権が侵害されたと感じたこと	51
（3）人権侵害の内容	52

6-1. 男女共同参画について<男女共同参画の実現について>.....	54
(1) 男女共同参画の認知度.....	54
(2) 生活場面における男女の平等感.....	55
(3) 固定的な性別役割分担の考え方.....	60
(4) 家庭での役割分担.....	61
(5) 男女共同参画を推進するために必要なこと.....	66
(6) 地域組織のリーダーに女性が少ない理由.....	68
(7) 市議会議員に女性が少ない理由.....	69
(8) 女性が管理職になることについての考え.....	70
(9) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要のあること.....	71
6-2. 男女共同参画について<DVについて>.....	73
(1) DVの認知度.....	73
(2) DVを受けたり、見聞きした経験.....	74
(3) DVを防止するために必要なこと.....	75
6-3. 男女共同参画について<LGBTについて>.....	77
(1) LGBTの認知度.....	77
(2) 学校や職場内の人がLGBT等と知った後の接し方.....	79
(3) LGBT等のために必要な支援.....	80
6-4. 男女共同参画について<WLBについて>.....	81
(1) WLB（ワーク・ライフ・バランス）の認知度.....	81
(2) WLBを推進するために必要なこと.....	82
(3) 働き方の現実と理想.....	84
7. インターネット利用状況について.....	88
(1) インターネットの利用状況.....	88
(2) インターネットの利用頻度.....	89
(3) インターネットを利用する機器.....	90
(4) 市の電子申請システムの認知度.....	91
(5) 市ホームページの閲覧頻度.....	92
(6) 市ホームページに対する感想.....	93
(7) 市のメール配信サービスの認知度.....	95
8. 自由回答.....	96
(1) 市政等への意見や要望.....	96

第3章 調査票.....	101
--------------	-----

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市が推進している施策の満足度や重要度などを市民から聴取し、評価の実態を把握するとともに、市民の生活意識や市政への要望をうかがい、市政に市民の声を反映させるための基礎資料を得ることを目的として実施した。

※本調査に合わせて男女共同参画に関する調査を実施した。

2. 調査の概要

調査地域	八潮市全域
調査対象	八潮市在住の満18歳以上の市民 (令和元年6月1日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数(配布数)	3,000人
抽出方法	住民基本台帳から性別、町丁別、男女年齢構成比による等間隔無作為抽出
有効回収数(率)	941(31.4%)
実施期間	令和元年7月16日(火)～7月29日(月)

3. 本調査報告書の留意点

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」(number of case)は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、四捨五入の影響で、各回答の合計が100%にならない場合がある。
- ・2つ以上選んでよい間においては、1人の回答者が複数に回答可能のため、各回答の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・なお、本文の分析で用いている「居住地区別」の区分は下記のとおりである。

Aブロック	八條、鶴ヶ曾根、伊草、新町、小作田、松之木
Bブロック	上馬場、中馬場、中央一～四丁目、八潮一～八丁目、緑町一～五丁目
Cブロック	木曾根、二丁目、南川崎
Dブロック	伊勢野、大瀬、古新田、堀、大原、浮塚、大瀬一～六丁目、茜町一丁目
Eブロック	大曾根、西袋、柳之宮、南後谷

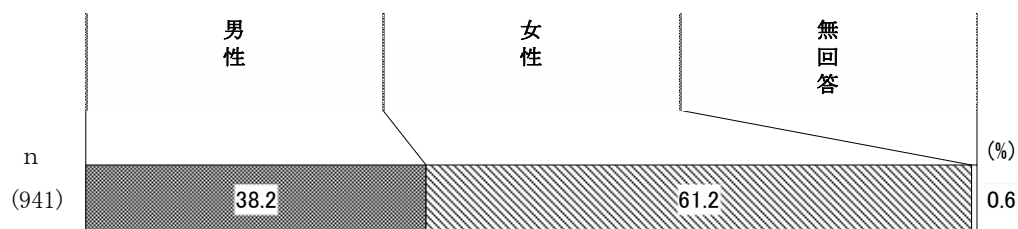
第2章 調査結果

1. あなた（回答者）ご自身について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。（あなたが自認している性別をお答えください。）

性別は、「男性」が38.2%、「女性」が61.2%である。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

		n	男性	女性	その他	無回答
全体		941	38.2	61.2	-	0.6
年代別	19歳以下	44	43.2	56.8	-	-
	20歳代	167	36.5	62.9	-	0.6
	30歳代	263	35.7	63.5	-	0.8
	40歳代	277	36.5	62.8	-	0.7
	50歳代	83	44.6	55.4	-	-
	60歳代	46	39.1	60.9	-	-
	70歳以上	58	48.3	51.7	-	-
居住地区別	Aブロック	116	37.9	62.1	-	-
	Bブロック	231	35.1	63.6	-	1.3
	Cブロック	125	40.0	60.0	-	-
	Dブロック	345	38.0	61.4	-	0.6
	Eブロック	123	43.1	56.1	-	0.8

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

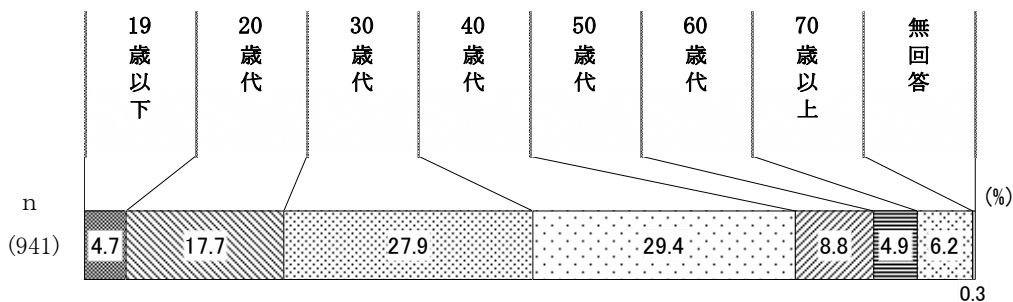
(2) 年齢

問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

年齢は、「40歳代」(29.4%)、「30歳代」(27.9%)が他の年代より多い。

性別では、年代別回答の男女比に特に大きな差はみられない。

居住地区別でみると、「30歳代」はC、Dブロックで、「40歳代」はA、Eブロックでそれぞれ3割台である。



【性別、居住地区別】

(単位: %)

		n	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		941	4.7	17.7	27.9	29.4	8.8	4.9	6.2	0.3
性別	男性	359	5.3	17.0	26.2	28.1	10.3	5.0	7.8	0.3
	女性	576	4.3	18.2	29.0	30.2	8.0	4.9	5.2	0.2
居住地区別	Aブロック	116	6.0	17.2	17.2	32.8	7.8	5.2	13.8	-
	Bブロック	231	6.5	19.5	23.4	28.1	8.2	9.1	4.8	0.4
	Cブロック	125	7.2	13.6	33.6	24.8	11.2	3.2	6.4	-
	Dブロック	345	2.6	20.0	35.1	29.0	6.7	2.3	3.8	0.6
	Eブロック	123	3.3	13.0	20.3	35.0	14.6	5.7	8.1	-

※網掛けは最も多いもの

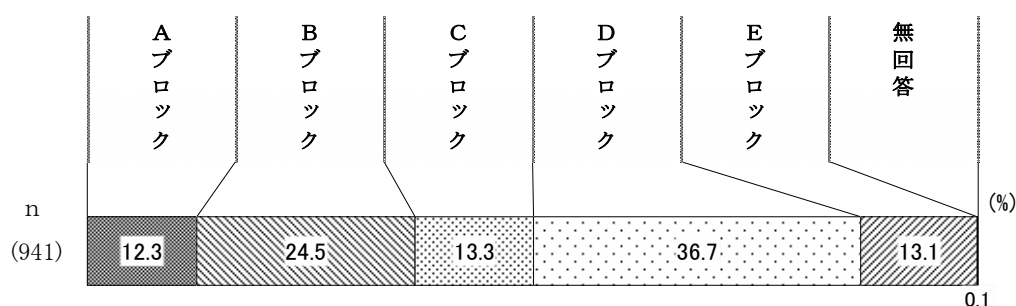
(3) 居住地区

問3 あなたのお住まいの地区をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

居住地区は、「Dブロック」が36.7%、「Bブロック」が24.5%と他のブロックより多い。

性別では、ブロック別回答の男女比に特に大きな差はみられない。

年代別でみると、「Dブロック」では20歳代から50歳代が、「Bブロック」では19歳以下と60歳代が多く、「Aブロック」では70歳以上が最も多い。



Aブロック… 八條、鶴ヶ曾根、伊草、新町、小作田、松之木

Bブロック… 上馬場、中馬場、中央一～四丁目、八潮一～八丁目、緑町一～五丁目

Cブロック… 木曾根、二丁目、南川崎

Dブロック… 伊勢野、大瀬、古新田、圀、大原、浮塚、大瀬一～六丁目、茜町一丁目

Eブロック… 大曾根、西袋、柳之宮、南後谷

【性別、年代別】

(単位: %)

		n	A ブ ロ ッ ク	B ブ ロ ッ ク	C ブ ロ ッ ク	D ブ ロ ッ ク	E ブ ロ ッ ク	無 回 答
全体		941	12.3	24.5	13.3	36.7	13.1	0.1
性別	男性	359	12.3	22.6	13.9	36.5	14.8	-
	女性	576	12.5	25.5	13.0	36.8	12.0	0.2
年代別	19歳以下	44	15.9	34.1	20.5	20.5	9.1	-
	20歳代	167	12.0	26.9	10.2	41.3	9.6	-
	30歳代	263	7.6	20.5	16.0	46.0	9.5	0.4
	40歳代	277	13.7	23.5	11.2	36.1	15.5	-
	50歳代	83	10.8	22.9	16.9	27.7	21.7	-
	60歳代	46	13.0	45.7	8.7	17.4	15.2	-
	70歳以上	58	27.6	19.0	13.8	22.4	17.2	-

※網掛けは最も多いもの

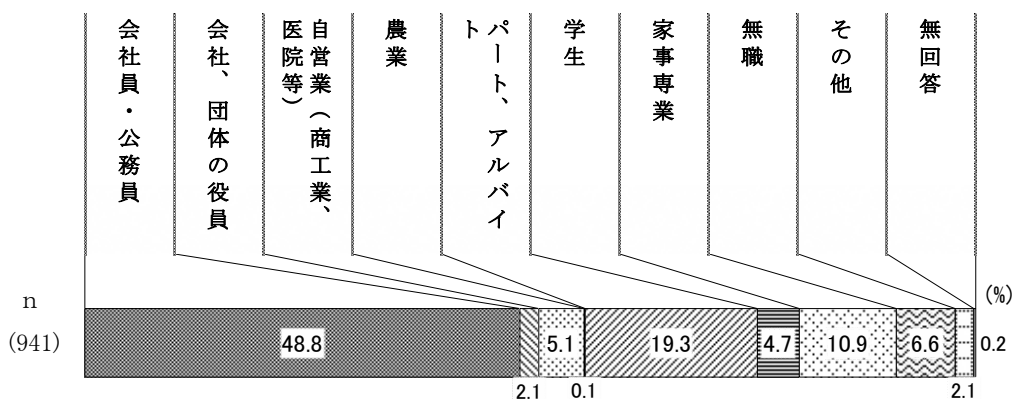
(4) 職業

問4 あなたのご職業をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

職業は、「会社員・公務員」が48.8%で約半数と多く、「パート・アルバイト」が19.3%であり、就労をしている人は全体の75.4%である。

性別で見ると、男性は「会社員・公務員」が66.3%、女性は「会社員・公務員」が37.8%、「パート、アルバイト」が28.0%、「家事専業」が17.7%である。

年代別で見ると、「会社員・公務員」は20歳代と30歳代で6割前後、40歳代と50歳代で4割台であり、「パート、アルバイト」は20歳代と30歳代で1割台、40歳代から60歳代では2割台である。



【性別、年代別】

(単位: %)

		n	会社員・公務員	会社・団体の役員	自営業(商工業、医院等)	農業	パート、アルバイト	学生	家事専業	無職	その他	無回答
全体		941	48.8	2.1	5.1	0.1	19.3	4.7	10.9	6.6	2.1	0.2
性別	男性	359	66.3	3.1	7.8	-	5.3	6.1	0.3	8.9	1.9	0.3
	女性	576	37.8	1.6	3.5	0.2	28.0	3.8	17.7	5.0	2.3	0.2
年代別	19歳以下	44	13.6	-	-	-	2.3	75.0	-	4.5	4.5	-
	20歳代	167	63.5	3.0	1.2	-	12.6	6.0	7.8	4.2	1.8	-
	30歳代	263	59.3	1.1	4.2	-	16.3	0.4	14.1	2.7	1.1	0.8
	40歳代	277	48.4	2.2	3.2	-	29.6	-	10.5	3.6	2.5	-
	50歳代	83	43.4	3.6	12.0	-	20.5	-	10.8	8.4	1.2	-
	60歳代	46	32.6	4.3	19.6	-	21.7	-	10.9	6.5	4.3	-
	70歳以上	58	8.6	1.7	12.1	1.7	12.1	-	17.2	43.1	3.4	-

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

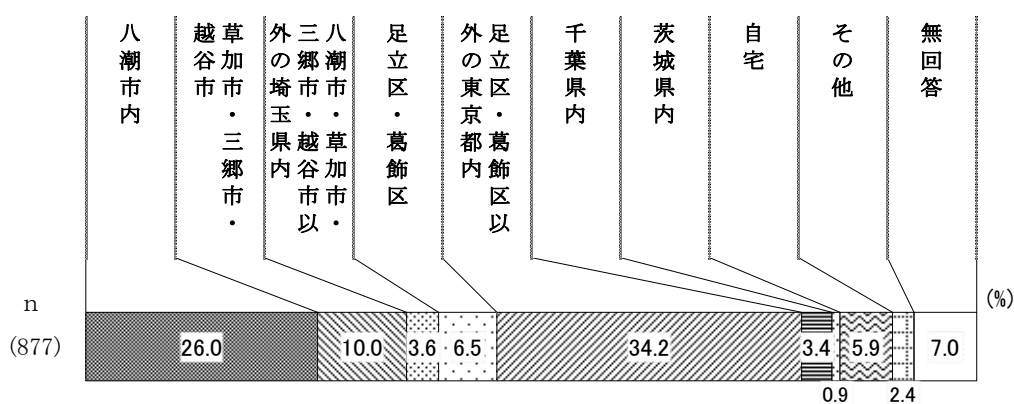
(5) 通勤・通学先

問5 あなたの通勤・通学先をおたずねします（パートタイマー等の方も含みます）。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

通勤・通学先は、「足立区・葛飾区以外の東京都内」が34.2%であり、「八潮市内」が26.0%、「草加市・三郷市・越谷市」が10.0%、「足立区・葛飾区」が6.5%である。

年代別でみると、「足立区・葛飾区以外の東京都内」は20歳代と30歳代で4割台であり、「八潮市内」は60歳代までは年代が高くなるほど多く、60歳代で5割台である。

居住地区別でみると、「足立区・葛飾区以外の東京都内」はDブロックで4割台、「八潮市内」はA、B、Cブロックで3割台である。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

	n	八潮市内	谷草加市・三郷市・越	埼玉県内	八潮市・草加市・三郷市以外	足立区・葛飾区	の東京都内	足立区・葛飾区以外	千葉県内	茨城県内	自宅	その他	無回答
		n											
全体	877	26.0	10.0	3.6	6.5	34.2	3.4	0.9	5.9	2.4	7.0		
年代別	19歳以下	42	9.5	16.7	26.2	-	31.0	4.8	-	2.4	9.5	-	
	20歳代	160	18.1	10.0	3.1	5.0	45.0	6.3	2.5	3.1	2.5	4.4	
	30歳代	254	23.2	7.1	1.2	5.5	43.3	2.8	0.8	7.5	0.4	8.3	
	40歳代	267	29.6	10.9	3.0	9.0	31.5	3.0	0.4	4.5	2.6	5.6	
	50歳代	76	34.2	13.2	2.6	10.5	21.1	2.6	-	10.5	-	5.3	
	60歳代	43	51.2	9.3	2.3	7.0	7.0	2.3	2.3	4.7	7.0	7.0	
	70歳以上	33	27.3	9.1	6.1	-	6.1	-	-	15.2	3.0	33.3	
居住地区別	Aブロック	105	39.0	15.2	6.7	-	20.0	3.8	-	5.7	1.9	7.6	
	Bブロック	215	32.6	11.6	5.1	5.6	23.7	2.8	0.5	6.5	3.3	8.4	
	Cブロック	115	32.2	11.3	4.3	4.3	30.4	2.6	-	4.3	3.5	7.0	
	Dブロック	329	16.7	5.2	0.9	7.6	48.9	4.3	2.1	5.8	2.4	6.1	
	Eブロック	112	22.3	15.2	5.4	13.4	27.7	2.7	-	7.1	-	6.3	

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

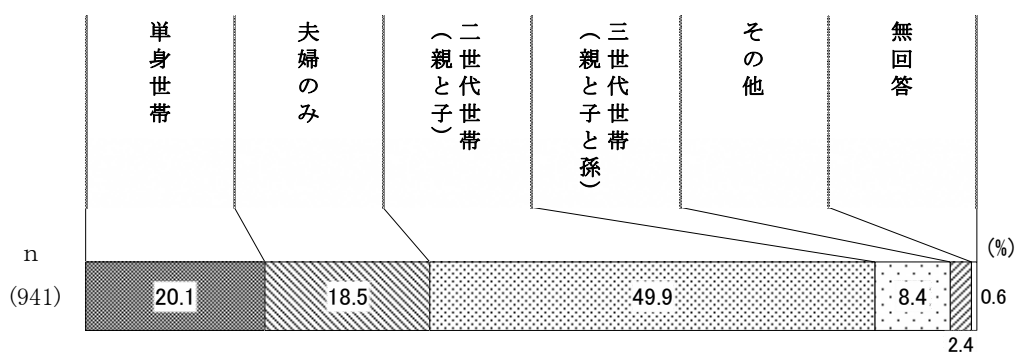
(6) 家族構成

問6 あなたの家族構成をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

家族構成は「二世世代世帯（親と子）」（49.9%）がほぼ半数であり、「単身世帯」と「夫婦のみ」が2割前後である。

年代別で見ると、「二世世代世帯（親と子）」では19歳以下から60歳代までが、「夫婦のみ」は70歳以上が最も多い。

居住地区別で見ると、「二世世代世帯（親と子）」がいずれの地区でも最も多く、特にEブロックでは6割を超えている。「夫婦のみ」や「単身世帯」はDブロックで2割台と他の地区より多い。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

	n	単身世帯	夫婦のみ	二世世代世帯 (親と子)	三世世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答	
全体	941	20.1	18.5	49.9	8.4	2.4	0.6	
年代別	19歳以下	44	9.1	-	68.2	18.2	4.5	-
	20歳代	167	35.9	13.2	39.5	9.0	1.8	0.6
	30歳代	263	13.3	19.4	58.2	6.5	1.9	0.8
	40歳代	277	20.6	14.8	50.5	11.2	2.2	0.7
	50歳代	83	15.7	24.1	55.4	3.6	1.2	-
	60歳代	46	10.9	34.8	39.1	8.7	6.5	-
	70歳以上	58	25.9	41.4	24.1	1.7	5.2	1.7
居住地区別	Aブロック	116	12.1	17.2	52.6	12.9	3.4	1.7
	Bブロック	231	17.3	17.3	51.9	9.1	3.0	1.3
	Cブロック	125	18.4	12.8	56.0	8.8	4.0	-
	Dブロック	345	27.2	23.8	41.7	5.8	1.4	-
	Eブロック	123	14.6	13.0	61.0	9.8	1.6	-

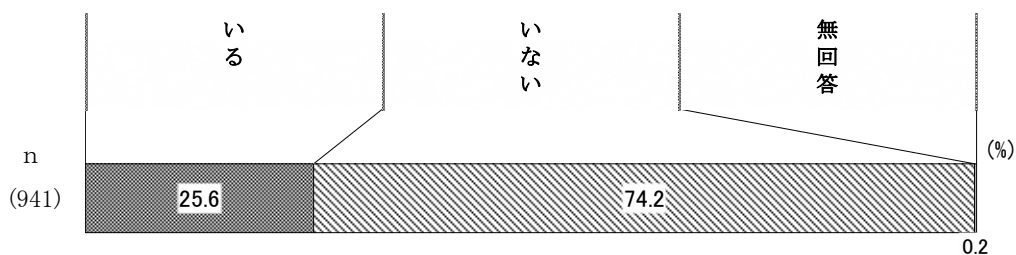
※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

(7) 65歳以上の同居家族

問7 あなたご自身を含めて同居の家族の中に65歳以上の方はいますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

65歳以上の同居家族が「いる」は25.6%、「いない」は74.2%である。

居住地区別でみると、「いる」はAブロックで47.4%、Eブロックで39.0%と他の地区より多い。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

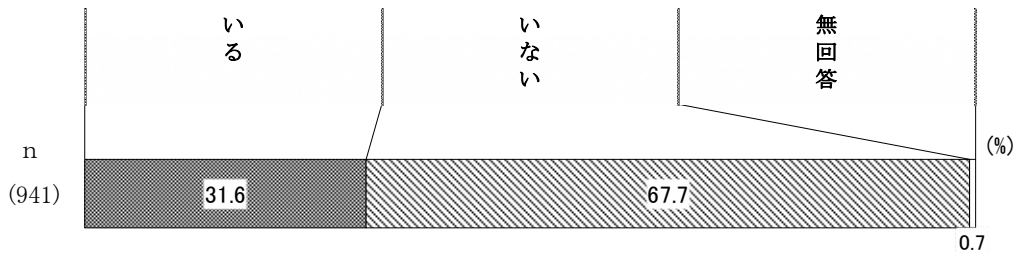
		n	いる	いない	無回答
全体		941	25.6	74.2	0.2
年代別	19歳以下	44	20.5	79.5	-
	20歳代	167	12.6	87.4	-
	30歳代	263	15.6	84.0	0.4
	40歳代	277	25.3	74.7	-
	50歳代	83	39.8	60.2	-
	60歳代	46	50.0	50.0	-
	70歳以上	58	72.4	25.9	1.7
居住地区別	Aブロック	116	47.4	51.7	0.9
	Bブロック	231	24.7	75.3	-
	Cブロック	125	23.2	76.8	-
	Dブロック	345	15.1	84.9	-
	Eブロック	123	39.0	61.0	-

※網掛けは最も多いもの

(8) 中学生以下の同居家族

問8 同居の家族の中に中学生以下の方はいますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

中学生以下の同居家族が「いる」は31.6%、「いない」は67.7%である。
 年代別で見ると、「いる」は30歳代で51.7%、40歳代で40.1%である。
 居住地区別で見ると、「いる」はCブロックで40.0%と他の地区より多い。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

	n	いる	いない	無回答	
全体	941	31.6	67.7	0.7	
年代別	19歳以下	44	22.7	75.0	2.3
	20歳代	167	16.2	83.8	-
	30歳代	263	51.7	47.9	0.4
	40歳代	277	40.1	59.9	-
	50歳代	83	8.4	90.4	1.2
	60歳代	46	8.7	91.3	-
	70歳以上	58	1.7	91.4	6.9
居住地区別	Aブロック	116	25.0	74.1	0.9
	Bブロック	231	30.7	69.3	-
	Cブロック	125	40.0	59.2	0.8
	Dブロック	345	32.5	67.0	0.6
	Eブロック	123	28.5	69.9	1.6

※網掛けは最も多いもの

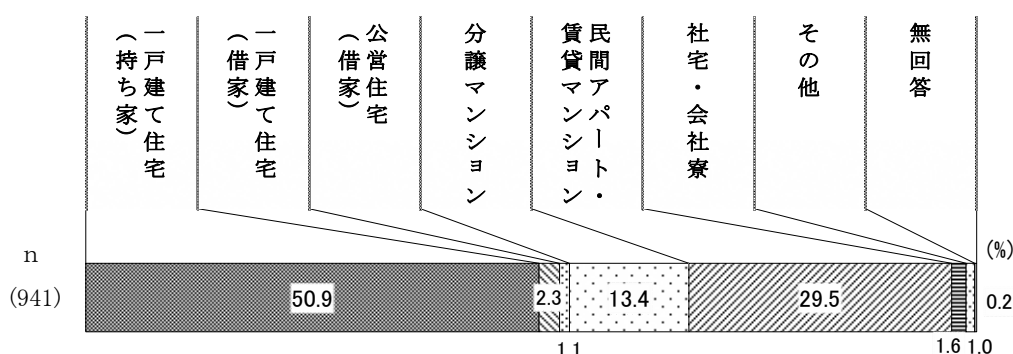
(9) 住居形態

問9 あなたの住宅の形態をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

居住形態は、「一戸建て住宅（持ち家）」が50.9%と半数以上、「民間アパート・賃貸マンション」が29.5%、「分譲マンション」が13.4%である。

年代別で見ると、「一戸建て住宅（持ち家）」が20歳代以外のすべての年代で最も多く、「民間アパート・賃貸マンション」では20歳代が最も多い。

居住地区別で見ると、「一戸建て住宅（持ち家）」がDブロック以外のすべての地区で最も多く、5割以上であり、「民間アパート・賃貸マンション」ではDブロックが4割台で最も多い。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

	n	一戸建て住宅 (持ち家)	一戸建て住宅 (借家)	公営住宅 (借家)	分譲 マンション	民間 アパ ート・ 賃貸 マン シヨ ン	社宅・ 会社寮	その他	無 回 答	
										n
全体	941	50.9	2.3	1.1	13.4	29.5	1.6	1.0	0.2	
年代別	19歳以下	44	63.6	6.8	2.3	6.8	11.4	4.5	2.3	2.3
	20歳代	167	32.9	3.0	-	6.0	53.9	4.2	-	-
	30歳代	263	44.1	1.5	-	16.0	35.4	1.1	1.5	0.4
	40歳代	277	55.6	1.4	1.1	18.1	23.8	-	-	-
	50歳代	83	61.4	3.6	3.6	12.0	14.5	2.4	2.4	-
	60歳代	46	65.2	4.3	2.2	13.0	10.9	2.2	2.2	-
	70歳以上	58	75.9	1.7	3.4	6.9	10.3	-	1.7	-
居住地区別	Aブロック	116	69.0	1.7	6.0	6.9	10.3	1.7	4.3	-
	Bブロック	231	56.3	3.5	1.3	6.5	29.9	2.2	-	0.4
	Cブロック	125	61.6	0.8	-	8.8	26.4	2.4	-	-
	Dブロック	345	31.6	1.2	-	22.6	42.6	1.2	0.9	-
	Eブロック	123	67.5	5.7	-	11.4	13.8	0.8	0.8	-

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

2. 定住意向・暮らしやすさについて

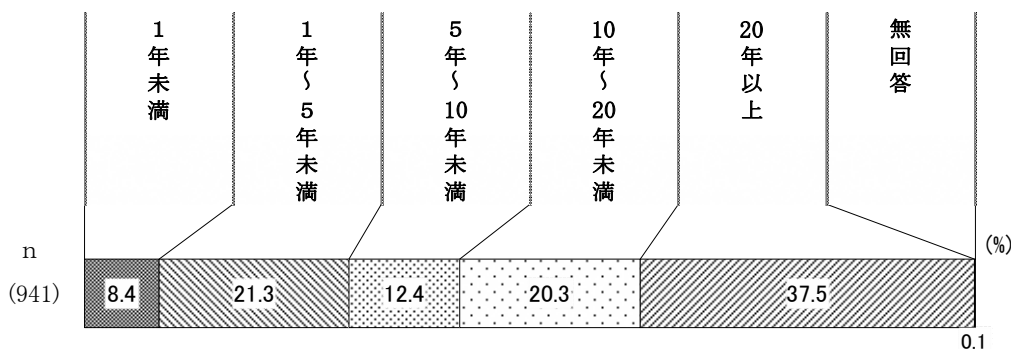
(1) 居住年数

問10 あなたは、八潮市に住んでから何年になりますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

居住年数は「20年以上」の居住者が37.5%、「1年～5年未満」が21.3%、「10年～20年未満」が20.3%である。

年代別で見ると、「20年以上」は50歳代以上で多く、60歳代と70歳以上で8割台である。また、「10年～20年未満」は19歳以下で8割台、「1年～5年未満」は20歳代と30歳代で3割台と他の年代より多い。

居住地区別で見ると、「20年以上」はDブロック以外で最も多く、A、Eブロックでは5割台である。「1年～5年未満」ではDブロックが3割台で最も多い。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

		n	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	無回答
全体		941	8.4	21.3	12.4	20.3	37.5	0.1
年代別	19歳以下	44	6.8	9.1	2.3	81.8	-	-
	20歳代	167	18.6	35.9	5.4	6.0	34.1	-
	30歳代	263	10.3	35.0	19.0	13.7	22.1	-
	40歳代	277	4.7	11.6	17.7	32.1	33.9	-
	50歳代	83	2.4	9.6	2.4	16.9	67.5	1.2
	60歳代	46	4.3	2.2	8.7	4.3	80.4	-
	70歳以上	58	1.7	5.2	3.4	3.4	86.2	-
居住地区別	Aブロック	116	0.9	8.6	12.1	19.0	59.5	-
	Bブロック	231	5.6	16.0	9.5	25.1	43.3	0.4
	Cブロック	125	7.2	18.4	12.8	19.2	42.4	-
	Dブロック	345	14.8	32.8	15.9	17.1	19.4	-
	Eブロック	123	4.1	13.8	8.1	22.0	52.0	-

※網掛けは最も多いもの

(2) 定住意向

問11 あなたは、八潮市に引き続き住みたいですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

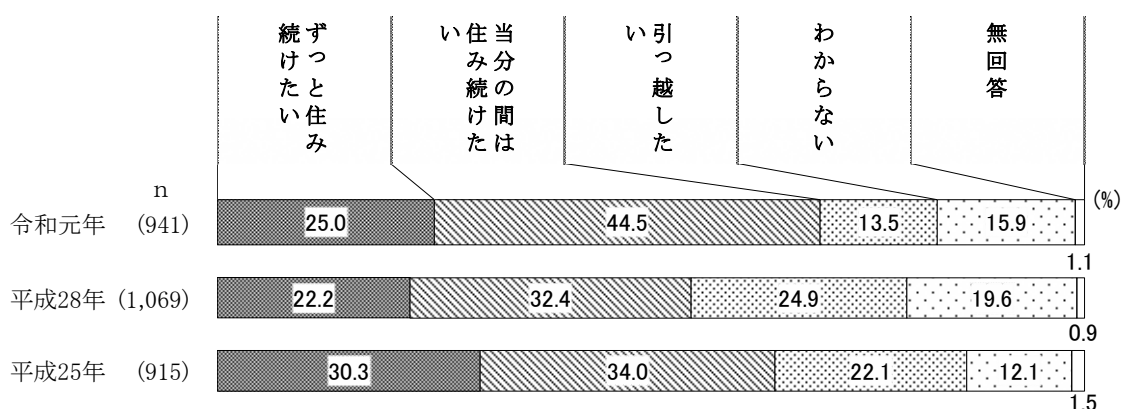
八潮市への定住意向は、「当分の間は住み続けたい」が44.5%、「ずっと住み続けたい」が25.0%であり、これらを合わせた《住み続けたい》は69.5%である。

過去の調査と比較すると、平成28年度調査（以降：前回調査）では《住み続けたい》は54.6%、「引っ越したい」は24.9%であったが、今回調査では《住み続けたい》は14.9ポイント上昇、「引っ越したい」は11.4ポイント減少している。

年代別でみると、《住み続けたい》はいずれの年代でも5割以上である。

居住地区別でみると、《住み続けたい》はAからDブロックで7割前後、Eブロックでも6割台である。

その他、家族構成別、65歳以上の同居家族別、中学生以下の同居家族別、居住形態別、居住年数別でみると、いずれも《住み続けたい》が6割以上である。



※前々回、前回調査では「引っ越したい」の選択肢は「引っ越したい」と「ぜひ引っ越したい」の2段階であったため、これの合計値を比較した。

【年代別、居住地区別】

(単位: %)

	n	ずっと住みたい	当分の間は住み続けたい	引っ越したい	わからない	無回答	
全体	941	25.0	44.5	13.5	15.9	1.1	
年代別	19歳以下	44	11.4	38.6	15.9	34.1	-
	20歳代	167	12.0	52.1	18.0	16.2	1.8
	30歳代	263	20.2	51.7	12.5	14.4	1.1
	40歳代	277	24.2	47.3	13.4	14.4	0.7
	50歳代	83	33.7	32.5	16.9	15.7	1.2
	60歳代	46	39.1	28.3	8.7	23.9	-
	70歳以上	58	74.1	12.1	3.4	8.6	1.7
居住地区別	Aブロック	116	33.6	34.5	18.1	13.8	-
	Bブロック	231	28.1	41.6	15.2	14.3	0.9
	Cブロック	125	25.6	43.2	14.4	16.8	-
	Dブロック	345	18.8	53.6	10.4	15.4	1.7
	Eブロック	123	27.6	35.8	13.0	22.0	1.6

※網掛けは最も多いもの

第2章 調査結果

【家族構成別、65歳以上の同居家族別、中学生以下の同居家族別、居住形態別、居住年数別】

(単位:%)

		n	続 け ず つ け た と い 住 み	住 当 分 続 の け 間 た は い	引 つ 越 し た い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		941	25.0	44.5	13.5	15.9	1.1
家族 構 成 別	単身世帯	189	18.0	54.0	9.5	16.9	1.6
	夫婦のみ	174	26.4	45.4	12.6	13.8	1.7
	二世帯世帯(親と子)	470	26.0	42.1	15.1	16.2	0.6
	三世帯世帯(親と子と孫)	79	29.1	38.0	17.7	13.9	1.3
	その他	23	34.8	30.4	4.3	30.4	-
の65 族 別 同 居 家 族 上	いる	241	38.6	29.0	11.2	20.3	0.8
	いない	698	20.3	50.0	14.2	14.3	1.1
下 の 同 居 家 族 別	いる	297	24.6	48.5	12.8	12.8	1.3
	いない	637	25.0	43.0	13.7	17.4	0.9
居 住 形 態 別	一戸建て住宅(持ち家)	479	36.3	34.7	13.2	14.4	1.5
	一戸建て住宅(借家)	22	22.7	40.9	13.6	22.7	-
	公営住宅(借家)	10	40.0	30.0	20.0	10.0	-
	分譲マンション	126	21.4	54.8	8.7	15.1	-
	民間アパート・賃貸マンション	278	7.9	56.1	16.2	18.7	1.1
	社宅・会社寮	15	13.3	60.0	13.3	13.3	-
	その他	9	11.1	66.7	-	22.2	-
居 住 年 数 別	1年未満	79	11.4	58.2	11.4	19.0	-
	1年～5年未満	200	17.0	55.5	13.0	13.5	1.0
	5年～10年未満	117	20.5	47.0	15.4	14.5	2.6
	10年～20年未満	191	16.8	50.8	17.8	14.1	0.5
	20年以上	353	38.5	31.2	11.3	18.1	0.8

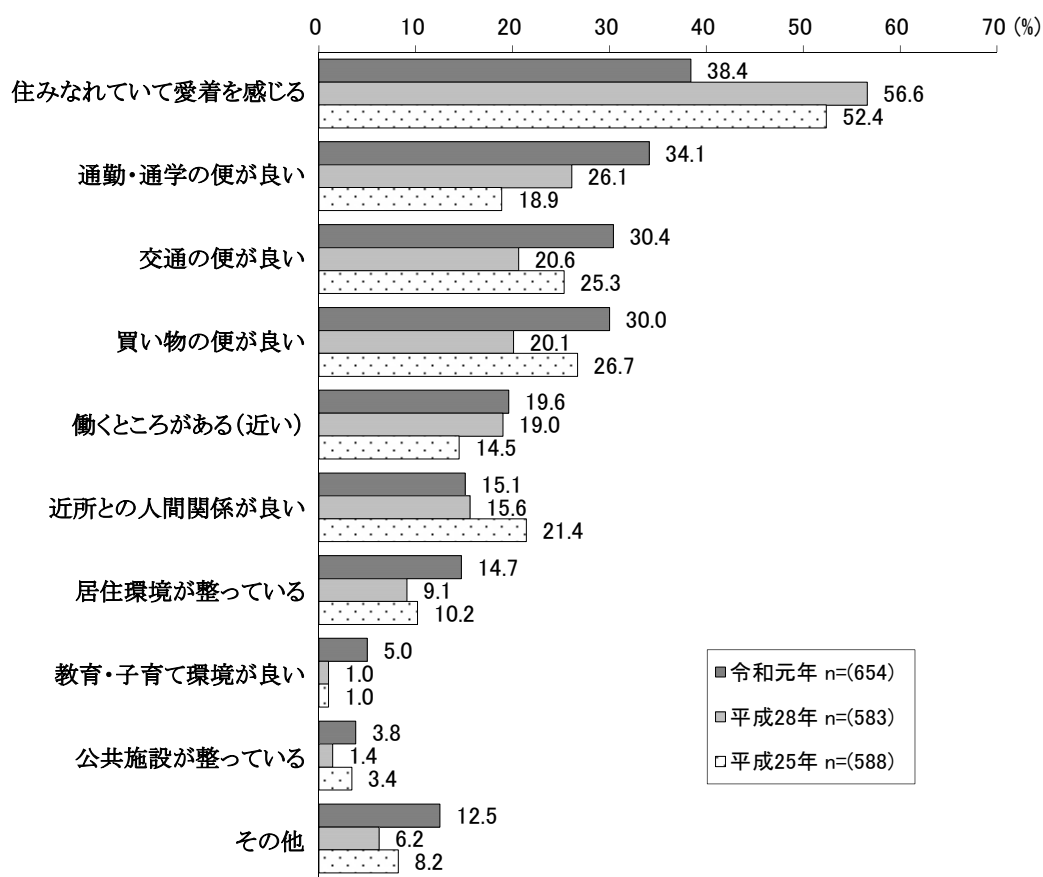
※網掛けは最も多いもの

(3) 住み続けたい理由

※問11で“ずっと住み続けたい”または“当分の間は住み続けたい”を選択された方
 問11-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○印をおつけください。
 (複数選択可)

八潮市に住み続けたい理由は、「住みなれていて愛着を感じる」が38.4%で最も多く、次いで「通勤・通学の便が良い」(34.1%)、「交通の便が良い」(30.4%)、「買い物の便が良い」(30.0%)といずれも3割台である。

過去の調査と比較すると、「通勤・通学の便が良い」、「交通の便が良い」、「買い物の便が良い」が特に増えている。



第2章 調査結果

年代別でみると、「通勤・通学の便が良い」は20歳代から40歳代が、「住みなれていて愛着を感じる」は50歳代以上が多く、特に60歳代以上では7割以上である。

居住地区別でみると、「住みなれていて愛着を感じる」はDブロック以外が、「通勤・通学の便が良い」と「交通の便が良い」ではDブロックが多い。

家族構成別でみると、「住みなれていて愛着を感じる」は単身世帯以外が、「通勤・通学の便が良い」では単身世帯が多い。

居住形態別でみると、「住みなれていて愛着を感じる」は一戸建て住宅（持ち家）が、「通勤・通学の便が良い」では民間アパート・賃貸マンションが多い。

居住年数別でみると、「住みなれていて愛着を感じる」は10年以上で、「通勤・通学の便が良い」は10年未満が多い。

【年代別、居住地区別、家族構成別、居住形態別、居住年数別】

(単位:%)

	n	を住み なれて いて愛着 を感じる	い通 勤・通 学の便が良 い	交 通の便が良 い	買 い物の便が良 い	(働 くところ がある (近い))	良 近所との 人間関係が 良い	る居 住環境が整っ てい	良 教育・子 育て環境が 良い	る公 共施設が整っ てい	そ の他	無 回 答	
全体	654	38.4	34.1	30.4	30.0	19.6	15.1	14.7	5.0	3.8	12.5	0.5	
年代別	19歳以下	22	68.2	31.8	31.8	22.7	13.6	4.5	4.5	9.1	9.1	4.5	
	20歳代	107	33.6	42.1	30.8	26.2	18.7	9.3	19.6	5.6	8.4	-	
	30歳代	189	24.3	40.2	33.3	31.7	20.1	17.5	22.8	9.0	3.7	15.3	
	40歳代	198	34.8	39.4	32.3	31.3	21.2	17.2	10.1	3.5	2.5	12.1	
	50歳代	55	43.6	23.6	29.1	29.1	21.8	12.7	5.5	-	-	10.9	
	60歳代	31	80.6	9.7	19.4	32.3	32.3	12.9	9.7	3.2	3.2	3.2	3.2
	70歳以上	50	70.0	-	20.0	30.0	6.0	20.0	10.0	-	2.0	6.0	2.0
居住地区別	Aブロック	79	49.4	12.7	15.2	30.4	29.1	19.0	11.4	3.8	5.1	15.2	1.3
	Bブロック	161	45.3	28.6	24.8	31.1	24.2	12.4	14.3	4.3	5.0	11.8	-
	Cブロック	86	41.9	32.6	25.6	20.9	26.7	23.3	8.1	4.7	3.5	14.0	1.2
	Dブロック	250	26.8	48.0	40.0	33.6	12.0	12.0	18.4	7.6	4.0	12.8	0.4
	Eブロック	78	46.2	24.4	32.1	25.6	16.7	17.9	14.1	-	-	9.0	-
家族構成別	単身世帯	136	30.1	44.9	30.1	30.9	15.4	8.8	20.6	4.4	5.9	10.3	0.7
	夫婦のみ	125	38.4	33.6	36.0	36.0	16.0	8.0	16.0	3.2	6.4	10.4	0.8
	二世帯世帯(親と子)	320	39.1	31.3	30.0	29.4	20.3	19.7	12.8	6.6	1.9	14.4	0.3
	三世帯世帯(親と子と孫)	53	52.8	22.6	26.4	18.9	32.1	22.6	13.2	3.8	5.7	11.3	-
	その他	15	53.3	33.3	20.0	26.7	33.3	6.7	-	-	-	20.0	-
居住形態別	一戸建て住宅(持ち家)	340	49.4	22.1	25.0	23.8	22.1	22.1	10.0	2.9	2.1	13.2	0.9
	一戸建て住宅(借家)	14	50.0	35.7	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	-	-	7.1	-
	公営住宅(借家)	7	71.4	42.9	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	14.3	-
	分譲マンション	96	25.0	41.7	43.8	41.7	12.5	19.8	22.9	9.4	3.1	10.4	-
	民間アパート・賃貸マンション	178	24.2	51.7	34.8	35.4	17.4	2.2	20.8	6.7	7.3	12.4	-
	社宅・会社寮	11	9.1	54.5	36.4	45.5	36.4	-	9.1	-	9.1	18.2	-
	その他	7	28.6	14.3	28.6	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	-
居住年数別	1年未満	55	5.5	45.5	32.7	32.7	12.7	3.6	30.9	14.5	5.5	20.0	-
	1年～5年未満	145	13.1	49.0	35.9	33.8	11.0	4.1	22.1	5.5	5.5	14.5	0.7
	5年～10年未満	79	19.0	55.7	44.3	45.6	19.0	21.5	15.2	7.6	2.5	11.4	-
	10年～20年未満	129	34.9	34.1	33.3	26.4	23.3	20.9	14.7	3.9	4.7	9.3	0.8
	20年以上	246	68.7	15.9	20.7	24.0	24.4	19.1	6.5	2.4	2.4	11.8	0.4

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

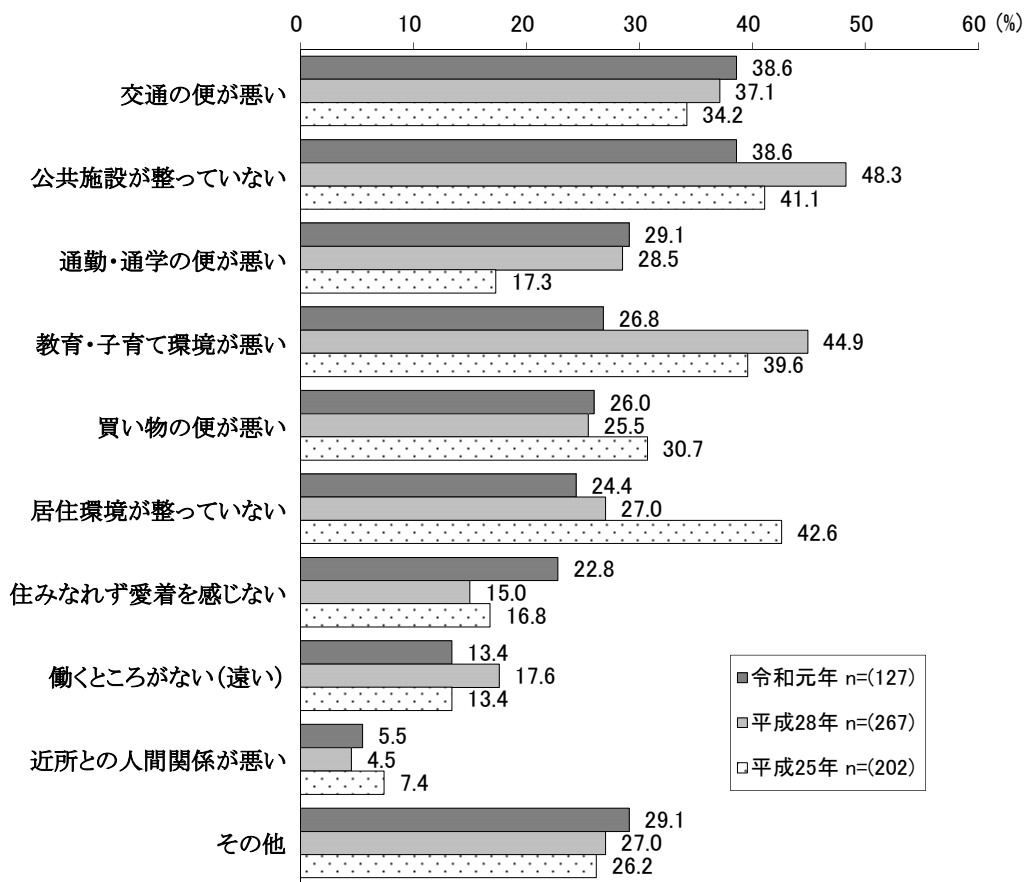
(4) 引っ越したい理由

※問11で「引っ越したい」を選択された方に

問11-2 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○印をおつけください。

(複数選択可)

引っ越したい理由は、「交通の便が悪い」と「公共施設が整っていない」が38.6%で最も多く、次いで「通勤・通学の便が悪い」が29.1%、「教育・子育て環境が悪い」が26.8%、「買い物の便が悪い」が26.0%である。



3. 市からの情報入手方法について

(1) 市からの情報源

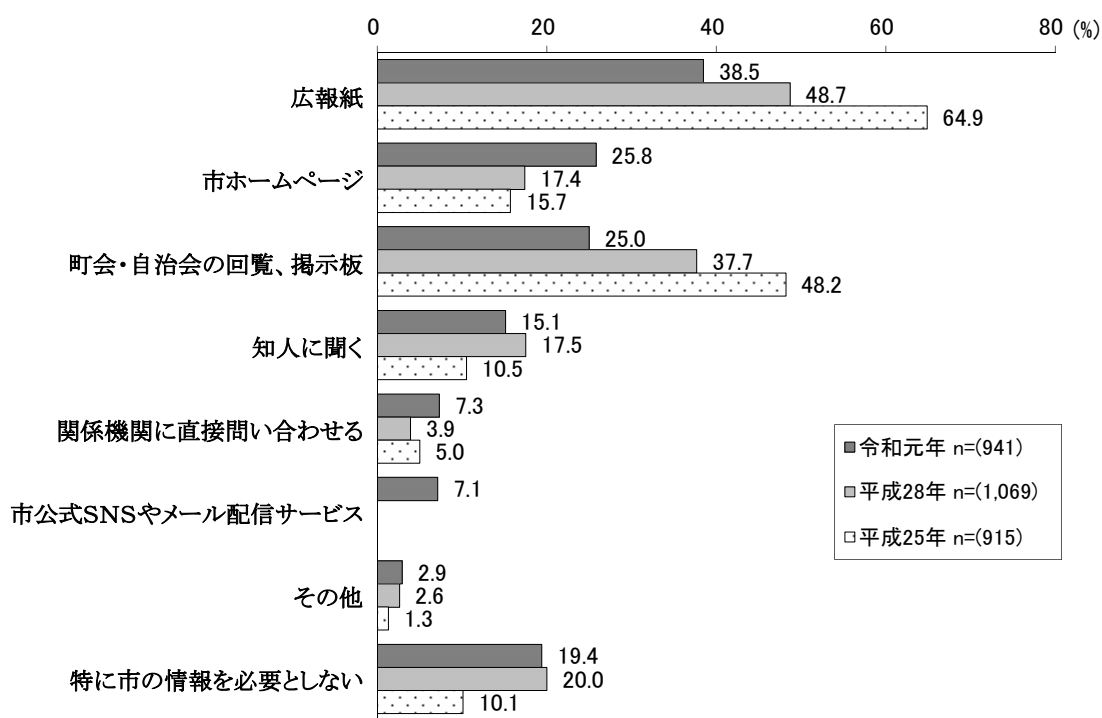
問12 あなたは、市からの情報をどのように得ていますか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

市からの情報源は、「広報紙」が38.5%で最も多く、次いで「市ホームページ」が25.8%、「町会・自治会の回覧、掲示板」が25.0%である。また、「特に市の情報を必要としない」は19.4%である。

過去の調査と比較すると、「広報紙」や「町会・自治会の回覧、掲示板」は各年で上位にあげられているが、調査を重ねるごとに減少が続いている。一方、「市ホームページ」は前回調査から8.4ポイント増加して25.8%であり、紙媒体からデジタルメディアへと情報源が様変わりしている様子がうかがえる。

年代別でみると、「広報紙」は40歳代以上が最も多く、年代が高くなるほど多くなり、70歳以上では72.4%である。また、「市ホームページ」は20歳代と30歳代が最も多く、「町会・自治会の回覧・掲示板」は20歳以上で、年代が高くなるほど多い。

居住地区別でみると、「広報紙」はいずれの地区でも最も多い。



※「市公式SNSやメール配信サービス」は今回調査から新設した項目

【年代別、居住地区別】

(単位:%)

	n	広報紙	市ホームページ	町会・自治会の回覧、 掲示板	知人に聞く	関係機関に直接問い合わせる	市公式SNSやメール 配信サービス	その他	特に市の情報を必要としない	無回答	
全体	941	38.5	25.8	25.0	15.1	7.3	7.1	2.9	19.4	0.4	
年代別	19歳以下	44	18.2	4.5	22.7	22.7	-	2.3	2.3	45.5	-
	20歳代	167	19.8	24.0	13.2	11.4	5.4	3.0	1.2	41.3	-
	30歳代	263	30.0	37.6	17.5	18.6	11.4	9.9	4.2	15.2	0.4
	40歳代	277	45.5	30.3	25.6	15.5	7.2	10.8	2.2	13.0	-
	50歳代	83	51.8	14.5	33.7	10.8	9.6	4.8	6.0	18.1	2.4
	60歳代	46	65.2	8.7	52.2	10.9	2.2	2.2	4.3	4.3	-
	70歳以上	58	72.4	1.7	56.9	10.3	1.7	-	-	1.7	1.7
居住地区別	Aブロック	116	42.2	14.7	37.1	15.5	8.6	6.9	2.6	20.7	0.9
	Bブロック	231	40.7	22.5	26.4	17.3	3.9	10.8	3.5	21.6	0.4
	Cブロック	125	39.2	24.8	31.2	16.8	8.8	9.6	0.8	16.8	-
	Dブロック	345	35.9	32.5	13.9	13.3	8.4	5.5	3.8	19.4	0.3
	Eブロック	123	37.4	24.4	35.8	13.0	8.1	2.4	1.6	17.1	0.8

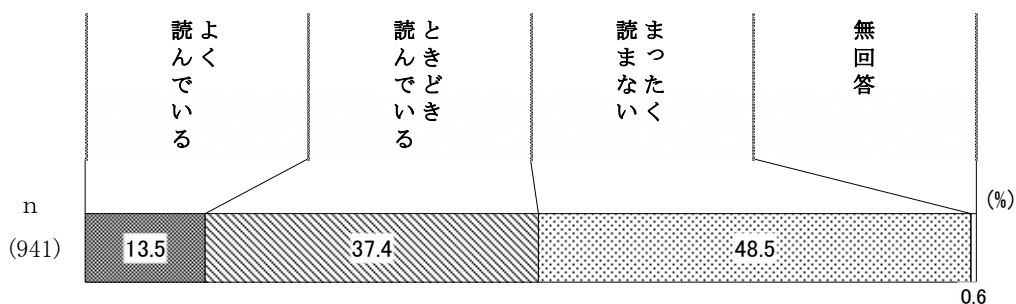
※網掛けは最も多いもの(その他、特に市の情報を必要としないを除く)

(2)「広報やしお」を読む頻度

問13 あなたは、「広報やしお」をどの程度読みますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

広報やしおを「よく読んでいる」は13.5%、「ときどき読んでいる」は37.4%で、これらをあわせた《読んでいる》は50.9%、一方、「まったく読まない」は48.5%であり、読んでいる人と読んでいない人がほぼ二分している。

年代別でみると、《読んでいる》は年代が高くなるほど多い。また、「よく読んでいる」も同様の傾向であり、70歳以上では55.2%である。



【年代別】

(単位: %)

	n	よく読んでいる	ときどき読んでいる	まったく読まない	無回答	
全体	941	13.5	37.4	48.5	0.6	
年代別	19歳以下	44	4.5	18.2	77.3	-
	20歳代	167	4.8	19.8	75.4	-
	30歳代	263	6.5	36.5	57.0	-
	40歳代	277	13.0	47.7	38.3	1.1
	50歳代	83	18.1	47.0	33.7	1.2
	60歳代	46	34.8	43.5	19.6	2.2
	70歳以上	58	55.2	39.7	3.4	1.7

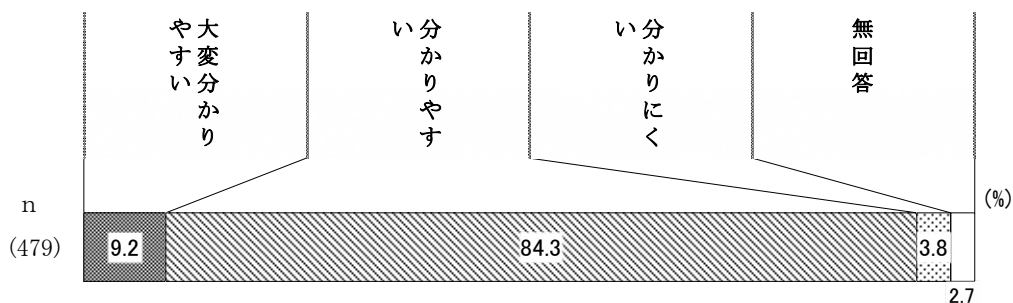
※網掛けは最も多いもの

(3)「広報やしお」の紙面について

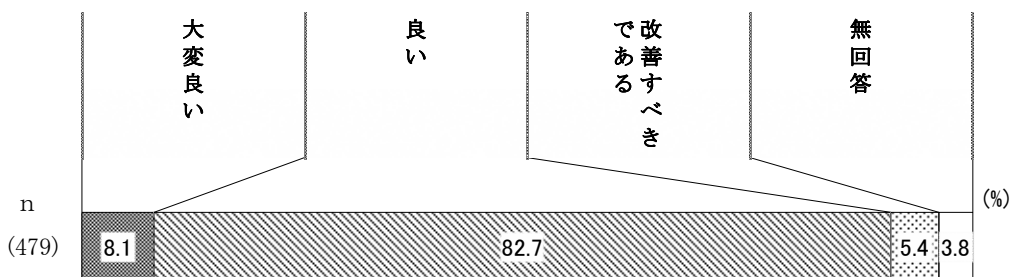
※問13で“よく読んでいる”または“ときどき読んでいる”を選択された方に
 問13-1 「広報やしお」は、12ページを基本に毎月1回発行しています。紙面についてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

広報やしおを《読んでいる》人の中で、①記事のわかりやすさは、《分かりやすい》（「大変分かりやすい」＋「分かりやすい」の計）が93.5%、②紙面のレイアウトは、《良い》（「大変良い」＋「良い」の計）が90.8%、③ページ数は、「適当である」が89.8%、④広報紙のサイズ（タブロイド判）は、「適当である」が91.6%、⑤発行回数（月1回）は、「適当である」が93.1%である。

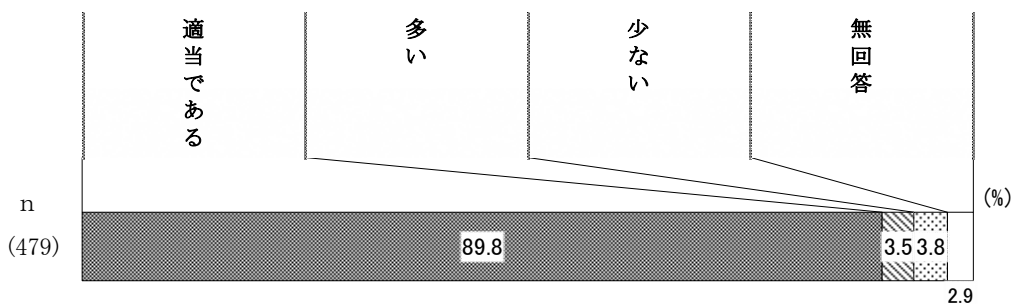
◆ ①記事の分かりやすさ



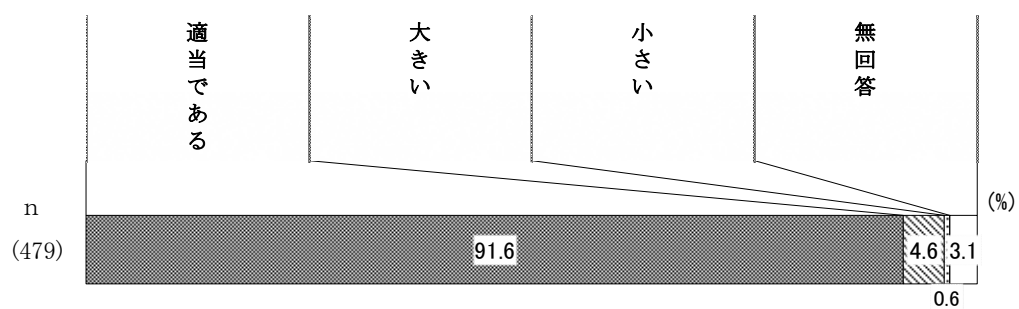
◆ ②紙面のレイアウト



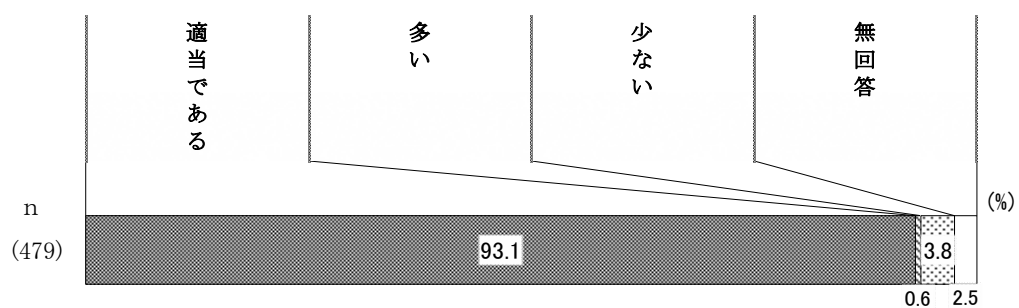
◆ ③ページ数 (12ページ)



◆④広報紙のサイズ（タブロイド判）



◆⑤発行回数（月1回）



【年代別】

①記事の分かりやすさ

(単位:%)

		n	大変分かりやすい	分かりやすい	分かりにくい	無回答
全体		479	9.2	84.3	3.8	2.7
年代別	19歳以下	10	20.0	80.0	-	-
	20歳代	41	7.3	85.4	7.3	-
	30歳代	113	8.8	89.4	0.9	0.9
	40歳代	168	10.7	83.3	5.4	0.6
	50歳代	54	3.7	88.9	3.7	3.7
	60歳代	36	5.6	83.3	2.8	8.3
	70歳以上	55	12.7	72.7	3.6	10.9

※網掛けは最も多いもの

②紙面のレイアウト

(単位:%)

		n	大変良い	良い	改善すべきである	無回答
全体		479	8.1	82.7	5.4	3.8
年代別	19歳以下	10	20.0	80.0	-	-
	20歳代	41	4.9	87.8	7.3	-
	30歳代	113	7.1	85.8	6.2	0.9
	40歳代	168	9.5	84.5	6.0	-
	50歳代	54	5.6	85.2	3.7	5.6
	60歳代	36	2.8	83.3	5.6	8.3
	70歳以上	55	12.7	65.5	3.6	18.2

※網掛けは最も多いもの

③ページ数 (12ページ)

(単位:%)

		n	適当である	多い	少ない	無回答
全体		479	89.8	3.5	3.8	2.9
年代別	19歳以下	10	100.0	-	-	-
	20歳代	41	85.4	9.8	4.9	-
	30歳代	113	91.2	3.5	4.4	0.9
	40歳代	168	92.3	3.6	3.6	0.6
	50歳代	54	90.7	-	5.6	3.7
	60歳代	36	88.9	2.8	2.8	5.6
	70歳以上	55	81.8	3.6	1.8	12.7

※網掛けは最も多いもの

④広報紙のサイズ (タブロイド判)

(単位:%)

		n	適当である	大きい	小さい	無回答
全体		479	91.6	4.6	0.6	3.1
年代別	19歳以下	10	90.0	10.0	-	-
	20歳代	41	92.7	7.3	-	-
	30歳代	113	91.2	6.2	0.9	1.8
	40歳代	168	93.5	5.4	0.6	0.6
	50歳代	54	96.3	-	-	3.7
	60歳代	36	91.7	2.8	-	5.6
	70歳以上	55	83.6	1.8	1.8	12.7

※網掛けは最も多いもの

⑤発行回数 (月1回)

(単位:%)

		n	適当である	多い	少ない	無回答
全体		479	93.1	0.6	3.8	2.5
年代別	19歳以下	10	100.0	-	-	-
	20歳代	41	95.1	2.4	2.4	-
	30歳代	113	98.2	-	0.9	0.9
	40歳代	168	91.1	1.2	6.5	1.2
	50歳代	54	92.6	-	3.7	3.7
	60歳代	36	91.7	-	2.8	5.6
	70歳以上	55	89.1	-	3.6	7.3

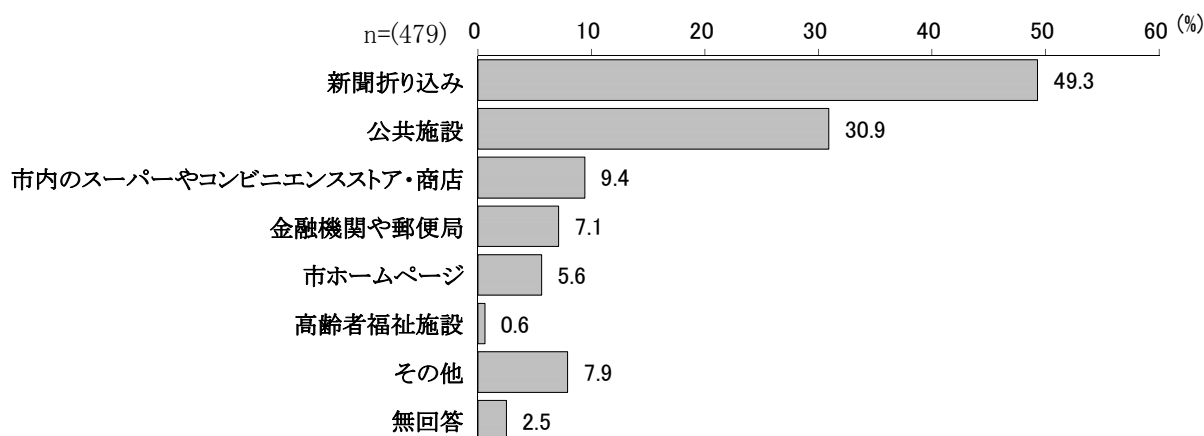
※網掛けは最も多いもの

(4)「広報やしお」の入手方法

※問13で“よく読んでいる”または“ときどき読んでいる”を選択された方に
 問13-2 あなたは、広報やしおをどのような方法で入手していますか。あてはまる番号に○
 印をおつけください。(複数選択可)

広報やしおを《読んでいる》人の入手方法は、「新聞折り込み」が49.3%で最も多く、次いで「公共施設」が30.9%であり、この2項目が特に多い。

年代別でみると、「新聞折り込み」は30歳代以外で最も多く、50歳代以上で6割以上である。「公共施設」は30歳代で4割台と他の年代より多く、その前後の世代の20歳代、40歳代でも3割前後である。



【年代別】

(単位: %)

	n	新聞折り込み	公共施設	市内のスーパーやコンビニエンスストア・商店	金融機関や郵便局	市ホームページ	高齢者福祉施設	その他	無回答	
全体	479	49.3	30.9	9.4	7.1	5.6	0.6	7.9	2.5	
年代別	19歳以下	10	70.0	20.0	20.0	-	-	-	-	
	20歳代	41	43.9	29.3	12.2	2.4	7.3	2.4	17.1	2.4
	30歳代	113	26.5	47.8	8.8	8.0	8.8	-	9.7	4.4
	40歳代	168	48.8	31.0	10.1	8.9	7.1	0.6	7.7	1.2
	50歳代	54	61.1	22.2	7.4	3.7	1.9	-	7.4	1.9
	60歳代	36	66.7	19.4	8.3	8.3	-	2.8	2.8	8.3
	70歳以上	55	74.5	16.4	7.3	7.3	-	-	3.6	-

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

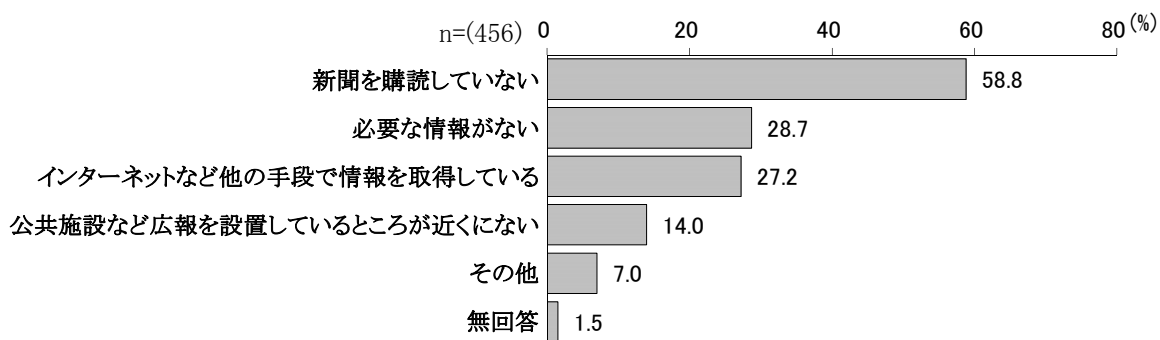
(5) 「広報やしお」を読まない理由

※問13で“まったく読まない”を選択された方に
 問13-3 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○印をおつけください。
 (複数選択可)

広報やしおをまったく読まない人の理由は、「新聞を購読していない」が58.8%で最も多く、次いで「必要な情報がない」が28.7%、「インターネットなど他の手段で情報を取得している」が27.2%である。

年代別でみると、「新聞を購読していない」は30歳代から50歳代で6割台、20歳代でも5割台である。「インターネットなど他の手段で情報を取得している」は30歳代と40歳代で3割台と他の年代より多い。また、「必要な情報がない」は19歳以下で5割台と他の年代より多い。

居住地区別でみると、「新聞を購読していない」はいずれの地区でも5割以上で最も多く、「インターネットなど他の手段で情報を取得している」はDブロックで3割台、「公共施設など広報を設置しているところが近くにない」はEブロックで2割台と他の地区より多い。



【年代別、居住地区別】

(単位: %)

	n	新聞を購読していない	必要な情報がない	インターネットなど他の手段で情報を取得している	公共施設など広報を設置しているところが近くにない	その他	無回答	
全体	456	58.8	28.7	27.2	14.0	7.0	1.5	
年代別	19歳以下	34	44.1	55.9	23.5	14.7	5.9	-
	20歳代	126	54.8	38.9	22.2	7.9	5.6	0.8
	30歳代	150	63.3	19.3	33.3	16.0	9.3	1.3
	40歳代	106	63.2	20.8	30.2	16.0	7.5	0.9
	50歳代	28	60.7	28.6	17.9	14.3	3.6	7.1
	60歳代	9	33.3	44.4	11.1	33.3	-	-
	70歳以上	2	50.0	-	-	-	-	50.0
居住地区別	Aブロック	51	54.9	35.3	23.5	9.8	7.8	-
	Bブロック	108	50.9	36.1	25.0	13.0	5.6	2.8
	Cブロック	58	63.8	20.7	25.9	5.2	8.6	1.7
	Dブロック	183	65.6	23.5	32.8	14.8	7.1	0.5
	Eブロック	55	50.9	34.5	16.4	27.3	7.3	3.6

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

4. 市政に対する評価と今後への期待

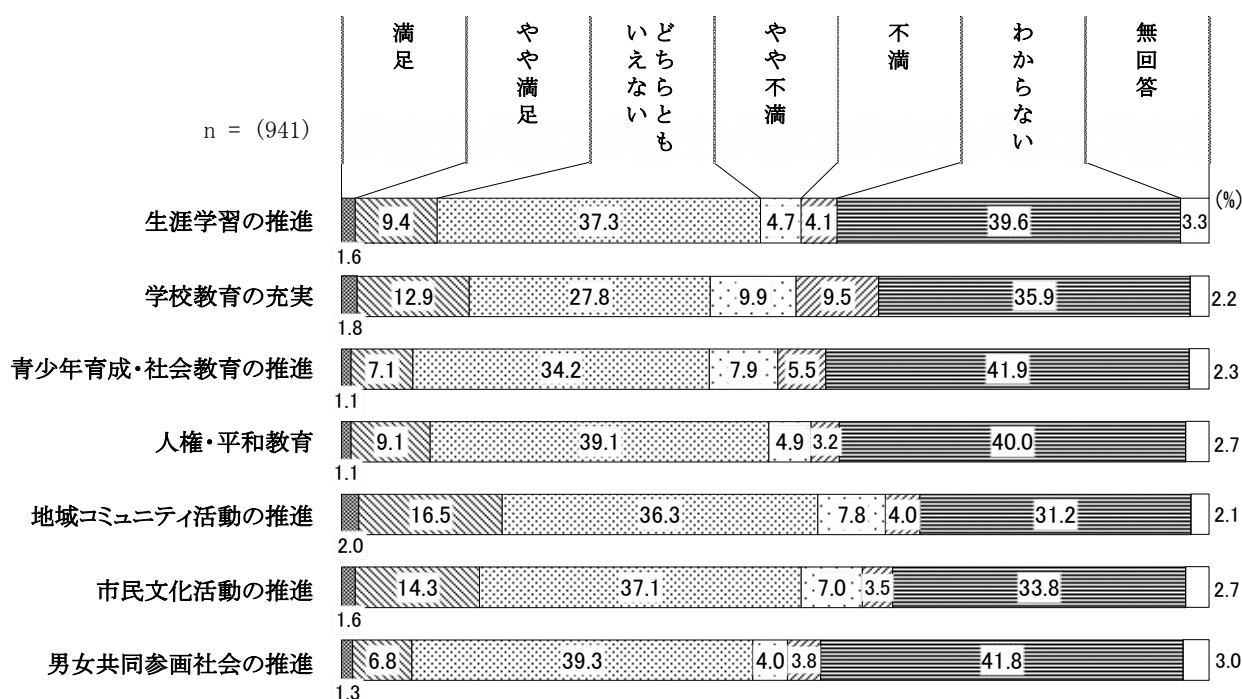
(1) 市政に対する満足度

問14 以下の34項目について、満足度をお答えください。回答例にならって、これまですすめてきた施策の「満足度」について、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで回答欄に○印をおつけください。

34項目の市政に対する満足度を各分野にわけてみていく。

教育文化・コミュニティにおいては、《満足》（「満足」＋「やや満足」の計）の高い項目は「地域コミュニティ活動の推進」であるが、それ以外の項目でも《満足》、《不満》（「不満」＋「やや不満」）は1割台、あるいは1割未満であり、「どちらともいえない」や「わからない」といった回答が多い。

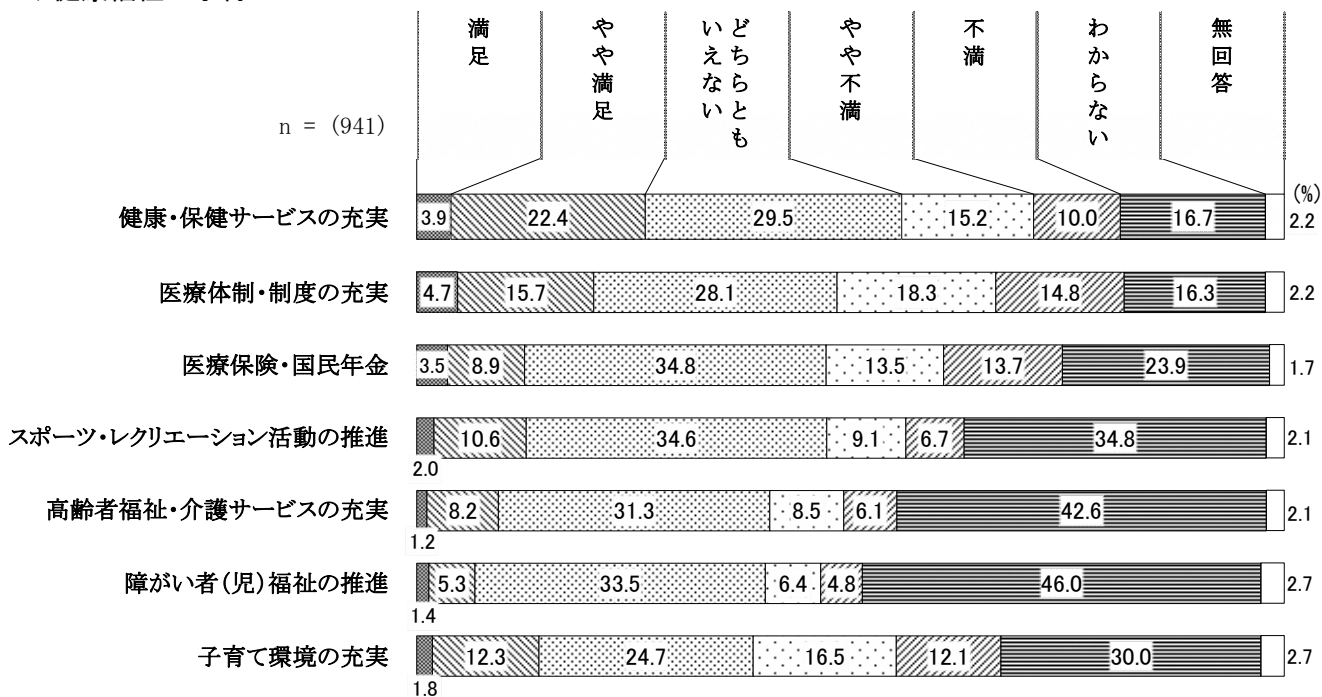
◆教育文化・コミュニティ



第2章 調査結果

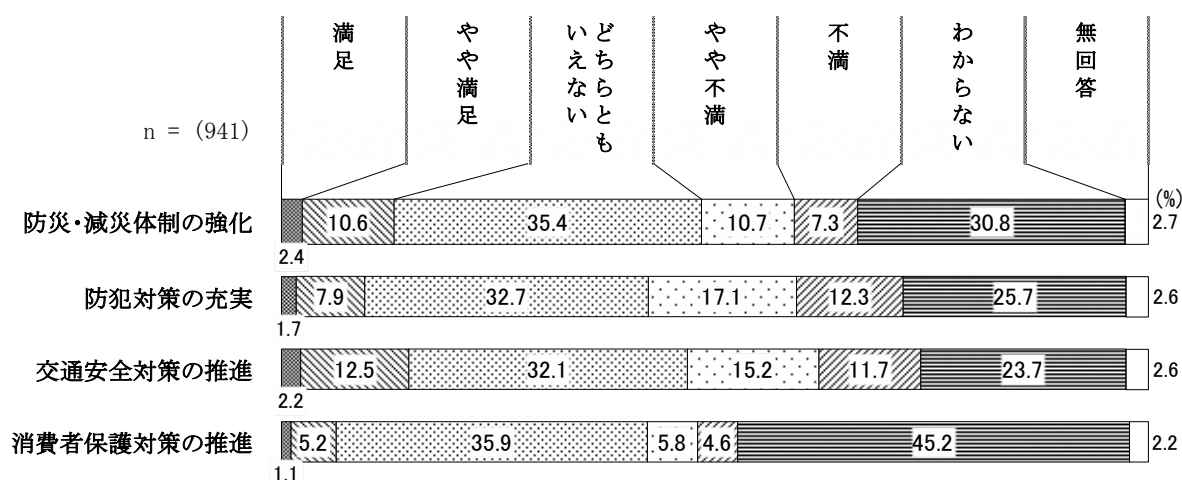
健康福祉・子育てにおいては、多くの項目で《不満》が《満足》を上回っている。《満足》では“健康・保健サービスの充実”、“医療体制・制度の充実”が2割台である。一方、《不満》は《満足》の割合も高かった“医療体制・制度の充実”が3割台、“健康・保健サービスの充実”が2割台である。《不満》ではこの他、“子育て環境の充実”、“医療保険・国民年金”も2割台である。

◆健康福祉・子育て



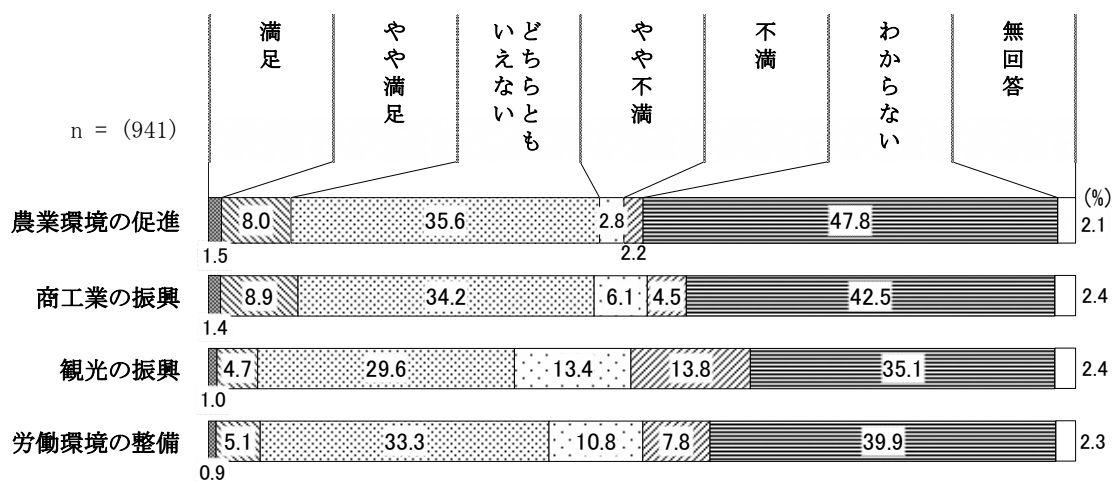
防災・防犯・消防・救急においては、いずれも《不満》が《満足》を上回っており、“防犯対策の充実”、“交通安全対策の推進”が2割台である。

◆防災・防犯・消防・救急



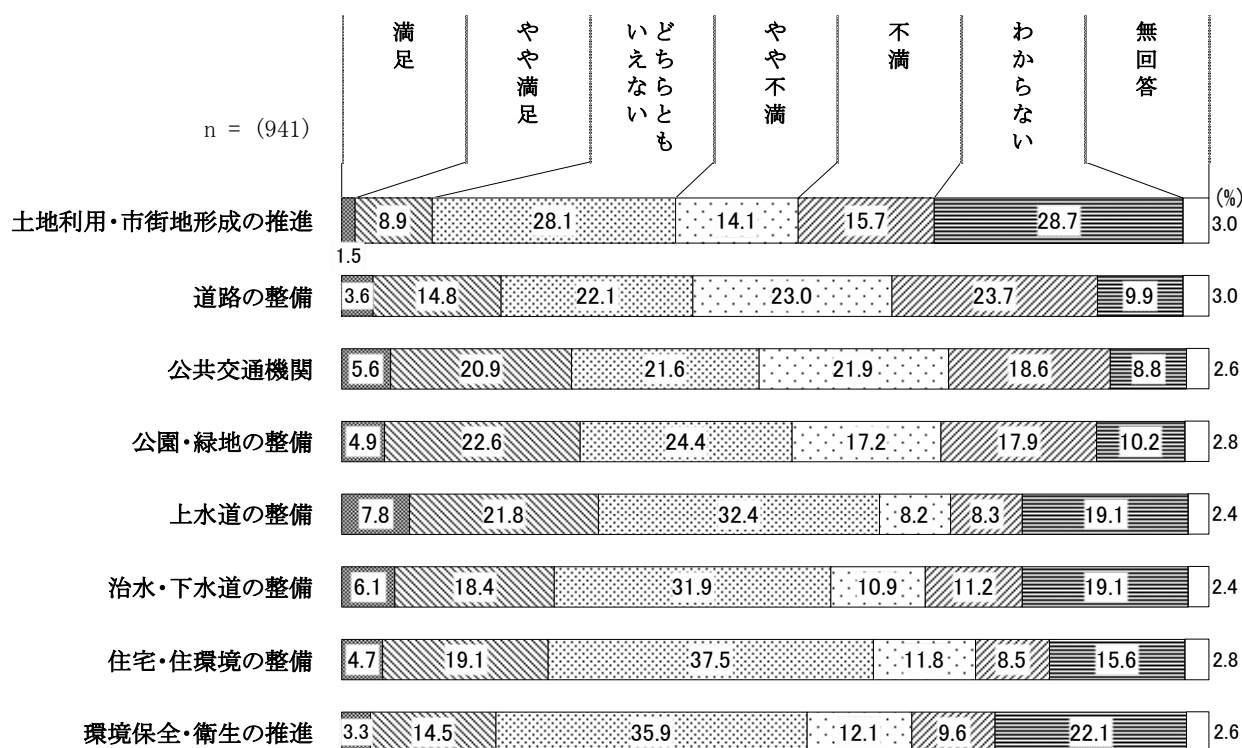
産業経済・観光においては、《満足》と《不満》は1割台、あるいは1割未満が多いが、“観光の振興”は《不満》が2割台である。

◆産業経済・観光



都市基盤・環境においては、《満足》では“公共交通機関”、“公園・緑地の整備”、“上水道の整備”、“治水・下水道の整備”、“住宅・住環境の整備”が2割台である。一方、《不満》では“道路の整備”、“公共交通機関”が4割台、“公園・緑地の整備”が3割台、“土地利用・市街地形成の推進”、“治水・下水道の整備”、“住宅・住環境の整備”、“環境保全・衛生の推進”が2割台である。

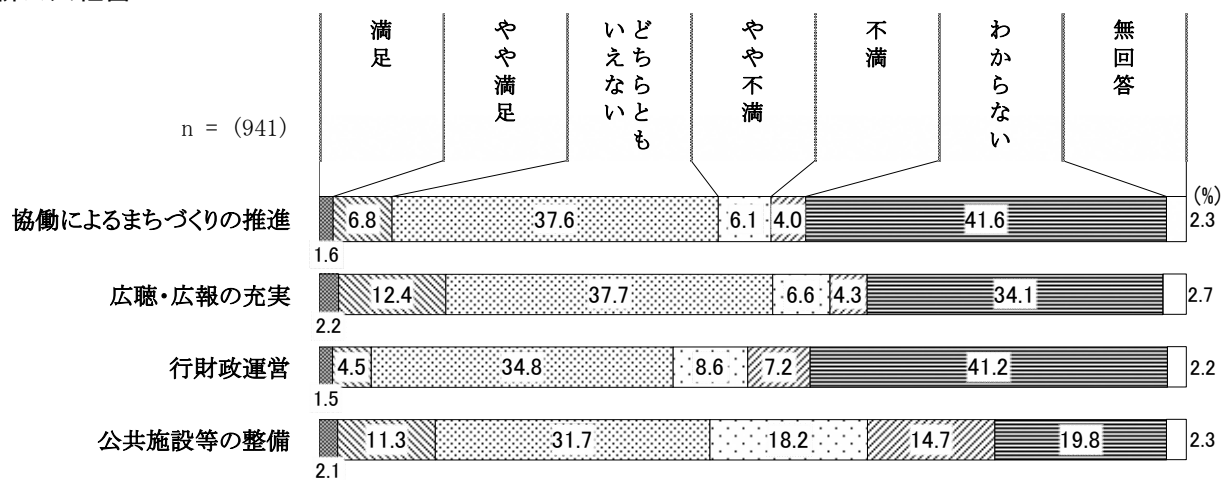
◆都市基盤・環境



第2章 調査結果

新公共経営の項目においては、“広聴・広報の充実”以外は《不満》が《満足》を上回っており、“公共施設等の整備”の《不満》は3割台である。

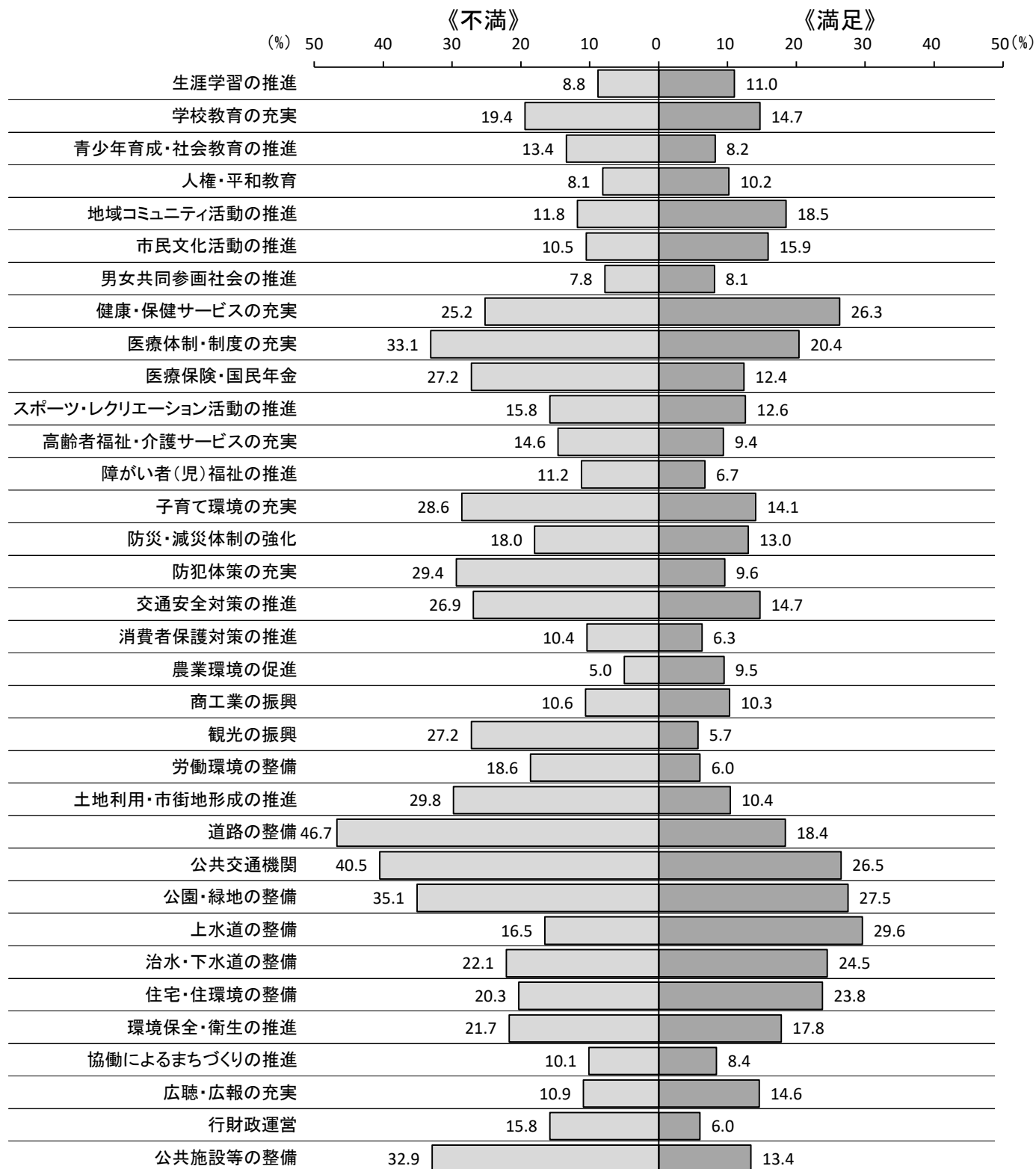
◆新公共経営



【《満足》と《不満》】

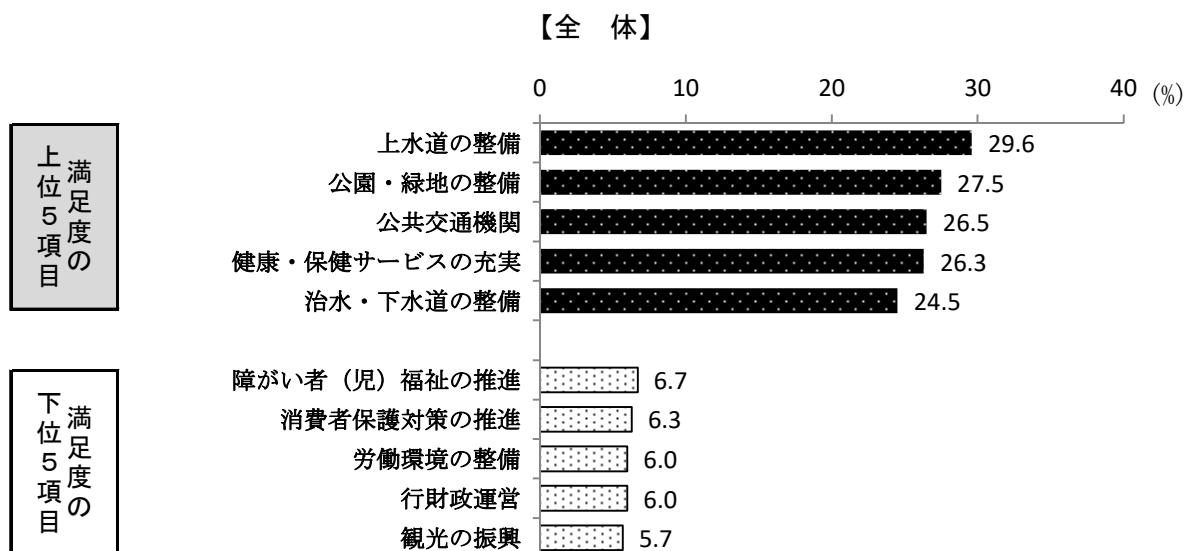
34項目の中で《満足》は、「上水道の整備」が29.6%で最も多く、次いで「公園・緑地の整備」が27.5%、「公共交通機関」が26.5%、「健康・保健サービスの充実」が26.3%、「治水・下水道の整備」が24.5%である。

一方、《不満》は「道路の整備」が46.7%で最も多く、次いで「公共交通機関」が40.5%、「公園・緑地の整備」が35.1%、「医療体制・制度の充実」が33.1%、「公共施設等の整備」が32.9%である。



【満足度の上位および下位5項目】

全体の《満足》の上位5項目は、「上水道の整備」をはじめ、「公園・緑地の整備」、「公共交通機関」、「健康・保健サービスの充実」、「治水・下水道の整備」が2割台である。《満足》の下位5項目は「障がい者（児）福祉の推進」、「消費者保護対策の推進」、「労働環境の整備」、「行財政運営」、「観光の振興」が1割未満である。

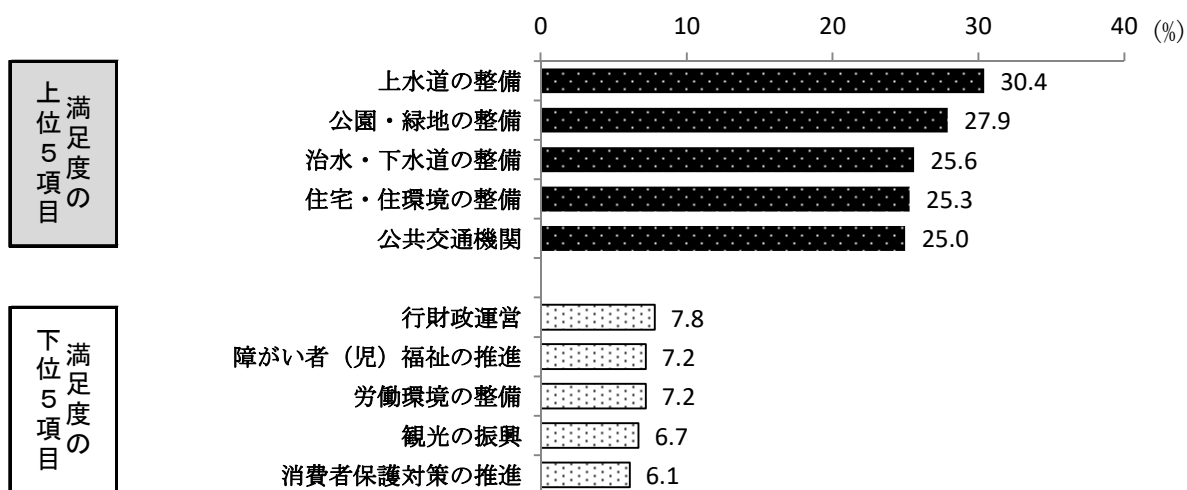


※上位および下位5項目の図の表示について

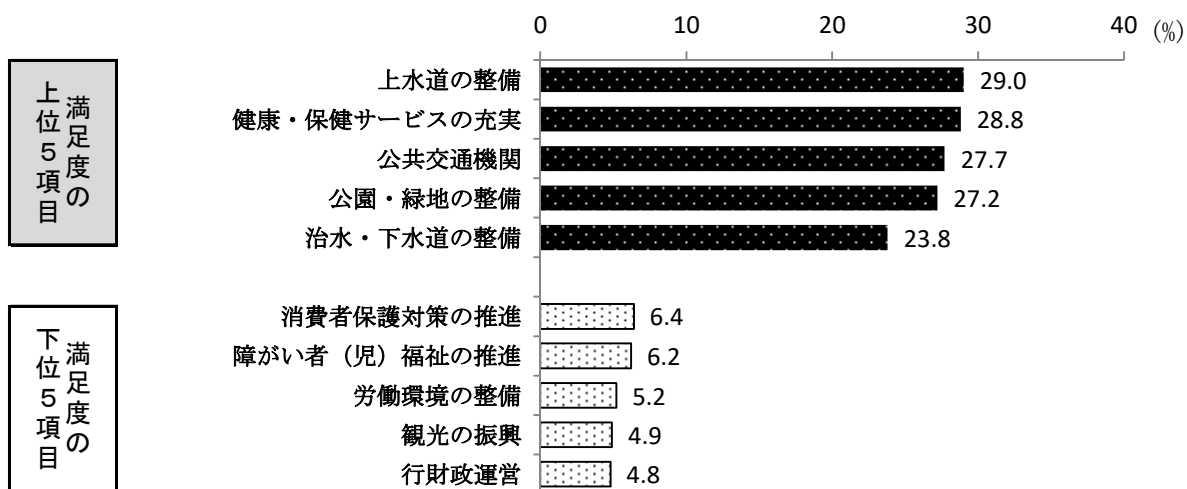
全項目を数値の大きい順に並べ替えをした後、同率・同順位のものが発生している項目について施策番号（107ページの間14の表を参照）の順で並べ替えした。この順で表示された上位5項目、下位5項目である。（42ページまで同様）

性別でみると、《満足》の上位5項目では、「上水道の整備」、「公園・緑地の整備」、「治水・下水道の整備」、「公共交通機関」が男女ともあげられているが、「住宅・住環境の整備」は男性で、「健康・保健サービスの充実」は女性であげられ、性別による違いもみられる。下位5項目は男女とも同じ項目があげられており、いずれも1割未満である。

【性別（男性）】



【性別（女性）】

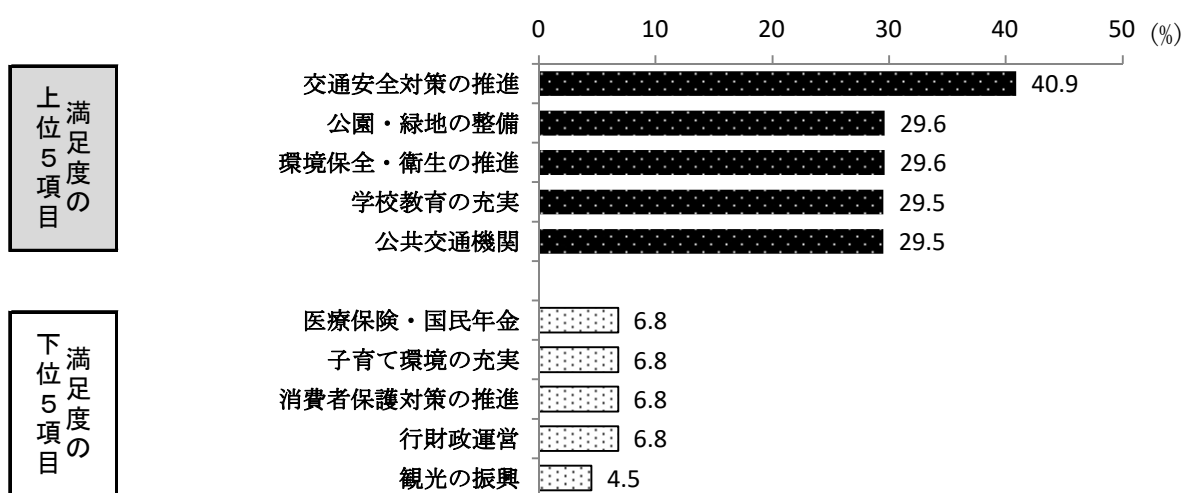


第2章 調査結果

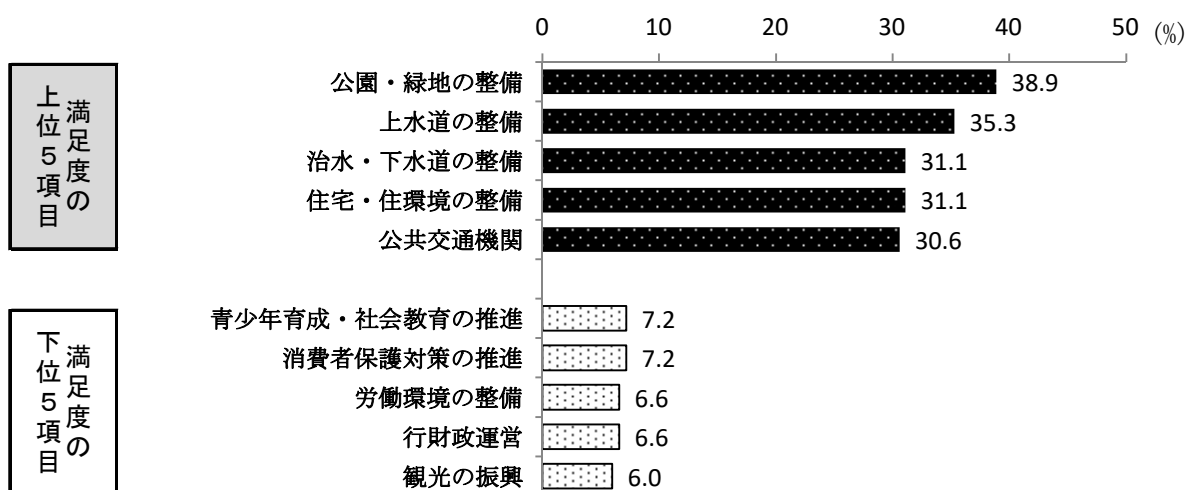
年代別でみると《満足》の上位5項目では、「公園・緑地の整備」、「上水道の整備」、「公共交通機関」、「健康・保健サービスの充実」は多くの年代から上位にあげられている。また、「治水・下水道の整備」は20歳代、40歳代、60歳代、70歳代以上で、「住宅・住環境の整備」は20歳代、30歳代、50歳代であげられている。

続いて下位5項目では、「行財政運営」、「消費者保護対策の推進」は多くの年代で、「観光の振興」もほとんどの年代で下位である。「商工業の振興」は60歳代以上で、「土地利用・市街地形成の推進」は50歳代と60歳代で、「子育て環境の充実」は19歳以下と50歳代で、「農業環境の促進」は40歳代と70歳以上で下位であった。

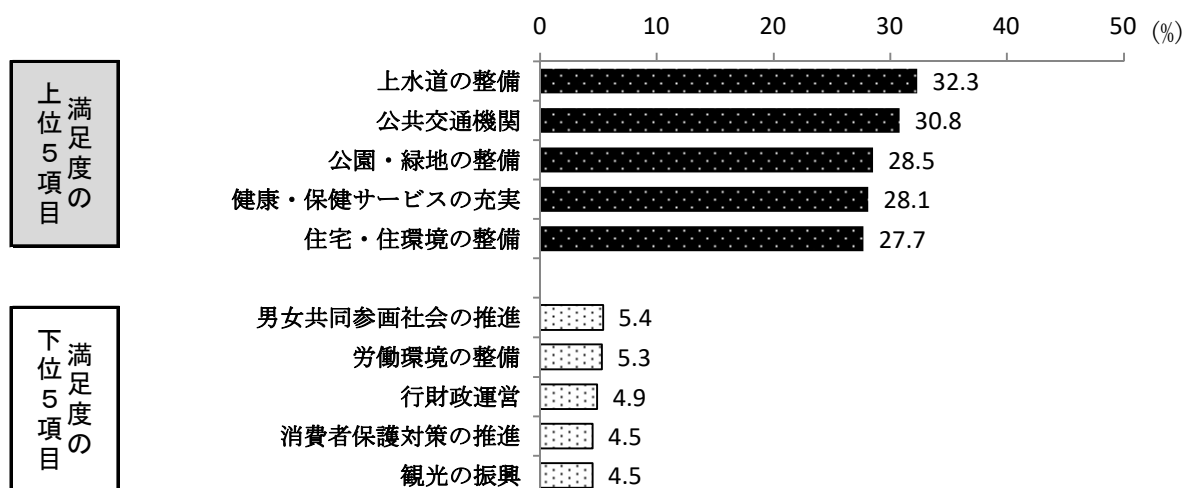
【年代別（19歳以下）】



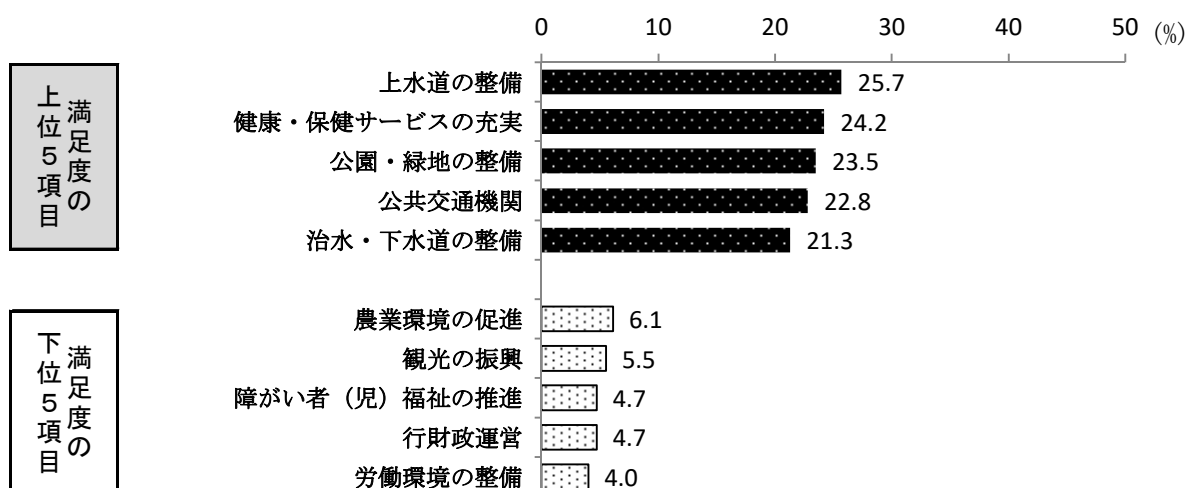
【年代別（20歳代）】



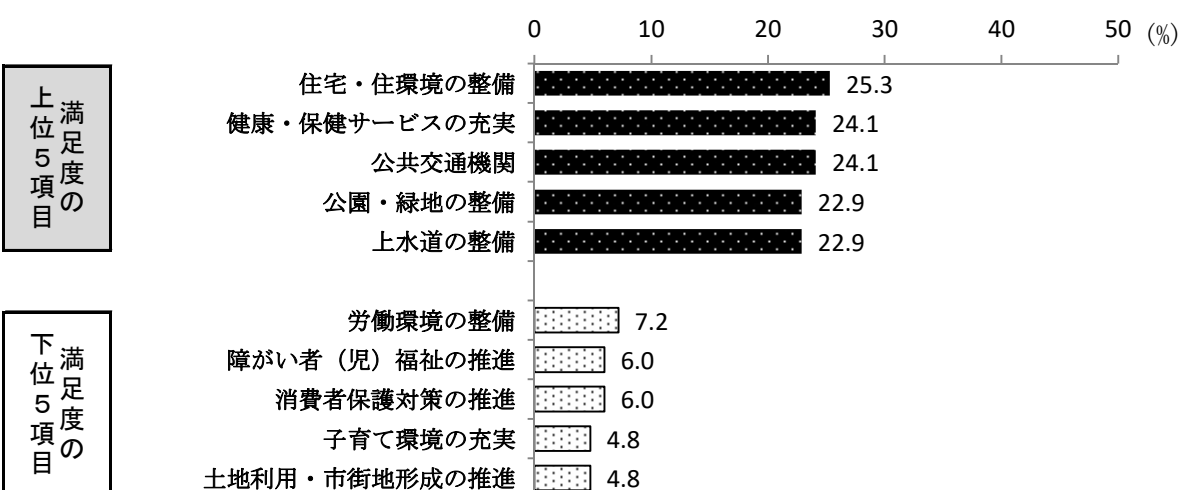
【年代別（30歳代）】



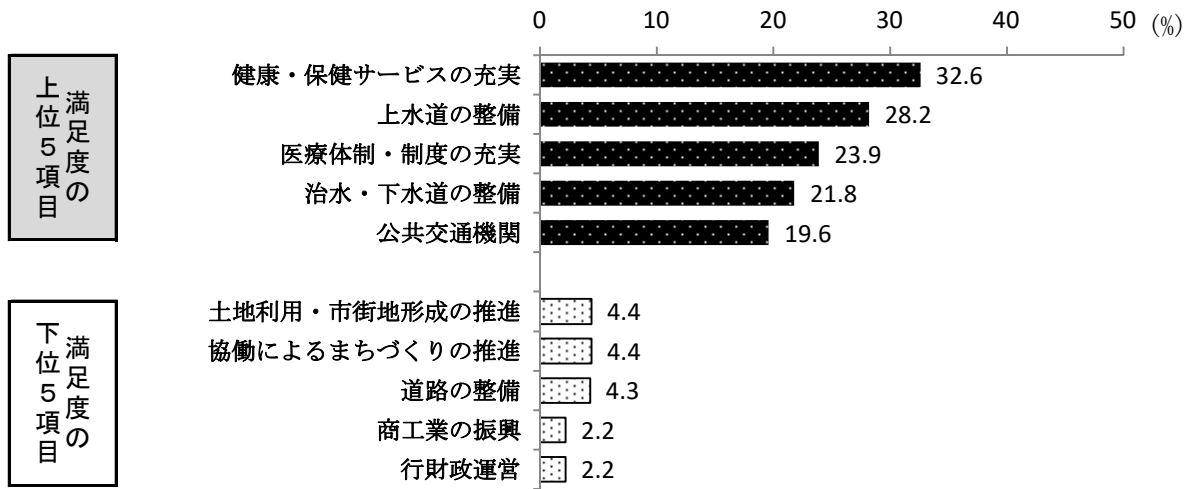
【年代別（40歳代）】



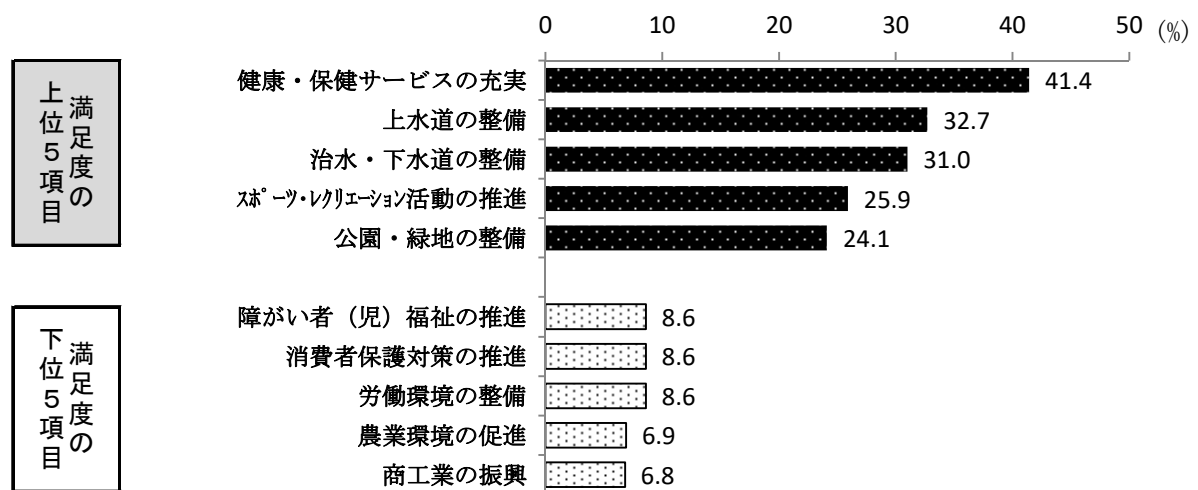
【年代別（50歳代）】



【年代別（60歳代）】



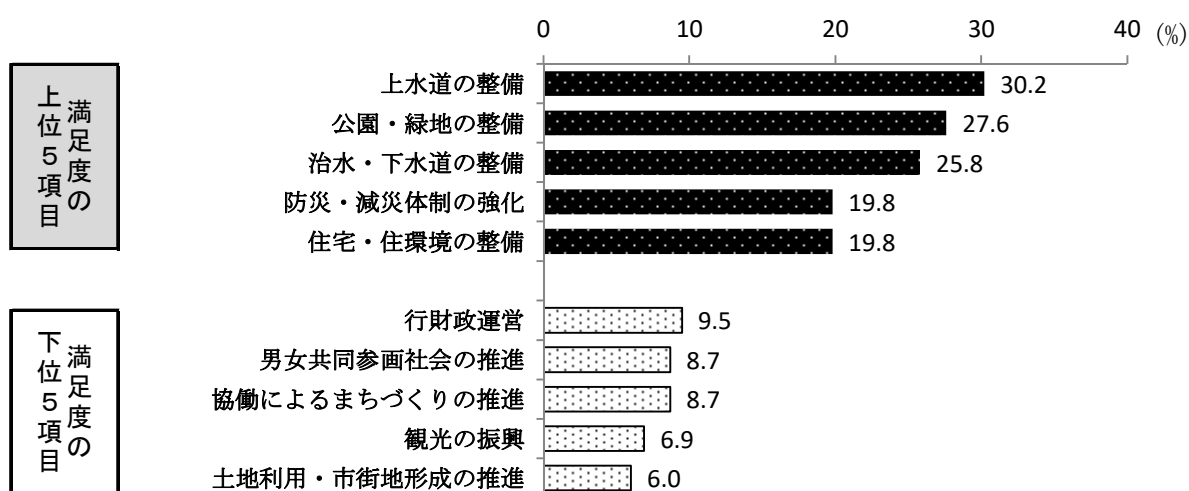
【年代別（70歳以上）】



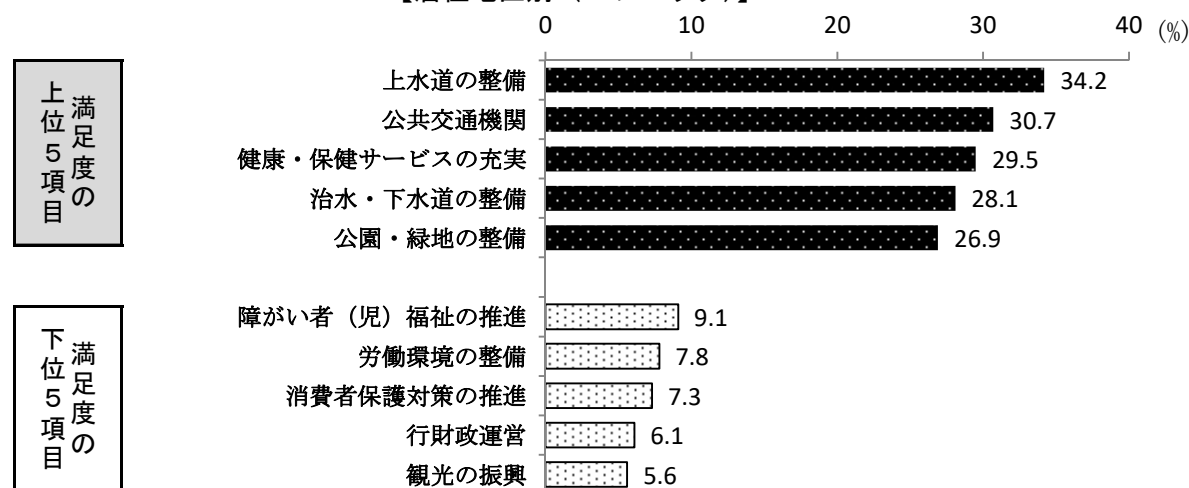
居住地区別でみると《満足》の上位5項目では、「上水道の整備」はすべての地区であげられており、市内の共通した満足項目である。「公園・緑地の整備」、「健康・保健サービスの充実」もほとんどの地区で上位にあげられている。また、「公共交通機関」はB、D、Eブロックで、「住宅・住環境の整備」はA、C、Dブロックで、「治水・下水道の整備」はA、B、Cブロックであげられている。

続いて下位5項目では、「行財政運営」、「観光の振興」、「労働環境の整備」、「消費者保護対策の推進」は多くの地区で下位である。また、「障がい者（児）福祉の推進」はB、D、Eブロックで、「協働によるまちづくりの推進」はA、Cブロックで、「土地利用・市街地形成の推進」はA、Eブロックで下位であった。

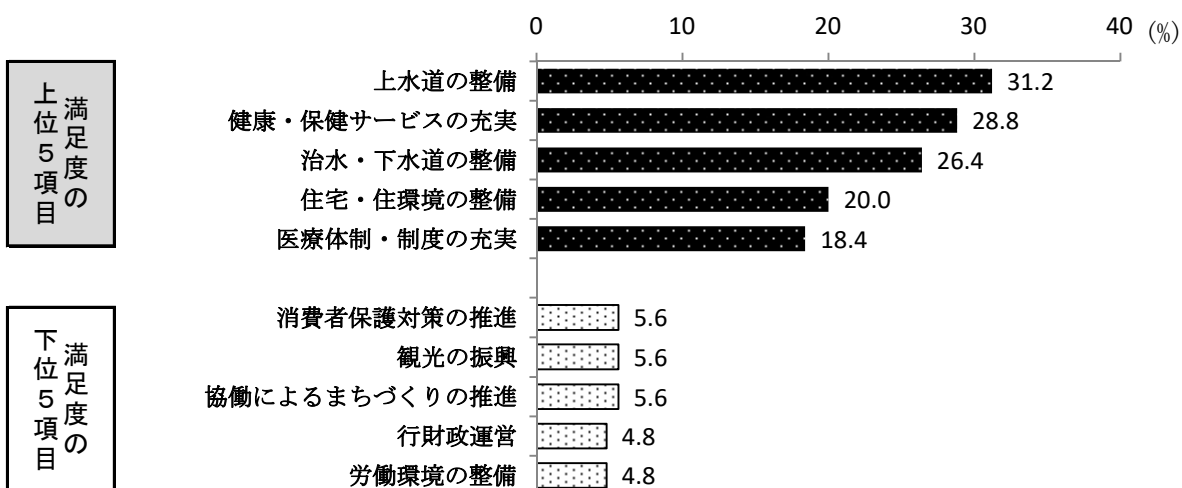
【居住地区別（Aブロック）】



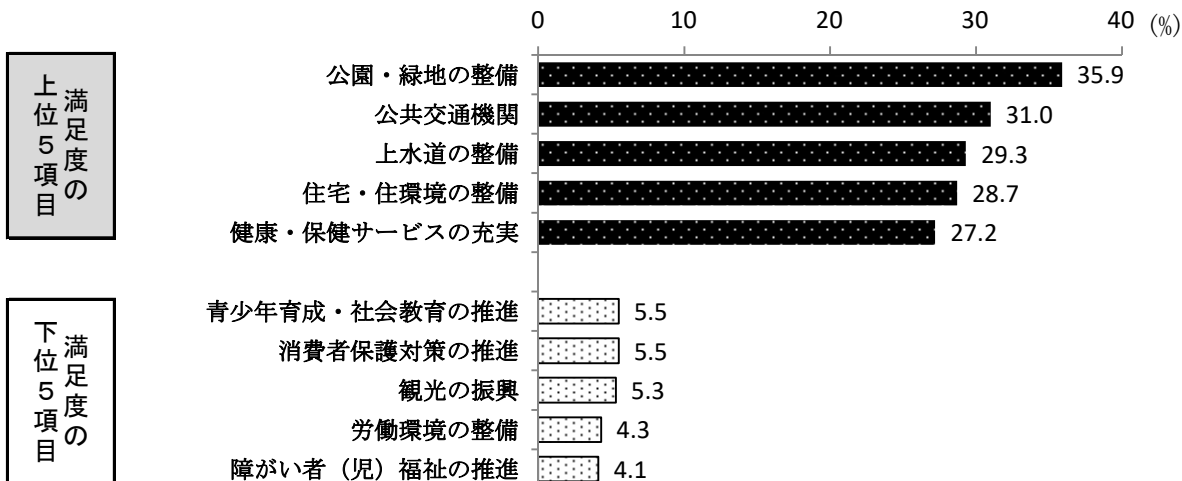
【居住地区別（Bブロック）】



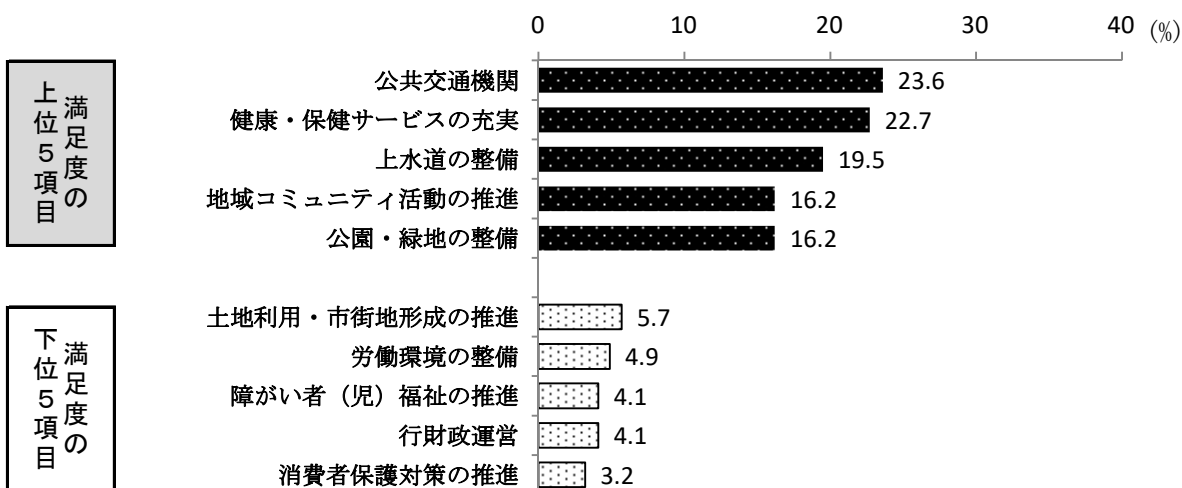
【居住地区別（Cブロック）】



【居住地区別（Dブロック）】



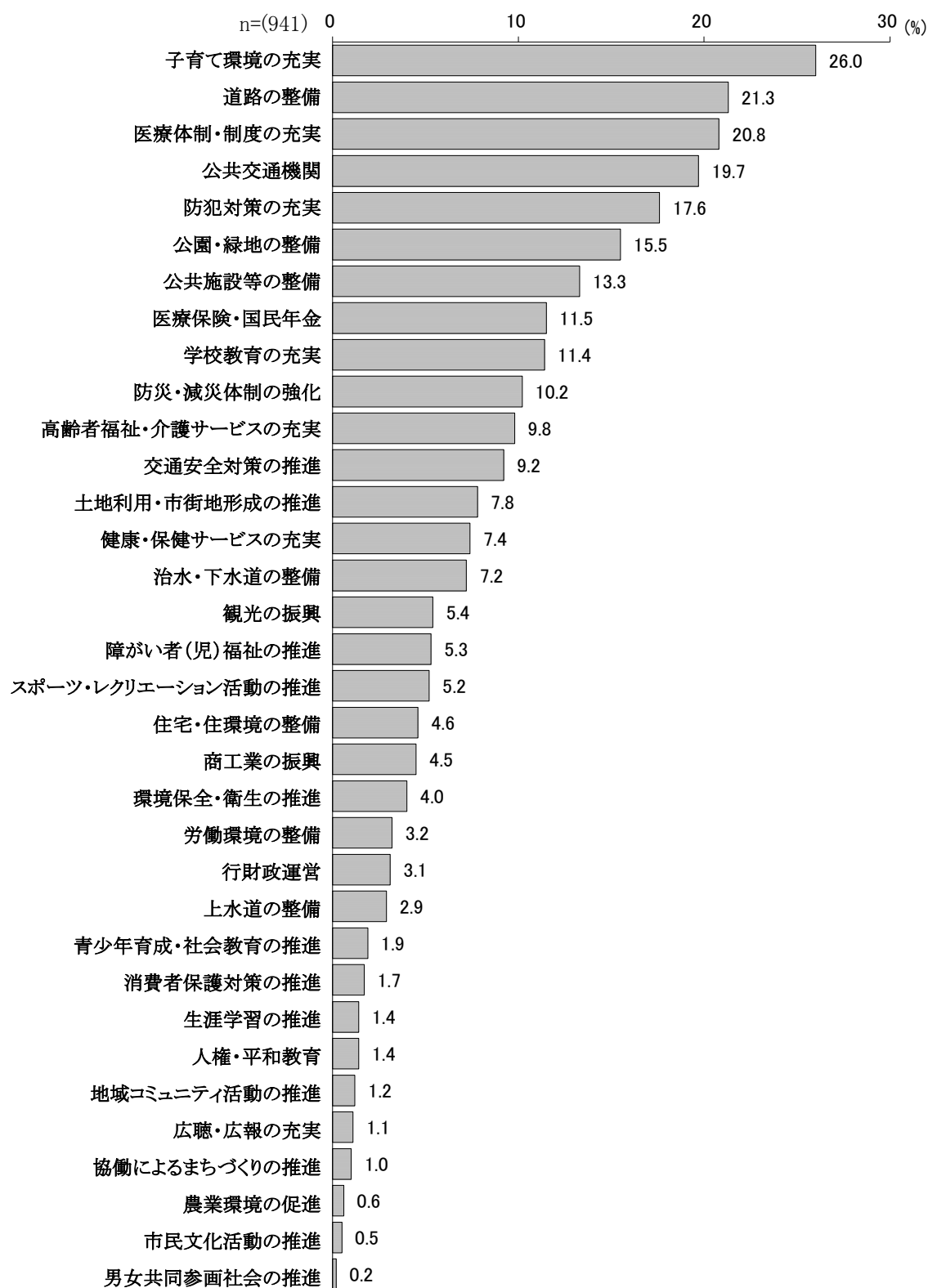
【居住地区別（Eブロック）】



(2) 特に力を入れてほしい施策

問15 問14の表中の34項目内で、特に市に力を入れてほしい施策を3つまで選び回答欄にその番号を記入してください。

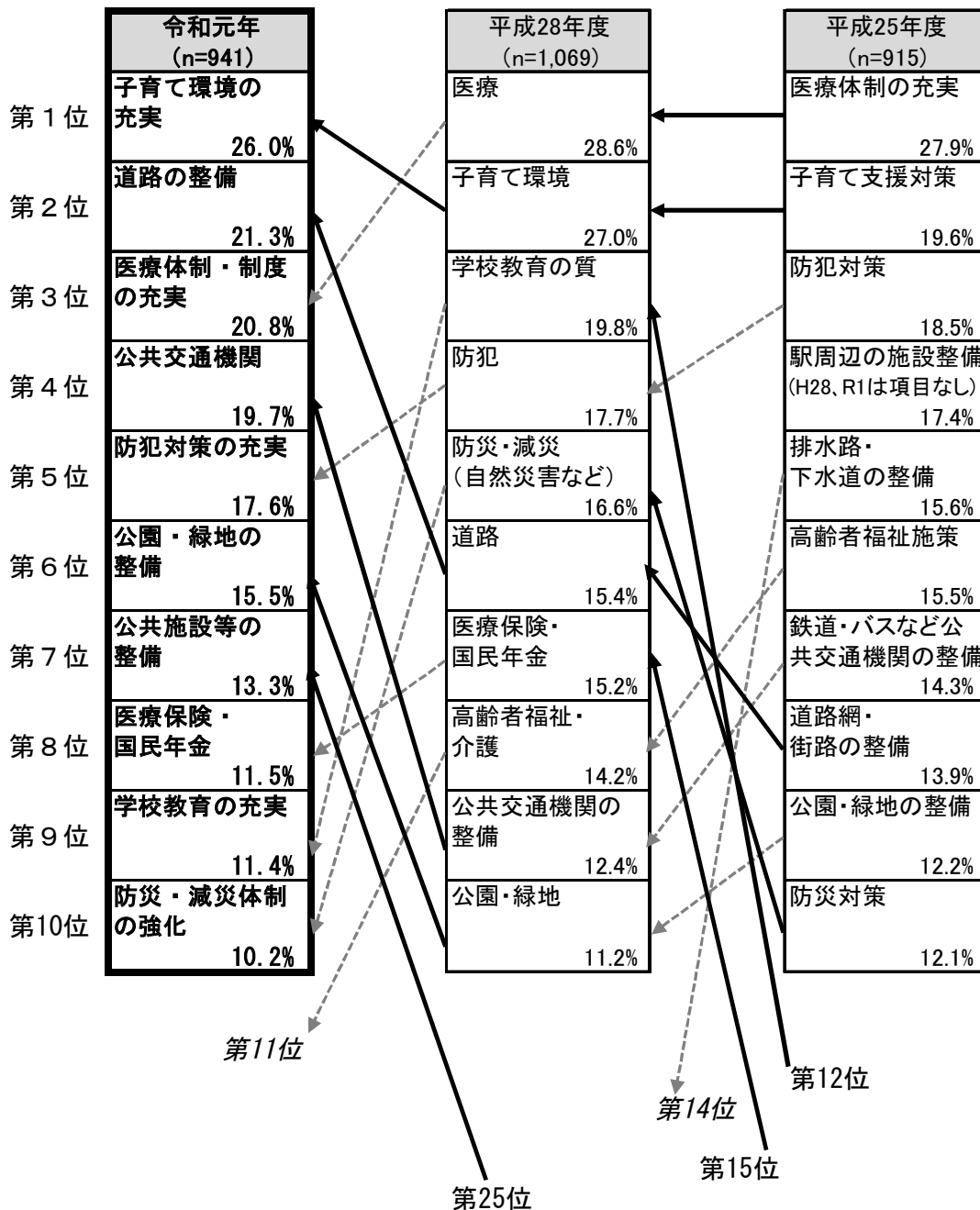
特に市に力を入れてほしい施策は、「子育て環境の充実」が26.0%で最も多く、次いで「道路の整備」が21.3%、「医療体制・制度の充実」が20.8%、「公共交通機関」が19.7%である。



【経年比較：上位10項目】

前々回、前回で2位であった「子育て環境の充実」が今回1位である。一方、前々回、前回と1位であった「医療体制・制度の充実」は前回から7.8ポイント減少し3位である。「道路の整備」は調査ごとに関心が高まり、前回調査から5.9ポイント増加し6位から2位へと順位が上がった。また、前回25位であった「公共施設等の整備」は今回7位へと大きく順位を上げ、「高齢者福祉・介護」は上位10項目外の11位と順位を下げている。

■市に対する要望の推移



* 各年度で施策名が一致していないものは、内容が最も類似している施策と比較した。

性別でみると、「子育て環境の充実」、「道路の整備」、「医療体制・制度の充実」、「公共交通機関」、「防犯対策の充実」は男女とも上位にあげられている。

年代別でみると、「道路の整備」、「医療体制・制度の充実」、「子育て環境の充実」はほとんどの年代であげられている。また、「高齢者福祉・介護サービスの充実」は60歳代、70歳代以上で1位である。

居住地区別でみると、「子育て環境の充実」、「道路の整備」、「公共交通機関」がすべての地区で、「医療体制・制度の充実」、「防犯対策の充実」もほとんどの地区で上位にあげられている。

【性別、年代別、居住地区別（上位5位）】

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=941		子育て環境の充実 26.0	道路の整備 21.3	医療体制・制度の充実 20.8	公共交通機関 19.7	防犯対策の充実 17.6
性別	男性 n=359	道路の整備 24.2	公共交通機関 23.1	子育て環境の充実 22.8	防犯対策の充実 18.1	医療体制・制度の充実 17.0
	女性 n=576	子育て環境の充実 28.3	医療体制・制度の充実 23.3	道路の整備 19.4	公共交通機関 17.5	防犯対策の充実 16.8
年代別	19歳以下 n=44	道路の整備 34.1	医療体制・制度の充実／ 公園・緑地の整備	22.7	観光の振興 20.5	スポーツ・レクリエーション活動の推進／子育て環境の充実 など* 13.6
	20歳代 n=167	子育て環境の充実 26.9	公共交通機関 25.7	道路の整備 20.4	医療体制・制度の充実 19.8	公共施設等の整備 19.2
	30歳代 n=263	子育て環境の充実 41.8	医療体制・制度の充実 23.2	公共交通機関 21.3	公園・緑地の整備 19.8	防犯対策の充実 17.1
	40歳代 n=277	道路の整備 24.9	子育て環境の充実 23.5	医療体制・制度の充実 21.3	防犯対策の充実 20.6	公共交通機関 17.7
	50歳代 n=83	医療体制・制度の充実 26.5	道路の整備 24.1	高齢者福祉・介護サービスの充実 20.5	公共交通機関 19.3	健康・保健サービスの充実／医療保険・国民年金 13.3
	60歳代 n=46	高齢者福祉・介護サービスの充実 30.4	道路の整備 21.7	防犯対策の充実 19.6	医療体制・制度の充実／子育て環境の充実 15.2	
	70歳以上 n=58	高齢者福祉・介護サービスの充実 29.3	道路の整備 22.4	公共交通機関 19.0	防犯対策の充実 17.2	医療保険・国民年金／障がい者(児)福祉の推進 12.1
居住地区別	Aブロック n=116	公共交通機関 24.1	道路の整備 23.3	子育て環境の充実 22.4	医療体制・制度の充実 19.8	医療保険・国民年金／防犯対策の充実 14.7
	Bブロック n=231	子育て環境の充実 26.8	防犯対策の充実 20.3	医療体制・制度の充実／道路の整備 19.0	公共交通機関／公共施設等の整備 17.3	
	Cブロック n=125	公園・緑地の整備 27.2	子育て環境の充実 25.6	道路の整備 24.0	公共交通機関 20.8	防犯対策の充実 19.2
	Dブロック n=345	子育て環境の充実 28.7	医療体制・制度の充実 21.4	公共交通機関 20.6	防犯対策の充実 19.4	道路の整備 18.0
	Eブロック n=123	道路の整備 30.1	医療体制・制度の充実 26.0	子育て環境の充実 21.1	高齢者福祉・介護サービスの充実／公共交通機関 16.3	

*この他、防災・減災体制／防犯対策／公共交通機関

第2章 調査結果

居住年数別でみると、「子育て環境の充実」、「道路の整備」、「医療体制・制度の充実」はすべての年数であげられている。「子育て環境の充実」は20年未満の居住者が1位にあげている。また、「道路の整備」は20年以上の居住者が1位にあげている。

定住意向別でみると、「子育て環境の充実」、「道路の整備」、「医療体制・制度の充実」はすべての意向で上位にあげられている。「子育て環境の充実」は《住み続けたい》人が1位、「公共交通機関」は引っ越したい人が1位にあげている。

【居住年数別、定住意向別】

(単位:%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=941		子育て環境の充実 26.0	道路の整備 21.3	医療体制・制度の充実 20.8	公共交通機関 19.7	防犯対策の充実 17.6
居住年数別	1年未満 n=79	子育て環境の充実 34.2	公共交通機関 26.6	医療体制・制度の充実 21.5	公共施設等の整備 19.0	道路の整備 16.5
	1年～5年未満 n=200	子育て環境の充実 31.0	医療体制・制度の充実 22.5	防犯対策の充実 22.0	公共交通機関 21.0	道路の整備 17.0
	5年～10年未満 n=117	子育て環境の充実 34.2	公園・緑地の整備 23.1	防犯対策の充実 21.4	道路の整備 20.5	医療体制・制度の充実 18.8
	10年～20年未満 n=191	子育て環境の充実 26.2	道路の整備 24.1	医療体制・制度の充実／公園・緑地の整備 22.0		防犯対策の充実 18.8
	20年以上 n=353	道路の整備 23.5	公共交通機関 20.7	医療体制・制度の充実 19.8	子育て環境の充実 18.7	高齢者福祉・介護サービスの充実 16.1
定住意向別	ずっと住み続けたい n=235	子育て環境の充実 27.7	防犯対策の充実 20.9	医療体制・制度の充実 20.4	道路の整備 19.1	公園・緑地の整備 17.4
	当分の間は住み続けたい n=419	子育て環境の充実 28.6	医療体制・制度の充実 22.0	防犯対策の充実／公共交通機関 20.3	道路の整備 19.3	
	引っ越したい n=127	公共交通機関 29.1	道路の整備 25.2	子育て環境の充実 22.8	医療体制・制度の充実 18.9	公共施設等の整備 15.0
	わからない n=150	道路の整備 26.7	公共交通機関 20.7	医療体制・制度の充実 19.3	子育て環境の充実 18.7	公共施設等の整備 14.7

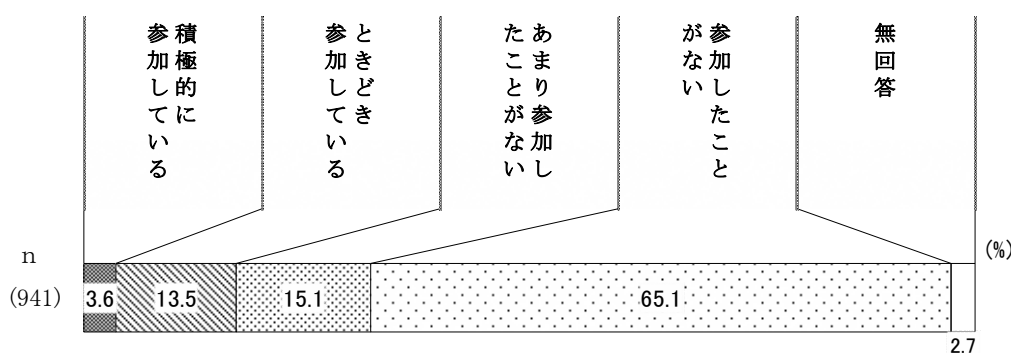
(3) 地域活動への参加状況

問16 あなたは過去1年間に、町会・自治会、NPO、ボランティア等の地域活動にどの程度参加していますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

地域活動への参加状況としては、「参加したことがない」が65.1%、「積極的に参加している」は3.6%、「ときどき参加している」は13.5%で、これらをあわせた《参加している》は17.1%である。

性別、年代別、居住地区別でみると「参加したことがない」が最も多く、年代別では《参加している》は60歳代、70歳代以上で多い。

家族構成別、居住形態別でも「参加したことがない」が多く、《参加している》は家族構成別では三世帯世帯で最も多く、居住形態別では一戸建て住宅（持ち家）で多い。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位: %)

		n	積極的に参加している	ときどき参加している	あまり参加しない	参加したことがない	無回答
全体		941	3.6	13.5	15.1	65.1	2.7
性別	男性	359	4.5	10.6	15.9	66.3	2.8
	女性	576	3.1	15.5	14.6	64.4	2.4
年代別	19歳以下	44	4.5	11.4	22.7	56.8	4.5
	20歳代	167	0.6	5.4	9.0	82.6	2.4
	30歳代	263	1.5	9.9	14.1	73.0	1.5
	40歳代	277	3.6	15.5	15.2	62.5	3.2
	50歳代	83	4.8	15.7	15.7	61.4	2.4
	60歳代	46	6.5	28.3	26.1	37.0	2.2
	70歳以上	58	17.2	27.6	22.4	27.6	5.2
居住地区別	Aブロック	116	8.6	15.5	17.2	58.6	-
	Bブロック	231	3.9	10.0	21.2	61.0	3.9
	Cブロック	125	5.6	20.0	10.4	62.4	1.6
	Dブロック	345	2.0	11.0	11.0	74.2	1.7
	Eブロック	123	0.8	18.7	17.9	56.1	6.5

※網掛けは最も多いもの

【家族構成別、居住形態別】

(単位:%)

	n	い参積 る加極 的 てに	い参と る加き しど てき	と加あ がしま なたり いこ参	いこ参 と加 がし なた	無 回 答	
全 体	941	3.6	13.5	15.1	65.1	2.7	
家 族 構 成 別	単身世帯	189	1.6	7.4	12.2	75.1	3.7
	夫婦のみ	174	4.0	12.1	12.1	69.5	2.3
	二世帯世帯(親と子)	470	3.6	15.3	16.2	62.8	2.1
	三世帯世帯(親と子と孫)	79	3.8	25.3	17.7	48.1	5.1
	その他	23	8.7	-	34.8	56.5	-
居 住 形 態 別	一戸建て住宅(持ち家)	479	5.8	21.9	21.1	48.0	3.1
	一戸建て住宅(借家)	22	-	18.2	22.7	59.1	-
	公営住宅(借家)	10	10.0	-	-	90.0	-
	分譲マンション	126	2.4	7.1	11.1	77.0	2.4
	民間アパート・賃貸マンション	278	0.4	2.9	6.1	88.1	2.5
	社宅・会社寮	15	6.7	-	6.7	86.7	-
	その他	9	-	11.1	33.3	55.6	-

※網掛けは最も多いもの

(4) 参加したことがない理由

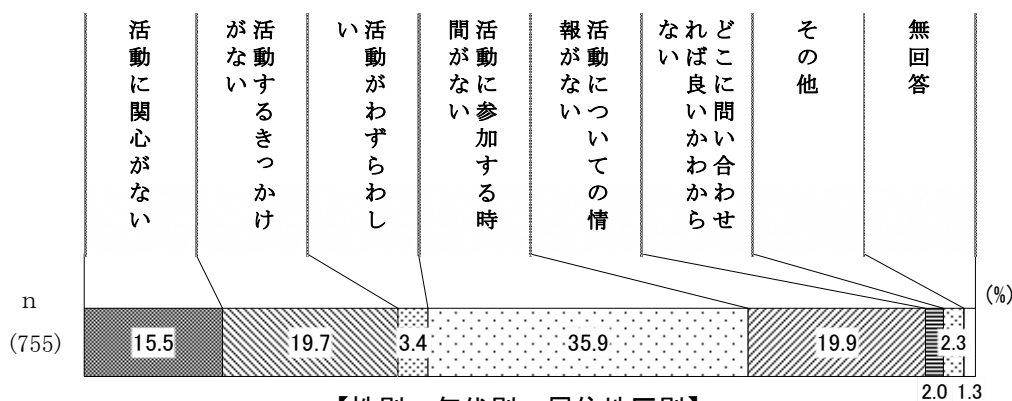
※問16で“あまり参加したことがない”または“参加したことがない”を選択された方に
問16-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

参加したことがない理由は、「活動に参加する時間がない」が35.9%で最も多く、「活動についての情報がない」が19.9%、「活動するきっかけがない」が19.7%であり、機会があれば参加に転じるような理由が比較的多い。また、「活動に関心がない」は15.5%である。

性別でみると、「活動に参加する時間がない」は男女とも最も多い。

年代別でみると、「活動に参加する時間がない」はいずれの年代でも最も多く、特に50歳代では45.3%である。

居住地区別でみると、「活動に参加する時間がない」はいずれの地区でも3割台で最も多い。



		n	活動に関心がない	活動するきっかけがない	活動がわずらわしい	活動に参加する時間がない	活動についての情報がない	どこに良い問い合わせ先がない	その他	無回答
全体		755	15.5	19.7	3.4	35.9	19.9	2.0	2.3	1.3
性別	男性	295	16.9	20.3	3.4	31.9	22.0	1.7	2.0	1.7
	女性	455	14.5	19.1	3.5	38.9	18.5	2.0	2.4	1.1
年代別	19歳以下	35	5.7	22.9	-	40.0	22.9	2.9	2.9	2.9
	20歳代	153	20.9	20.3	0.7	35.9	18.3	2.6	0.7	0.7
	30歳代	229	14.4	21.0	3.5	36.7	22.3	0.4	0.9	0.9
	40歳代	215	15.8	18.6	5.6	34.4	21.4	2.3	1.9	-
	50歳代	64	10.9	18.8	3.1	45.3	14.1	1.6	-	6.3
	60歳代	29	24.1	13.8	-	31.0	10.3	6.9	10.3	3.4
	70歳以上	29	6.9	17.2	10.3	20.7	17.2	3.4	20.7	3.4
居住地区別	Aブロック	88	17.0	14.8	3.4	38.6	19.3	1.1	4.5	1.1
	Bブロック	190	20.0	18.9	3.7	34.2	16.8	2.1	2.6	1.6
	Cブロック	91	13.2	17.6	1.1	37.4	25.3	3.3	1.1	1.1
	Dブロック	294	13.6	22.1	3.1	35.4	21.1	1.4	2.4	1.0
	Eブロック	91	13.2	20.9	6.6	36.3	17.6	3.3	-	2.2

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

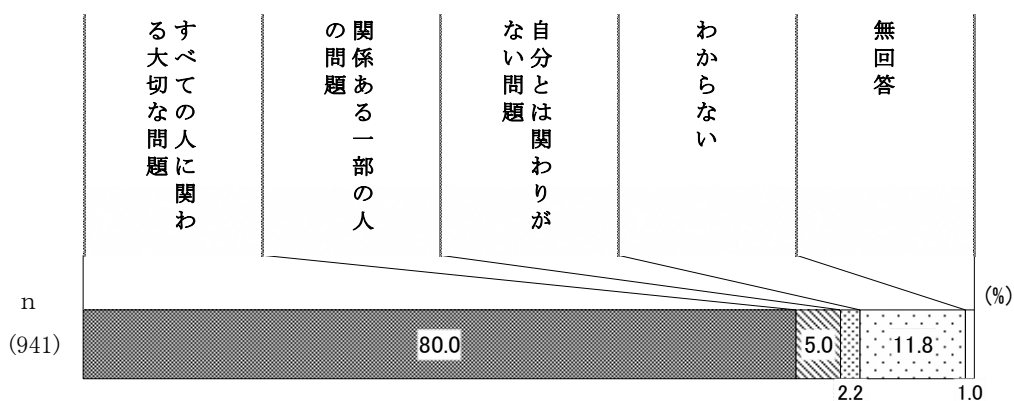
5. 人権問題について

(1) 人権問題について

問17 あなたは、人権問題について、どのように考えていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

人権問題についての考えは、「関係ある一部の人の問題」や「自分とは関わりがない問題」とする人はわずかであり、80.0%が「すべての人に関わる大切な問題」としている。

性別、年代別でみると、「すべての人に関わる大切な問題」がすべての層を通じて7割以上である。



【性別、年代別】

(単位: %)

	n	すべての人に関わる大切な問題	関係ある一部の人の問題	自分とは関わりがない問題	わからない	無回答	
全体	941	80.0	5.0	2.2	11.8	1.0	
性別	男性	359	77.7	6.1	2.8	12.5	0.8
	女性	576	81.6	4.3	1.9	11.1	1.0
年代別	19歳以下	44	81.8	6.8	-	9.1	2.3
	20歳代	167	77.2	5.4	3.6	13.2	0.6
	30歳代	263	80.6	5.3	2.7	11.4	-
	40歳代	277	81.9	5.1	1.4	11.2	0.4
	50歳代	83	78.3	3.6	4.8	9.6	3.6
	60歳代	46	78.3	6.5	-	13.0	2.2
	70歳以上	58	79.3	-	-	17.2	3.4

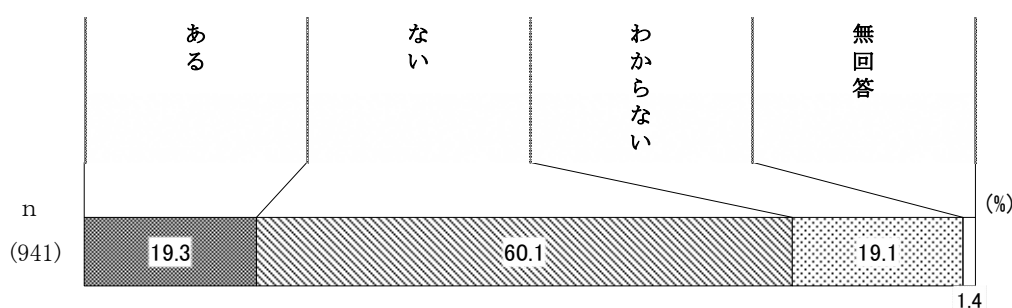
※網掛けは最も多いもの

(2) 人権が侵害されたと感じたこと

問18 あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの周りの人（家族・友人等）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

日常生活の中で、自身や周囲の人の人権が侵害されたと感じたことが「ある」は19.3%、「ない」が60.1%である。

性別、年代別でみると、いずれの層でも「ない」が5割以上である。「ある」は性別では女性で、年代別では20歳代から40歳代で2割台である。



【性別、年代別】

(単位: %)

		n	ある	ない	わからない	無回答
全体		941	19.3	60.1	19.1	1.4
性別	男性	359	16.4	63.0	18.9	1.7
	女性	576	21.0	58.3	19.4	1.2
年代別	19歳以下	44	9.1	59.1	29.5	2.3
	20歳代	167	21.0	55.7	22.2	1.2
	30歳代	263	20.5	60.8	17.5	1.1
	40歳代	277	22.4	56.7	19.5	1.4
	50歳代	83	16.9	65.1	15.7	2.4
	60歳代	46	15.2	76.1	8.7	-
	70歳以上	58	10.3	67.2	20.7	1.7

※網掛けは最も多いもの

(3) 人権侵害の内容

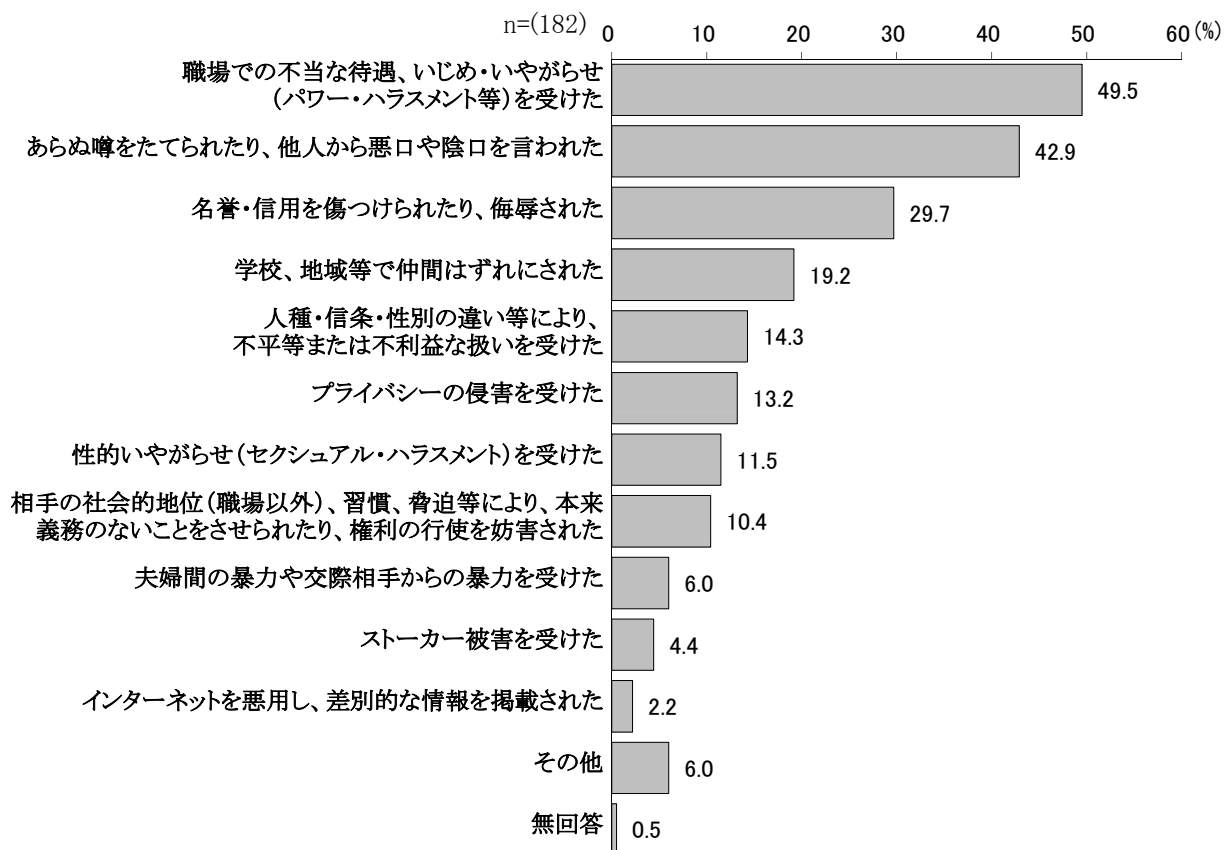
※問18で“ある”を選択された方に

問18-1 それはどのような内容ですか。あてはまる番号に○印をおつけください。
(複数選択可)

人権を侵害されたと感じた経験のある人の内容は、「職場での不当な待遇・いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が49.5%で最も多く、次いで「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が42.9%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が29.7%である。

性別でみると、男女とも「職場での不当な待遇・いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が最も多く、それ以外の項目ではほとんどの項目で女性の方が男性より多い。男性では「プライバシーの侵害を受けた」が女性より多い。

年代別でみると、ほとんどの年代で「職場での不当な待遇・いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が最も多い。「性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた」は20歳代で22.9%と他の年代より多い。



【性別、年代別】

(単位:%)

		n	職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた	あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	学校、地域等で仲間はずれにされた	人種・信条・性別の違い等により、不平等または不利益な扱いを受けた	プライバシーの侵害を受けた	性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	相手の社会的地位（職場以外）、習慣、脅迫等により、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	ストーカー被害を受けた	インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	その他	無回答	
全体		182	49.5	42.9	29.7	19.2	14.3	13.2	11.5	10.4	6.0	4.4	2.2	6.0	0.5	
性別	男性	59	52.5	39.0	23.7	15.3	11.9	20.3	5.1	8.5	-	3.4	1.7	6.8	-	
	女性	121	47.1	44.6	33.1	21.5	15.7	9.9	14.9	11.6	9.1	5.0	2.5	5.8	0.8	
年代別	19歳以下	4	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	35	57.1	48.6	28.6	22.9	17.1	11.4	22.9	2.9	-	5.7	5.7	2.9	-	
	30歳代	54	48.1	40.7	27.8	27.8	18.5	13.0	16.7	14.8	7.4	7.4	1.9	7.4	-	
	40歳代	62	51.6	38.7	32.3	8.1	12.9	11.3	4.8	11.3	9.7	3.2	1.6	8.1	1.6	
	50歳代	14	35.7	64.3	35.7	35.7	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	-	-	7.1	-	
	60歳代	7	42.9	42.9	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	6	50.0	33.3	50.0	16.7	-	50.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-

※網掛けは最も多いもの（その他を除く）

6-1. 男女共同参画について<男女共同参画の実現について>

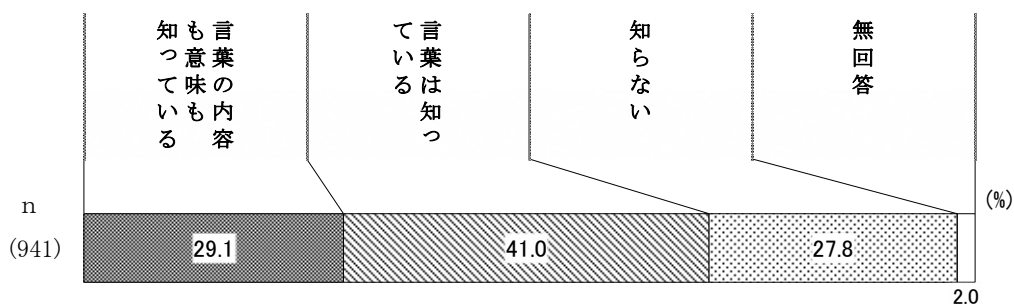
(1) 男女共同参画の認知度

問19 あなたは、男女共同参画という言葉を知っていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

男女共同参画という言葉の認知度は、「言葉の内容も意味も知っている」が29.1%、「言葉は知っている」が41.0%であり、これらをあわせた《知っている》は70.1%である。

性別でみると、男女とも「言葉は知っている」は4割台で、《知っている》では男性（73.8%）が女性（68.0%）を5.8ポイント上回っている。

年代別でみると、ほとんどの年代で「言葉は知っている」が最も多く、20歳代では「言葉の内容も意味も知っている」が46.7%と他の年代より多い。《知っている》ではほとんどの年代で6割以上であるが、60歳代では56.5%と他の年代より少ない。



【性別、年代別】

(単位: %)

		n	言葉の内容も意味も知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		941	29.1	41.0	27.8	2.0
性別	男性	359	32.6	41.2	24.2	1.9
	女性	576	26.7	41.3	29.9	2.1
年代別	19歳以下	44	34.1	43.2	22.7	-
	20歳代	167	46.7	33.5	18.6	1.2
	30歳代	263	30.0	38.4	30.8	0.8
	40歳代	277	21.7	45.5	31.8	1.1
	50歳代	83	27.7	41.0	25.3	6.0
	60歳代	46	15.2	41.3	39.1	4.3
	70歳以上	58	20.7	51.7	19.0	8.6

※網掛けは最も多いもの

(2) 生活場面における男女の平等感

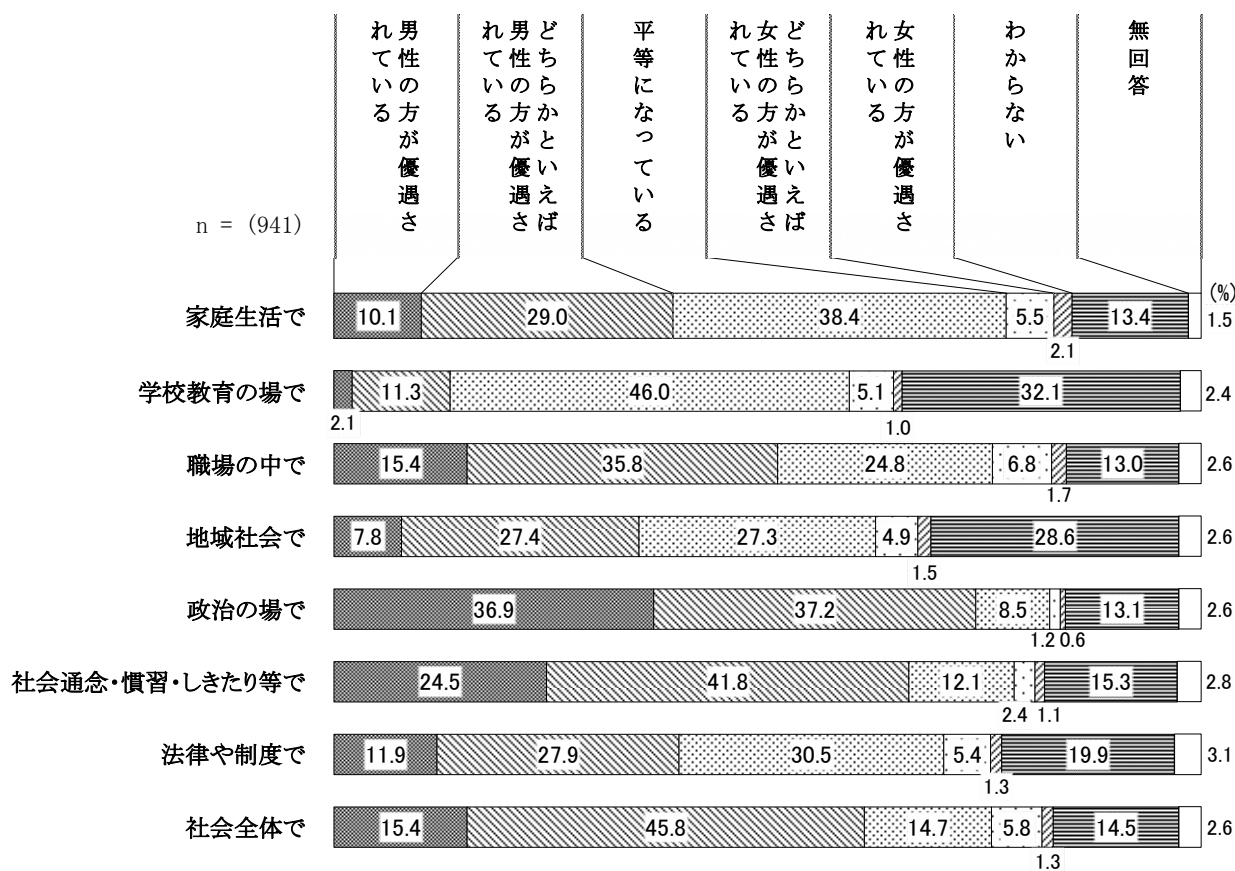
問20 あなたは、以下の場において、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

生活場面における男女の平等感は、《女性優遇》（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）はいずれの場面でも少なく、《男性優遇》（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が多い。特に“政治の場で”は74.1%、“社会通念・慣習・しきたり等で”は66.3%、“社会全体で”は61.2%と多い。「平等となっている」は、“学校教育の場で”が46.0%、“家庭生活で”が38.4%である。

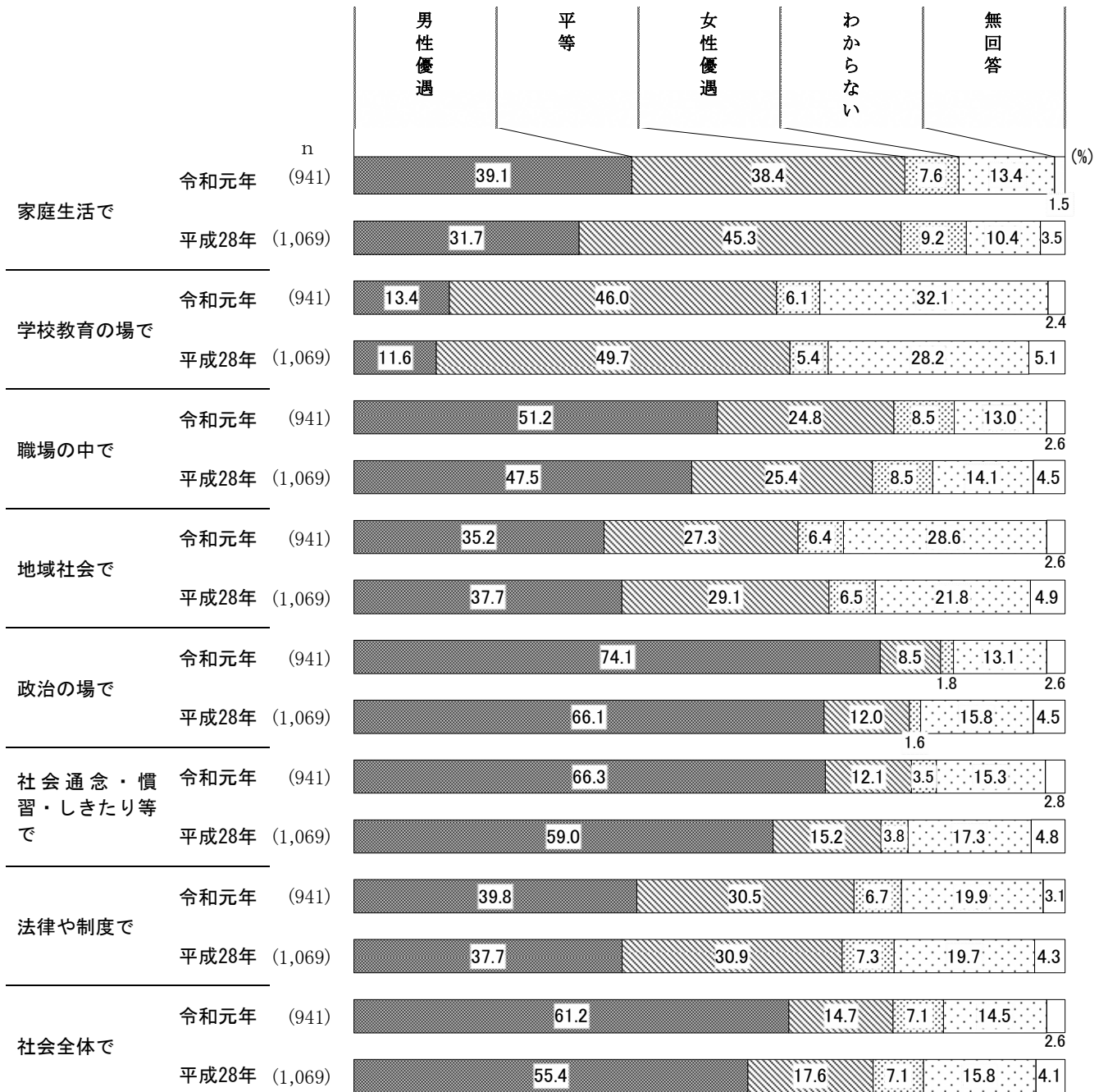
過去の調査と比較しやすいよう《男性優遇》と《女性優遇》でまとめ、前回と比較したところ、“地域社会で”を除くすべての場面で《男性優遇》が増加しており、特に“家庭生活の中で”、“政治の場で”、“社会通念・慣習・しきたり等で”、“社会全体で”の増加が目立っている。

性別でみると、いずれの場面でも《男性優遇》が多く、女性でより顕著であり、“学校教育の中で”以外の場面では男性を10ポイント以上上回っている。

年代別でみると、20歳代の“学校教育の場で”を除くすべての年代のすべての場面で、《男性優遇》が多い。



【経年比較】



【性別、年代別】

◆家庭生活で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえ	平等になってい	どちらかといえ	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	10.1	29.0	38.4	5.5	2.1	13.4	1.5	
性別	男性	359	4.2	23.1	43.2	7.2	2.2	17.0	3.1
	女性	576	13.9	32.8	35.1	4.5	2.1	11.1	0.5
年代別	19歳以下	44	2.3	22.7	52.3	6.8	-	15.9	-
	20歳代	167	7.2	27.5	40.7	6.0	2.4	15.6	0.6
	30歳代	263	13.3	28.1	37.6	5.3	2.3	12.2	1.1
	40歳代	277	10.5	30.0	39.4	4.0	3.6	12.6	-
	50歳代	83	8.4	31.3	30.1	9.6	-	18.1	2.4
	60歳代	46	10.9	41.3	39.1	2.2	-	6.5	-
	70歳以上	58	10.3	24.1	31.0	8.6	-	13.8	12.1

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

◆学校教育の場で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえ	平等になってい	どちらかといえ	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	2.1	11.3	46.0	5.1	1.0	32.1	2.4	
性別	男性	359	1.4	8.9	45.1	6.4	1.7	32.9	3.6
	女性	576	2.6	12.8	46.5	4.3	0.5	31.4	1.7
年代別	19歳以下	44	-	15.9	54.5	15.9	-	13.6	-
	20歳代	167	1.8	6.0	54.5	8.4	3.0	25.7	0.6
	30歳代	263	2.3	11.4	49.4	6.5	1.1	28.1	1.1
	40歳代	277	2.2	13.7	45.5	2.5	-	35.7	0.4
	50歳代	83	1.2	14.5	32.5	1.2	1.2	47.0	2.4
	60歳代	46	4.3	6.5	37.0	-	-	43.5	8.7
	70歳以上	58	3.4	10.3	31.0	3.4	-	32.8	19.0

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

◆職場の中で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえ	平等になってい	どちらかといえ	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	15.4	35.8	24.8	6.8	1.7	13.0	2.6	
性別	男性	359	11.1	32.6	27.0	10.0	2.8	12.5	3.9
	女性	576	18.1	38.0	23.1	4.9	1.0	13.2	1.7
年代別	19歳以下	44	11.4	20.5	25.0	4.5	2.3	36.4	-
	20歳代	167	13.8	32.3	29.9	8.4	0.6	15.0	-
	30歳代	263	18.6	42.2	21.3	7.6	2.7	7.2	0.4
	40歳代	277	15.5	35.4	28.5	8.3	1.8	9.7	0.7
	50歳代	83	16.9	38.6	20.5	2.4	1.2	16.9	3.6
	60歳代	46	15.2	39.1	21.7	4.3	-	10.9	8.7
	70歳以上	58	6.9	24.1	15.5	1.7	1.7	27.6	22.4

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

第2章 調査結果

◆地域社会で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえ	平等になってい	どちらかといえ	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	7.8	27.4	27.3	4.9	1.5	28.6	2.6	
性別	男性	359	5.8	21.4	31.2	8.4	2.2	27.6	3.3
	女性	576	9.0	31.3	24.8	2.8	1.0	29.0	2.1
年代別	19歳以下	44	4.5	20.5	40.9	6.8	-	27.3	-
	20歳代	167	3.6	13.8	35.9	8.4	1.2	36.5	0.6
	30歳代	263	9.5	28.9	25.5	3.8	3.4	28.5	0.4
	40歳代	277	6.1	29.6	27.8	5.4	0.7	28.5	1.8
	50歳代	83	18.1	33.7	13.3	2.4	-	27.7	4.8
	60歳代	46	6.5	50.0	21.7	-	2.2	15.2	4.3
	70歳以上	58	8.6	29.3	22.4	3.4	-	19.0	17.2

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

◆政治の場で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえ	平等になってい	どちらかといえ	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	36.9	37.2	8.5	1.2	0.6	13.1	2.6	
性別	男性	359	31.2	36.2	13.1	1.7	1.4	13.1	3.3
	女性	576	40.6	37.5	5.6	0.9	0.2	13.2	2.1
年代別	19歳以下	44	27.3	45.5	9.1	-	-	15.9	2.3
	20歳代	167	33.5	38.3	9.0	0.6	-	18.6	-
	30歳代	263	43.0	36.5	5.7	1.9	0.8	10.6	1.5
	40歳代	277	40.8	34.3	9.7	1.4	0.7	12.3	0.7
	50歳代	83	38.6	42.2	4.8	-	1.2	10.8	2.4
	60歳代	46	21.7	45.7	10.9	-	2.2	13.0	6.5
	70歳以上	58	19.0	29.3	17.2	1.7	-	13.8	19.0

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

◆社会通念・慣習・しきたり等で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえ	平等になってい	どちらかといえ	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	24.5	41.8	12.1	2.4	1.1	15.3	2.8	
性別	男性	359	19.2	39.8	16.4	3.9	1.9	14.8	3.9
	女性	576	28.1	42.7	9.5	1.6	0.5	15.5	2.1
年代別	19歳以下	44	15.9	31.8	20.5	2.3	2.3	25.0	2.3
	20歳代	167	19.8	35.3	16.2	4.2	1.2	22.8	0.6
	30歳代	263	29.7	43.0	10.6	1.9	1.1	12.5	1.1
	40歳代	277	28.5	44.0	10.8	2.5	1.1	12.3	0.7
	50歳代	83	24.1	48.2	7.2	1.2	1.2	15.7	2.4
	60歳代	46	13.0	54.3	8.7	2.2	-	15.2	6.5
	70歳以上	58	13.8	32.8	17.2	1.7	-	12.1	22.4

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

◆法律や制度で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえる	平等になっていない	どちらかといえる	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	11.9	27.9	30.5	5.4	1.3	19.9	3.1	
性別	男性	359	6.4	22.3	37.9	8.4	2.8	18.1	4.2
	女性	576	15.5	31.6	26.0	3.3	0.3	20.8	2.4
年代別	19歳以下	44	6.8	20.5	34.1	6.8	2.3	29.5	-
	20歳代	167	7.8	21.0	31.7	8.4	1.8	28.7	0.6
	30歳代	263	14.8	26.6	31.9	6.1	1.1	17.9	1.5
	40歳代	277	14.1	31.4	28.9	5.8	1.4	17.0	1.4
	50歳代	83	15.7	36.1	22.9	2.4	1.2	19.3	2.4
	60歳代	46	2.2	37.0	32.6	-	-	17.4	10.9
	70歳以上	58	6.9	25.9	34.5	-	-	12.1	20.7

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

◆社会全体で

(単位:%)

	n	男性の方が優遇	どちらかといえる	平等になっていない	どちらかといえる	女性の方が優遇	わからない	無回答	
全体	941	15.4	45.8	14.7	5.8	1.3	14.5	2.6	
性別	男性	359	9.5	41.5	18.7	10.3	2.8	14.2	3.1
	女性	576	19.3	48.6	12.2	3.0	0.3	14.4	2.3
年代別	19歳以下	44	11.4	40.9	13.6	6.8	2.3	25.0	-
	20歳代	167	11.4	37.1	18.6	9.6	3.0	20.4	-
	30歳代	263	17.1	50.2	12.2	6.5	1.1	12.2	0.8
	40歳代	277	18.4	44.4	16.6	6.1	0.7	12.3	1.4
	50歳代	83	15.7	56.6	9.6	1.2	1.2	13.3	2.4
	60歳代	46	13.0	58.7	8.7	2.2	-	10.9	6.5
	70歳以上	58	10.3	34.5	19.0	-	-	15.5	20.7

※網掛けは最も多いもの(わからないを除く)

(3) 固定的な性別役割分担の考え方

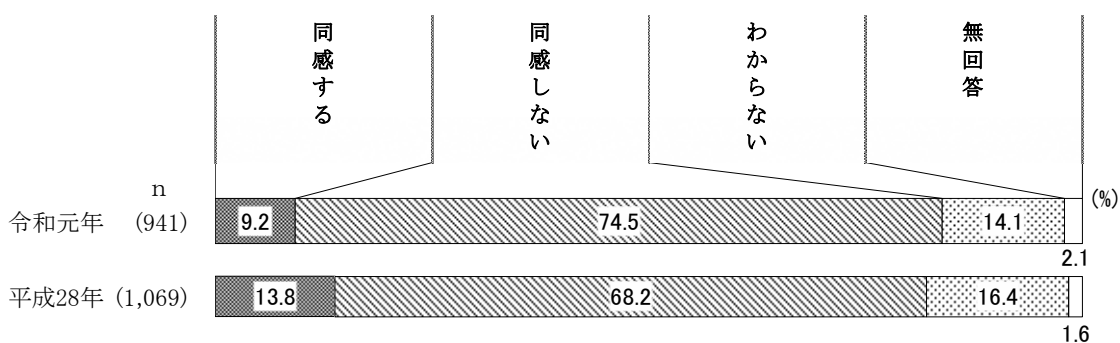
問21 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担の考え方について、どう思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

固定的な性別役割分担の考え方については、「同感する」は9.2%とわずかであり、「同感しない」が74.5%である。

過去の調査と比較すると、前回調査より「同感する」は4.6ポイント減少し、「同感しない」が6.3ポイント増加している。

性別でみると特に大きな差はみられない。

年代別でみると、いずれの年代も「同感しない」が最も多く、19歳以下から60歳代までは7割以上である。70歳以上では「同感する」が19.0%と他の年代より多い。



【性別、年代別】

(単位: %)

		n	同感する	同感しない	わからない	無回答
全体		941	9.2	74.5	14.1	2.1
性別	男性	359	10.3	72.4	14.8	2.5
	女性	576	8.3	76.0	13.7	1.9
年代別	19歳以下	44	9.1	70.5	18.2	2.3
	20歳代	167	8.4	77.8	13.2	0.6
	30歳代	263	6.5	80.2	12.9	0.4
	40歳代	277	11.2	72.2	14.8	1.8
	50歳代	83	7.2	73.5	14.5	4.8
	60歳代	46	8.7	80.4	4.3	6.5
	70歳以上	58	19.0	50.0	24.1	6.9

※網掛けは最も多いもの

(4) 家庭での役割分担

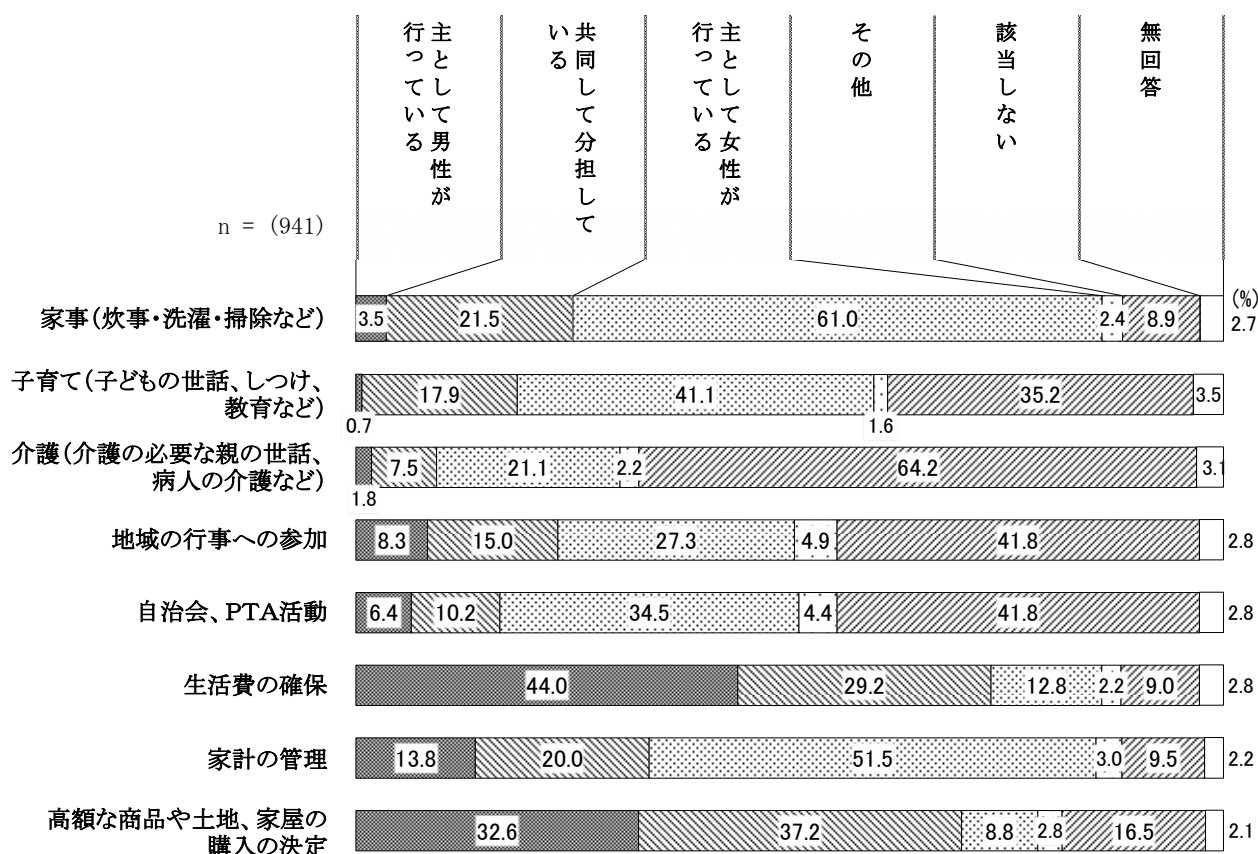
問22 あなたの家庭では、以下の(1)～(8)のことについて、主に男性、女性のどちらが行っていますか。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

家庭での役割分担で「主として男性が行っている」ものは、「生活費の確保」が44.0%、「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」が32.6%である。「主として女性が行っている」ものは、「家事」が61.0%、「家計の管理」が51.5%、「子育て」が41.1%である。また、「該当しない」が多い項目の「介護」や「地域の行事への参加」、「自治会、PTA活動」でも「主として女性が行っている」が多く、全般的に女性の負担が大きい傾向がみられる。

性別でみると、「共同して分担している」ものは、「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」が多い。

年代別でみると、多くの項目で年代を通じて「主として女性が行っている」が多いが、「生活費の確保」は20歳代以外で「主として男性が行っている」、「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」は40歳代以下で「共同して分担している」、50歳代以上で「主として男性が行っている」が多い。

固定的な性別役割分担の考え方でみると、多くの項目でその考え方に関わらず「主として女性が行っている」が多いが、「生活費の確保」は「主として男性が行っている」、「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」は「共同して分担している」が多い。



【性別、年代別】

◆家事（炊事・洗濯・掃除など）

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して て男	担共 し同 てし て分	い性主 るがと 行して て女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全体	941	3.5	21.5	61.0	2.4	8.9	2.7	
性別	男性	359	7.8	25.3	50.7	2.8	10.3	3.1
	女性	576	0.5	18.9	67.7	2.3	8.2	2.4
年代別	19歳以下	44	-	20.5	70.5	4.5	4.5	-
	20歳代	167	3.6	27.5	48.5	4.2	14.4	1.8
	30歳代	263	2.3	24.0	66.5	0.8	6.1	0.4
	40歳代	277	5.4	20.9	59.6	2.5	9.7	1.8
	50歳代	83	4.8	12.0	66.3	3.6	9.6	3.6
	60歳代	46	-	19.6	69.6	-	4.3	6.5
	70歳以上	58	3.4	10.3	56.9	3.4	8.6	17.2

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

◆子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して て男	担共 し同 てし て分	い性主 るがと 行して て女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全体	941	0.7	17.9	41.1	1.6	35.2	3.5	
性別	男性	359	1.9	19.5	31.2	2.8	40.1	4.5
	女性	576	-	17.0	47.2	0.9	31.9	3.0
年代別	19歳以下	44	-	18.2	56.8	2.3	20.5	2.3
	20歳代	167	1.2	16.8	32.9	3.0	45.5	0.6
	30歳代	263	0.8	20.2	45.6	0.8	31.9	0.8
	40歳代	277	0.7	19.9	40.8	1.1	36.1	1.4
	50歳代	83	1.2	13.3	38.6	1.2	39.8	6.0
	60歳代	46	-	13.0	41.3	2.2	28.3	15.2
	70歳以上	58	-	8.6	37.9	3.4	27.6	22.4

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

◆介護（介護の必要な親の世話、病人の介護など）

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して て男	担共 し同 てし て分	い性主 るがと 行して て女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全体	941	1.8	7.5	21.1	2.2	64.2	3.1	
性別	男性	359	4.2	11.1	10.9	2.5	66.9	4.5
	女性	576	0.3	5.2	27.4	2.1	62.7	2.3
年代別	19歳以下	44	2.3	4.5	27.3	2.3	63.6	-
	20歳代	167	3.0	9.0	15.6	4.2	67.7	0.6
	30歳代	263	0.8	4.6	14.4	1.9	77.6	0.8
	40歳代	277	1.4	6.5	24.5	1.4	63.9	2.2
	50歳代	83	4.8	13.3	27.7	2.4	45.8	6.0
	60歳代	46	-	8.7	30.4	-	50.0	10.9
	70歳以上	58	1.7	13.8	31.0	3.4	32.8	17.2

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

◆地域の行事への参加

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して って男	担共 し同 てして いる分	い性主 るがと 行して って女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全 体	941	8.3	15.0	27.3	4.9	41.8	2.8	
性別	男性	359	10.9	15.6	18.9	7.2	43.7	3.6
	女性	576	6.8	14.8	32.6	3.3	40.3	2.3
年代別	19歳以下	44	6.8	11.4	36.4	2.3	43.2	-
	20歳代	167	9.6	10.8	14.4	4.8	59.3	1.2
	30歳代	263	3.4	15.6	24.3	6.8	49.0	0.8
	40歳代	277	6.5	18.8	32.5	3.6	37.2	1.4
	50歳代	83	16.9	9.6	32.5	3.6	33.7	3.6
	60歳代	46	8.7	15.2	41.3	8.7	15.2	10.9
	70歳以上	58	22.4	15.5	29.3	3.4	12.1	17.2

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

◆自治会、PTA活動

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して って男	担共 し同 てして いる分	い性主 るがと 行して って女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全 体	941	6.4	10.2	34.5	4.4	41.8	2.8	
性別	男性	359	9.2	12.3	23.4	5.8	46.2	3.1
	女性	576	4.7	9.0	41.7	3.3	38.7	2.6
年代別	19歳以下	44	6.8	9.1	52.3	2.3	29.5	-
	20歳代	167	9.0	9.0	18.0	4.2	59.3	0.6
	30歳代	263	2.7	9.5	33.8	4.9	48.3	0.8
	40歳代	277	3.2	13.4	42.2	4.0	35.7	1.4
	50歳代	83	12.0	4.8	33.7	3.6	39.8	6.0
	60歳代	46	10.9	6.5	43.5	6.5	23.9	8.7
	70歳以上	58	19.0	12.1	29.3	5.2	17.2	17.2

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

◆生活費の確保

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して って男	担共 し同 てして いる分	い性主 るがと 行して って女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全 体	941	44.0	29.2	12.8	2.2	9.0	2.8	
性別	男性	359	46.5	26.7	8.9	3.1	10.9	3.9
	女性	576	42.2	30.9	15.1	1.7	8.0	2.1
年代別	19歳以下	44	40.9	25.0	20.5	4.5	9.1	-
	20歳代	167	34.1	37.7	7.8	4.2	15.6	0.6
	30歳代	263	47.5	34.2	9.9	0.8	6.8	0.8
	40歳代	277	51.6	23.1	13.0	2.2	8.7	1.4
	50歳代	83	37.3	26.5	16.9	4.8	8.4	6.0
	60歳代	46	37.0	30.4	21.7	-	4.3	6.5
	70歳以上	58	37.9	15.5	20.7	-	6.9	19.0

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

◆家計の管理

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して て男	担共 し同 して いて る分	い性主 るがと 行して て女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全 体	941	13.8	20.0	51.5	3.0	9.5	2.2	
性 別	男性	359	21.4	21.2	39.3	3.3	11.4	3.3
	女性	576	8.9	19.4	59.0	2.8	8.3	1.6
年 代 別	19歳以下	44	6.8	13.6	61.4	4.5	13.6	-
	20歳代	167	8.4	24.6	43.7	6.0	16.8	0.6
	30歳代	263	16.0	27.8	47.5	1.9	6.5	0.4
	40歳代	277	17.7	16.2	53.1	2.5	9.0	1.4
	50歳代	83	14.5	7.2	61.4	3.6	8.4	4.8
	60歳代	46	6.5	21.7	60.9	-	4.3	6.5
	70歳以上	58	12.1	12.1	53.4	1.7	6.9	13.8

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

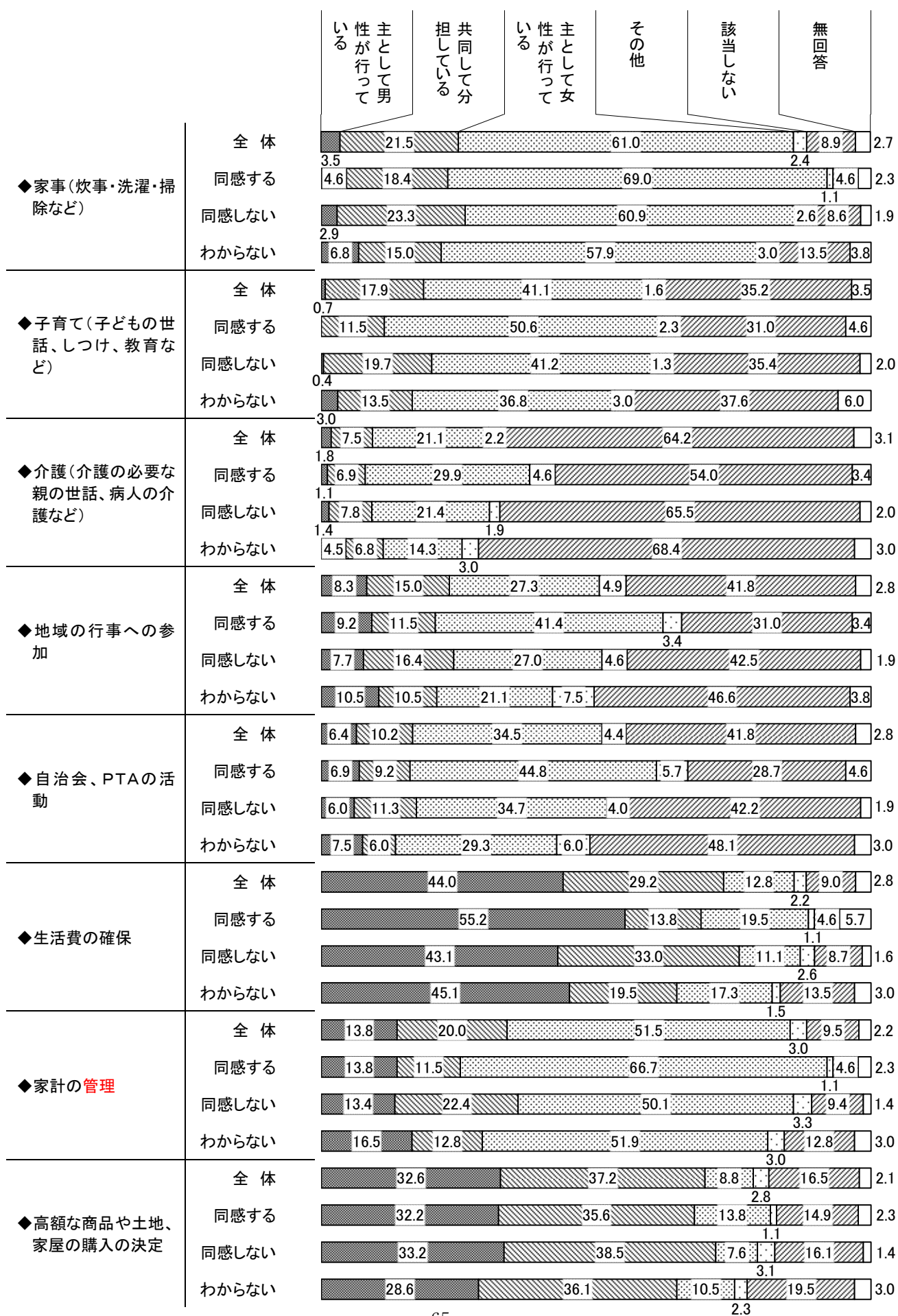
◆高額な商品や土地、家屋の購入の決定

(単位:%)

	n	い性主 るがと 行して て男	担共 し同 して いて る分	い性主 るがと 行して て女	そ の 他	該 当 し な い	無 回 答	
全 体	941	32.6	37.2	8.8	2.8	16.5	2.1	
性 別	男性	359	32.9	34.8	6.1	4.5	18.9	2.8
	女性	576	32.5	38.5	10.4	1.7	15.1	1.7
年 代 別	19歳以下	44	20.5	36.4	18.2	6.8	18.2	-
	20歳代	167	25.7	35.9	7.2	3.6	26.9	0.6
	30歳代	263	35.0	43.7	7.2	1.9	11.8	0.4
	40歳代	277	31.4	39.4	10.8	2.5	14.4	1.4
	50歳代	83	37.3	27.7	10.8	3.6	15.7	4.8
	60歳代	46	43.5	30.4	4.3	2.2	13.0	6.5
	70歳以上	58	43.1	19.0	3.4	1.7	20.7	12.1

※網掛けは最も多いもの(その他、該当しないを除く)

【固定的な性別役割分担の考え方別】



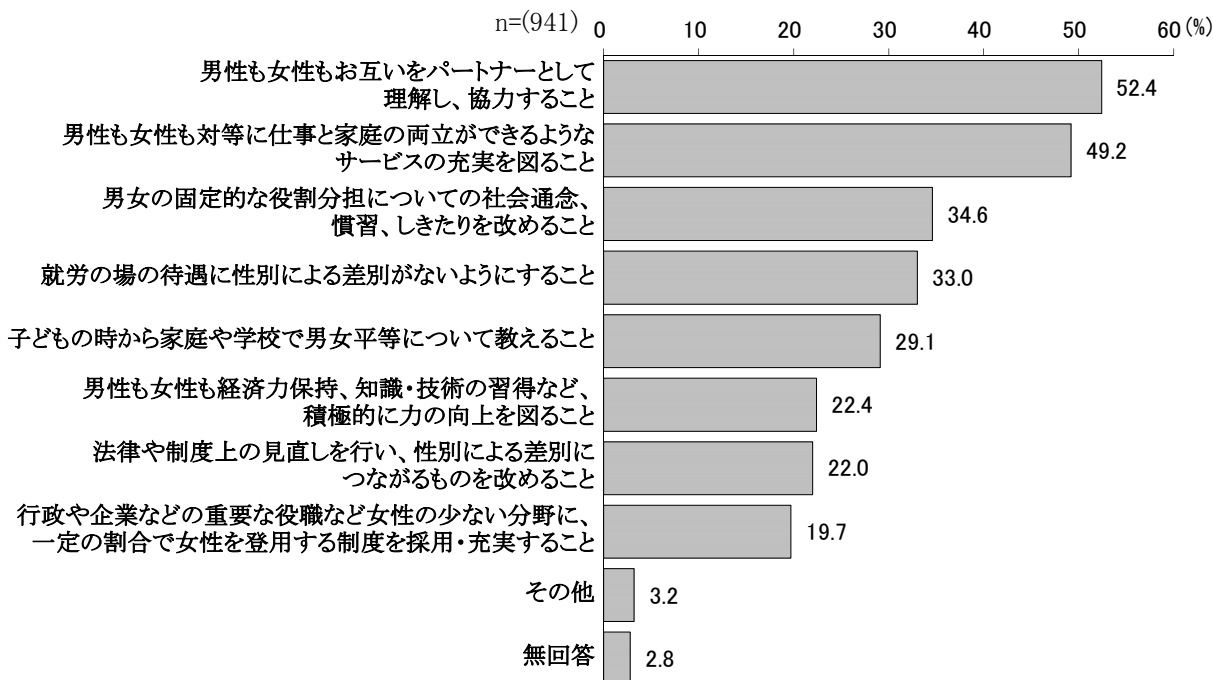
(5) 男女共同参画を推進するために必要なこと

問23 性別にとらわれず、誰もが自分らしく、輝いて暮らせるまちをめざして、市では、「男女共同参画」を推進しています。「男女共同参画」を推進するにあたって、あなたは何が必要だと思いますか。次の中から優先順位の高いもの、3つまでに○印をおつけください。

男女共同参画社会を推進するために必要なことは、「男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること」(52.4%)、「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること」(49.2%)が5割前後と特に多く、次いで「男女の固定的な役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(34.6%)、「就労の場の待遇に性別による差別がないようにすること」(33.0%)が3割台である。

性別でみると、男女とも「男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること」、「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること」が4割以上と多く、いずれも女性が男性より8ポイント以上多い。

年代別でみると、60歳代以下では「男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること」、「男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること」が上位にあげられている。「就労の場の待遇に性別による差別がないようにすること」は50歳代で41.0%、「行政や企業などの重要な役割など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」は60歳代以上で3割台と他の年代より多い。また、「法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること」は70歳以上で6.9%と他の年代と比較して少なく、消極的な意見である。



【性別、年代別】

(単位:%)

		n	男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること	男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサイブスの充実を図ること	男女の固定的な役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	就労の場の待遇に性別による差別がないようにすること	子どもの時から家庭や学校で男女平等について教えること	男性も女性も経済力保持、知識・技術の習得など、積極的に力の向上を図ること	法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること	行政や企業などの重要な役職など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	その他	無回答
全体		941	52.4	49.2	34.6	33.0	29.1	22.4	22.0	19.7	3.2	2.8
性別	男性	359	47.1	44.0	32.6	33.1	28.4	23.1	25.9	18.7	4.2	3.1
	女性	576	55.7	52.3	36.1	32.6	29.9	21.9	19.8	20.3	2.4	2.6
年代別	19歳以下	44	40.9	47.7	43.2	34.1	31.8	15.9	29.5	20.5	-	2.3
	20歳代	167	55.7	51.5	40.1	35.3	27.5	18.6	27.5	15.0	3.0	0.6
	30歳代	263	49.4	55.9	36.5	31.6	36.1	23.6	18.3	20.5	3.8	1.1
	40歳代	277	52.3	50.5	36.1	32.1	26.7	23.8	23.1	17.7	3.2	2.9
	50歳代	83	47.0	41.0	31.3	41.0	28.9	19.3	19.3	16.9	1.2	6.0
	60歳代	46	60.9	34.8	19.6	23.9	17.4	26.1	34.8	30.4	8.7	4.3
	70歳以上	58	63.8	29.3	15.5	32.8	19.0	27.6	6.9	34.5	1.7	10.3

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

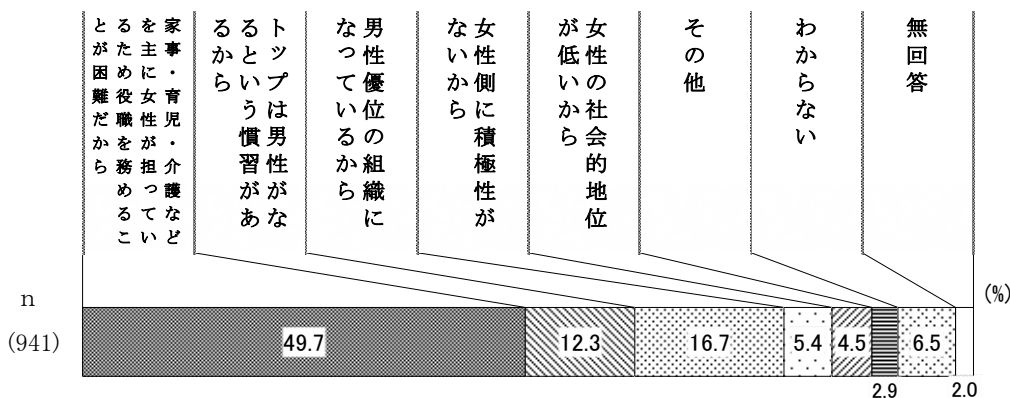
(6) 地域組織のリーダーに女性が少ない理由

問24 各種団体や組合など、地域組織のリーダーに女性が少ない理由は次のうちどれだと思いますか。最もあてはまる番号1つに○印をおつけください。

地域組織のリーダーに女性が少ないと思う理由は、「家事・育児・介護などを主に女性が担っているため役職を務めることが困難だから」(49.7%)が半数近くであり、「男性優位の組織になっているから」(16.7%)、「トップは男性になるという慣習があるから」(12.3%)が1割台である。

性別でみると、男女とも「家事・育児・介護などを主に女性が担っているため役職を務めることが困難だから」が最も多いが、女性では54.2%と男性より11.6ポイント多い。「男性優位の組織になっているから」は男性でより多い。

年代別でみると、いずれの年代でも「家事・育児・介護などを主に女性が担っているため役職を務めることが困難だから」が最も多い。70歳以上では「トップは男性になるという慣習があるから」(24.1%)、「女性側に積極性がないから」(10.3%)が他の年代より多い。



【性別、年代別】

(単位: %)

	性別	n	家事・育児・介護などを担っているため役職を務めることが困難だから	トップは男性になるという慣習があるから	男性優位の組織になっているから	女性側に積極性がないから	女性の社会的地位が低いから	その他	わからない	無回答
全体		941	49.7	12.3	16.7	5.4	4.5	2.9	6.5	2.0
性別	男性	359	42.6	12.5	20.3	5.8	3.1	6.4	7.2	1.9
	女性	576	54.2	12.3	14.4	4.9	5.4	0.7	6.1	2.1
年代別	19歳以下	44	52.3	18.2	9.1	4.5	6.8	2.3	6.8	-
	20歳代	167	48.5	15.6	14.4	6.6	3.0	2.4	8.4	1.2
	30歳代	263	56.7	9.1	17.5	4.2	4.2	4.2	3.0	1.1
	40歳代	277	45.5	12.6	18.8	5.8	5.1	3.2	7.6	1.4
	50歳代	83	57.8	7.2	13.3	3.6	2.4	2.4	8.4	4.8
	60歳代	46	50.0	6.5	19.6	4.3	6.5	-	10.9	2.2
	70歳以上	58	31.0	24.1	15.5	10.3	6.9	-	5.2	6.9

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

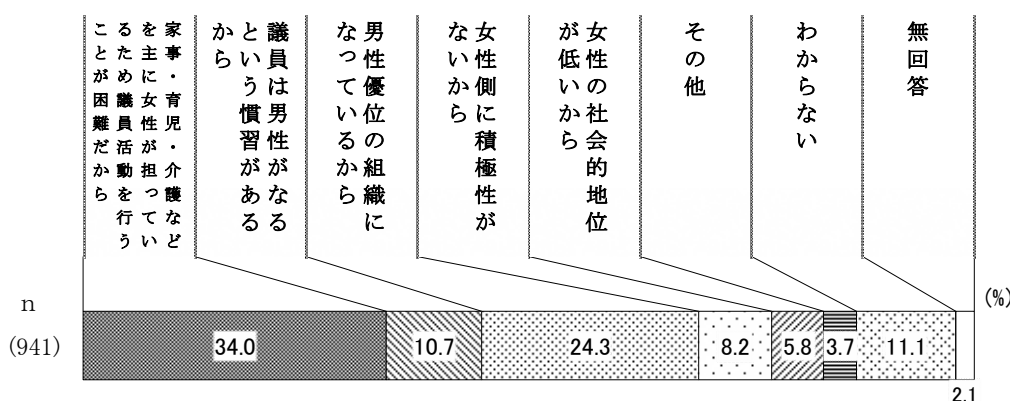
(7) 市議会議員に女性が少ない理由

問25 本市の市議会議員に占める女性の割合は、28.6%です。あなたは、議員に女性が少ない理由は、次のうちどれだと思いますか。最もあてはまる番号1つに○印をおつけください。

市議会議員に女性が少ない理由は、「家事・育児・介護などを主に女性が担っているため議員活動を行うことが困難だから」が34.0%で最も多く、「男性優位の組織になっているから」が24.3%、「議員は男性になるという慣習があるから」が10.7%である。

性別でみると、大きな違いはみられないが、男女とも「家事・育児・介護などを主に女性が担っているため議員活動を行うことが困難だから」が最も多く、女性でやや多い。

年代別でみると、20歳代以外のすべての年代で「家事・育児・介護などを主に女性が担っているため議員活動を行うことが困難だから」が最も多い。20歳代では「男性優位の組織になっているから」が30.5%で最も多い。また、「議員は男性になるという慣習があるから」は19歳以下で20.5%と他の年代より多い。



【性別、年代別】

(単位: %)

	n	家事・育児・介護などを主に女性が担っているため議員活動を行うことが困難だから	議員は男性になるという慣習があるから	男性優位の組織になっているから	女性側の社会的地位が低いから	女性側に積極性がないから	その他	わからない	無回答	
全体	941	34.0	10.7	24.3	8.2	5.8	3.7	11.1	2.1	
性別	男性	359	31.2	9.5	26.5	7.2	3.1	7.0	13.9	1.7
	女性	576	35.9	11.5	23.1	8.5	7.6	1.7	9.4	2.3
年代別	19歳以下	44	25.0	20.5	18.2	6.8	2.3	4.5	20.5	2.3
	20歳代	167	29.3	9.6	30.5	9.0	6.6	3.6	11.4	-
	30歳代	263	38.0	9.9	24.3	6.5	7.2	5.3	7.2	1.5
	40歳代	277	33.9	10.8	23.8	10.1	3.6	4.0	11.9	1.8
	50歳代	83	33.7	13.3	25.3	4.8	4.8	2.4	9.6	6.0
	60歳代	46	39.1	6.5	19.6	8.7	10.9	-	15.2	-
	70歳以上	58	32.8	8.6	17.2	10.3	8.6	-	15.5	6.9

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

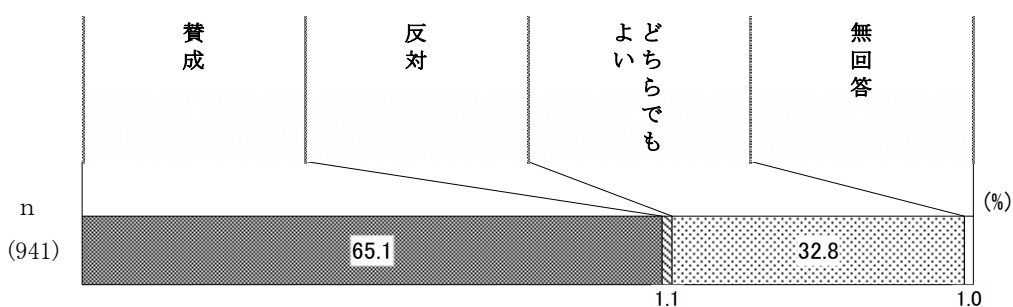
(8) 女性が管理職になることについての考え

問26 あなたは、女性が職場において管理職になることについて、どう思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

女性が職場で管理職になることについては、「賛成」が65.1%であり、「どちらでもよい」が32.8%である。

性別で見ると、「賛成」は女性が72.0%で、男性の54.0%より18ポイント多いが、男性でも「反対」はわずかであり、「どちらでもよい」が42.1%と多い。

年代別で見ると、「賛成」はいずれも半数以上で、特に30歳代と70歳以上で7割台である。いずれの年代も「反対」はわずかであり、「賛成」か「どちらでもよい」に分かれている。



【性別、年代別】

(単位: %)

	n	賛成	反対	よどちらでも	無回答	
全体	941	65.1	1.1	32.8	1.0	
性別	男性	359	54.0	2.5	42.1	1.4
	女性	576	72.0	0.2	27.1	0.7
年代別	19歳以下	44	52.3	2.3	45.5	-
	20歳代	167	65.9	0.6	33.5	-
	30歳代	263	70.3	1.5	27.0	1.1
	40歳代	277	63.2	0.4	35.7	0.7
	50歳代	83	55.4	2.4	38.6	3.6
	60歳代	46	63.0	-	37.0	-
	70歳以上	58	74.1	1.7	22.4	1.7

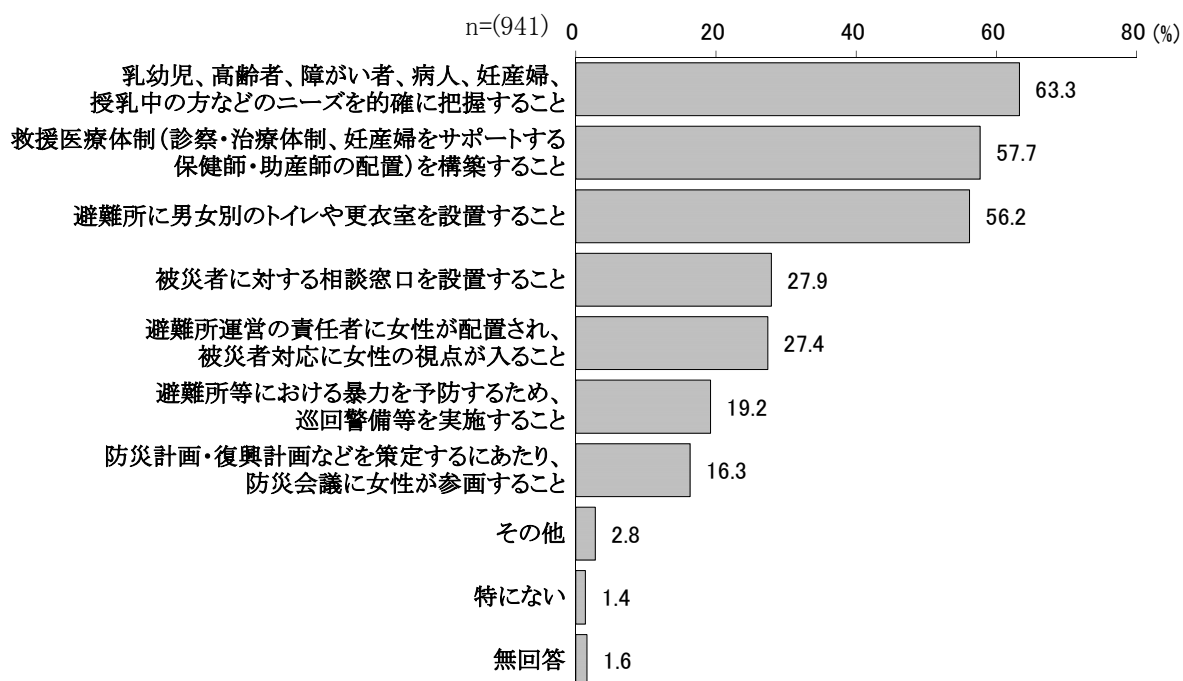
※網掛けは最も多いもの

(9) 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要のあること

問27 防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があると思うことは何ですか。次の中から優先順位の高いもの、3つまでに○印をおつけください。

防災・災害復興対策で配慮して取り組む必要があることは、「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること」が63.3%で最も多く、次いで「救援体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること」（57.7%）、「避難所に男女別のトイレや更衣室を設置すること」（56.2%）が5割台である。

性別・年代別でみると、「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること」、「救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること」、「避難所に男女別のトイレや更衣室を設置すること」は男女とも5割以上である。



【性別、年代別】

(単位:%)

		n	乳幼児、高齢者、障がい者、病人、妊産婦、授乳中の方などのニーズを的確に把握すること	救済医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）を構築すること	避難所に男女別のトイレや更衣室を設置すること	被災者に対する相談窓口を設置すること	避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること	避難所等における暴力を予防するため、巡回警備等を実施すること	防災計画・復興計画などを策定するにあたり、防災会議に女性が参画すること	その他	特にない	無回答
全体		941	63.3	57.7	56.2	27.9	27.4	19.2	16.3	2.8	1.4	1.6
性別	男性	359	58.5	55.7	53.2	29.8	24.0	21.7	15.3	4.5	2.2	2.2
	女性	576	66.7	58.5	58.2	26.7	29.7	17.4	17.0	1.7	0.9	1.2
年代別	19歳以下	44	63.6	54.5	59.1	22.7	22.7	22.7	11.4	2.3	4.5	-
	20歳代	167	67.7	64.7	58.1	15.0	28.1	19.2	13.8	3.6	3.0	1.2
	30歳代	263	73.8	62.0	55.1	24.7	27.8	20.5	14.1	3.4	-	0.4
	40歳代	277	53.8	53.4	56.0	33.6	26.7	23.8	18.1	2.9	1.1	1.1
	50歳代	83	56.6	53.0	56.6	31.3	30.1	10.8	18.1	-	1.2	7.2
	60歳代	46	58.7	58.7	54.3	50.0	17.4	8.7	21.7	4.3	-	-
	70歳以上	58	60.3	48.3	55.2	36.2	34.5	10.3	22.4	-	3.4	5.2

※網掛けは最も多いもの(その他、特にないを除く)

6-2. 男女共同参画について<DVについて>

(1) DVの認知度

問28 あなたは、DVという言葉を知っていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

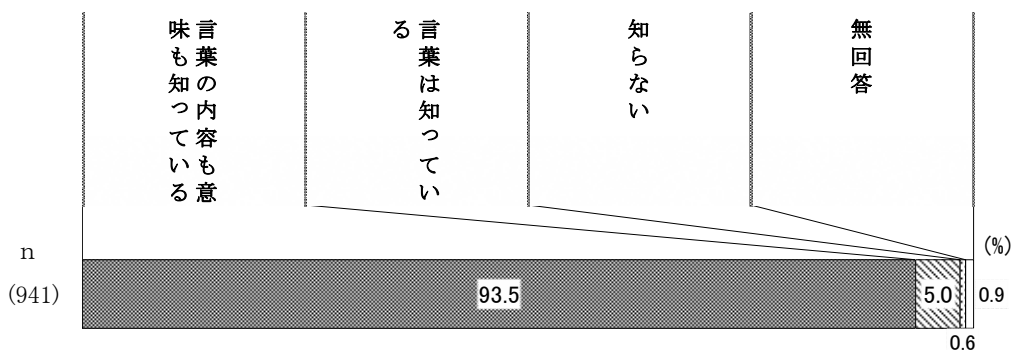
DVとは、

「ドメスティック・バイオレンス」の略称で、配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）者から振るわれる暴力をいいます。

DVという言葉の認知度は、「言葉の内容も意味も知っている」が93.5%で、これに「言葉は知っている」(5.0%)をあわせた《知っている》は全数近い。

性別でみると、《知っている》、「知らない」では特に大きな差はみられない。

年代別でみると、「言葉の内容も意味も知っている」は60歳代以下では8割以上と多いが、70歳以上では62.1%にとどまっている。《知っている》、「知らない」でみた場合、年代による差はみられない。



【性別、年代別】

(単位: %)

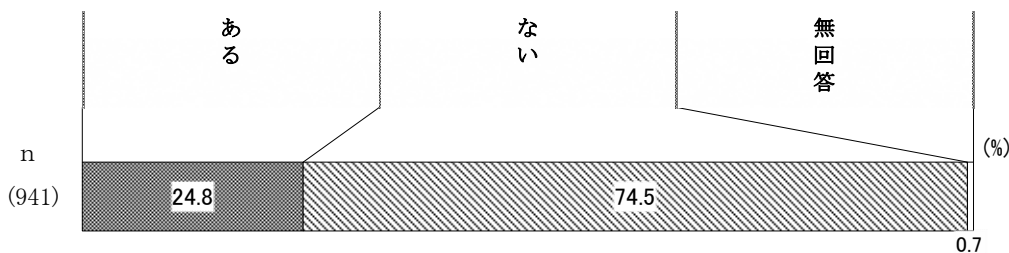
	n	言葉の内容も意味も知っている	言葉は知っている	知らない	無回答	
全体	941	93.5	5.0	0.6	0.9	
性別	男性	359	90.3	7.0	1.1	1.7
	女性	576	95.8	3.5	0.3	0.3
年代別	19歳以下	44	93.2	4.5	2.3	-
	20歳代	167	97.0	2.4	0.6	-
	30歳代	263	98.5	1.1	-	0.4
	40歳代	277	96.4	2.5	0.7	0.4
	50歳代	83	88.0	8.4	-	3.6
	60歳代	46	89.1	8.7	-	2.2
	70歳以上	58	62.1	31.0	3.4	3.4

※網掛けは最も多いもの

(2) DVを受けたり、見聞きした経験

問29 あなた自身、またはあなたの周りの人が、DVを受けたり、受けているのを見聞きしたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

DVを受けたり、見聞きした経験が「ある」は24.8%、「ない」は74.5%である。
 性別でみると、「ある」は女性の方が30.0%と多く、男性の16.4%を13.6ポイント上回っている。
 年代別でみると、「ある」は50歳代で33.7%、20歳代から40歳代で2割台である。



【性別、年代別】

(単位: %)

		n	ある	ない	無回答
全体		941	24.8	74.5	0.7
性別	男性	359	16.4	82.5	1.1
	女性	576	30.0	69.4	0.5
年代別	19歳以下	44	11.4	86.4	2.3
	20歳代	167	21.6	78.4	-
	30歳代	263	29.3	70.3	0.4
	40歳代	277	25.6	74.0	0.4
	50歳代	83	33.7	62.7	3.6
	60歳代	46	17.4	80.4	2.2
	70歳以上	58	13.8	86.2	-

※網掛けは最も多いもの

(3) DVを防止するために必要なこと

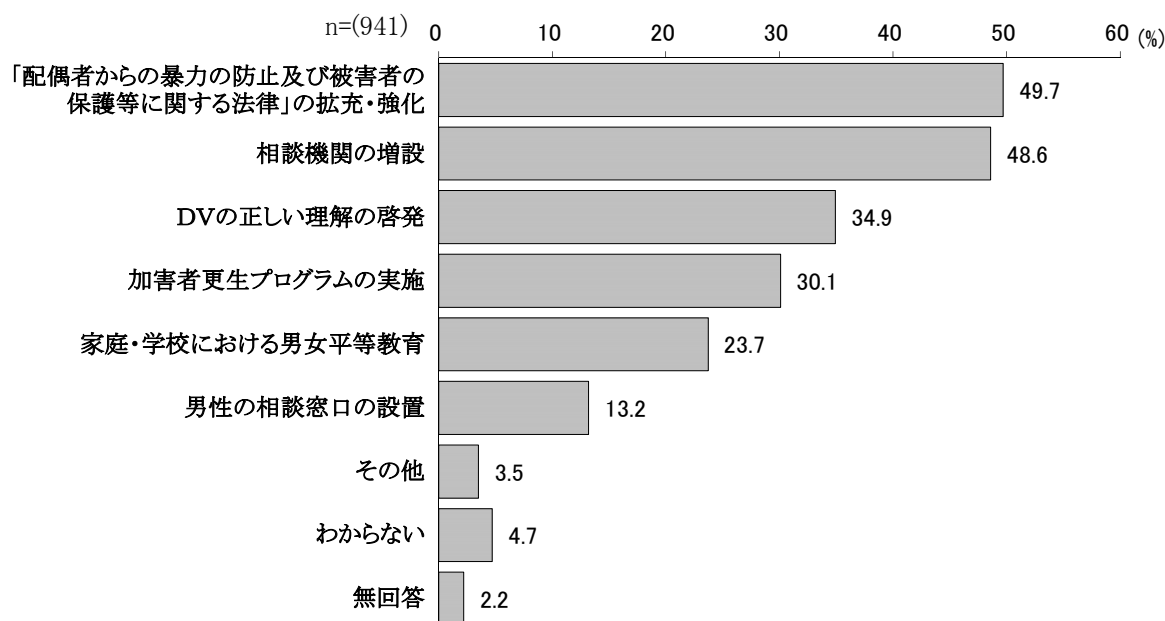
問30 あなたは、DVを防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

DVを防止するために必要なことは、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』の拡充・強化(49.7%)、「相談機関の増設」(48.6%)の2項目が4割台で多く、次いで「DVの正しい理解の啓発」(34.9%)、「加害者更生プログラムの実施」(30.1%)が3割台である。

性別でみると、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』の拡充・強化、「相談機関の増設」は男女とも4割以上であり、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』の拡充・強化は女性が53.8%と男性(43.2%)より10.6ポイント多い。

年代別でみると、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』の拡充・強化、「相談機関の増設」はほとんどの年代で4割以上であるが、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』の拡充・強化は70歳以上で22.4%と他の年代より少ない。また、「DVの正しい理解の啓発」は50歳代で43.4%、「家庭・学校における男女平等教育」は20歳代で31.1%と他の年代より多い。

DVを受けたり、見聞きした経験別でみると、『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』の拡充・強化は“(経験が)ある”で57.9%と、“ない”(47.4%)より10.5ポイント多く、「相談機関の増設」は“(経験が)ない”で50.5%と、“ある”(42.9%)より7.6ポイント多い。



【性別、年代別】

(単位: %)

	n	「及び被害者の拡充・強化」の拡充・強化	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の拡充・強化	相談機関の増設	DVの正しい理解の啓発	加害者更生プログラムの実施	家庭教育・学校における男女平等教育	男性の相談窓口の設置	その他	わからない	無回答
全体	941	49.7	48.6	34.9	30.1	23.7	13.2	3.5	4.7	2.2	
性別	男性	359	43.2	45.1	32.9	25.1	23.1	12.0	4.5	6.4	2.8
	女性	576	53.8	50.5	36.3	33.0	24.3	14.1	3.0	3.5	1.7
年代別	19歳以下	44	43.2	52.3	31.8	29.5	25.0	18.2	4.5	6.8	-
	20歳代	167	51.5	44.9	37.1	28.7	31.1	18.6	3.6	5.4	-
	30歳代	263	55.9	50.6	34.2	37.6	25.5	18.6	4.6	3.8	1.1
	40歳代	277	51.3	50.9	33.2	32.1	19.9	10.5	4.0	4.3	1.1
	50歳代	83	42.2	43.4	43.4	22.9	13.3	4.8	2.4	7.2	8.4
	60歳代	46	52.2	47.8	34.8	17.4	26.1	2.2	-	4.3	-
	70歳以上	58	22.4	46.6	31.0	12.1	25.9	3.4	-	3.4	12.1

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

【DVを受けたり、見聞きした経験別】

(単位: %)

	n	「及び被害者の拡充・強化」の拡充・強化	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の拡充・強化	相談機関の増設	DVの正しい理解の啓発	加害者更生プログラムの実施	家庭教育・学校における男女平等教育	男性の相談窓口の設置	その他	わからない	無回答
全体	941	49.7	48.6	34.9	30.1	23.7	13.2	3.5	4.7	2.2	
DVを受けたり、見聞きした経験別	ある	233	57.9	42.9	41.2	30.9	25.8	14.6	6.4	4.3	0.9
	ない	701	47.4	50.5	33.0	30.1	23.3	12.8	2.6	4.7	2.3

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

6-3. 男女共同参画について<LGBTについて>

(1) LGBTの認知度

問31 あなたは、LGBTという言葉を知っていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

LGBTとは

- Lesbian (レズビアン) : 女性同性愛者
- Gay (ゲイ) : 男性同性愛者
- Bisexual (バイセクシャル) : 両性愛者
- Transgender (トランスジェンダー) : 心と体の性の不一致

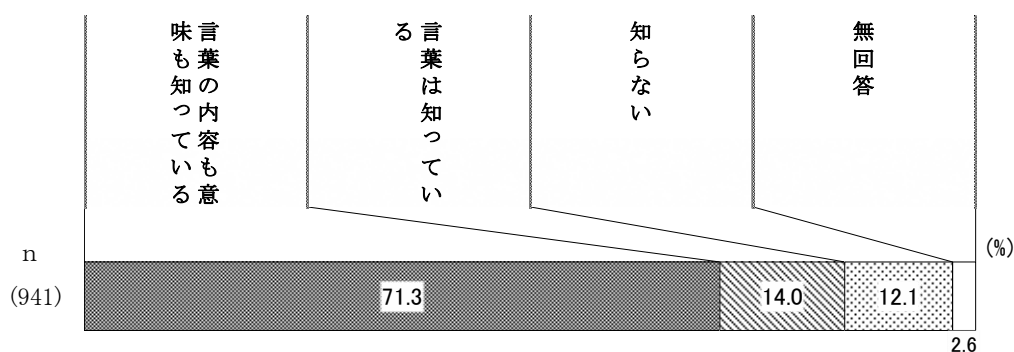
の頭文字をとった単語であり、性的少数者の総称のひとつです。

LGBTという言葉の認知度は、「言葉の内容も意味も知っている」が71.3%と多く、これに「言葉は知っている」(14.0%)をあわせた《知っている》は85.3%である。

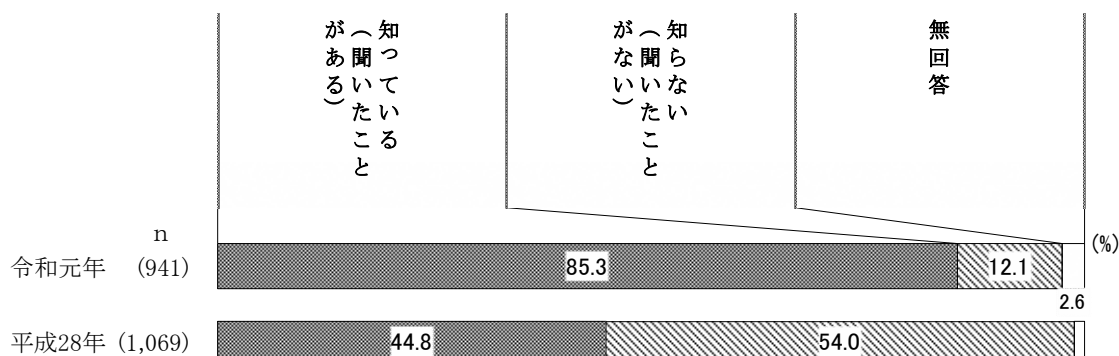
過去の調査と比較すると、前回調査から「知っている(聞いたことがある)」は2倍近く増加している。

性別で見ると、特に大きな差はみられない。

年代別で見ると、「言葉の内容も意味も知っている」は40歳代以下で7割以上と多いが、70歳以上では29.3%と少ない。《知っている》でみた場合は、いずれの年代も7割以上である。



【経年比較】



※前回調査の選択肢は、「(聞いたことが) ある」、「(聞いたことが) ない」の2択で、今回調査とは選択肢が異なるため、「言葉の内容も意味も知っている」と「言葉は知っている」をあわせた《知っている》を「(聞いたことが) ある」と比較し、「知らない」と「(聞いたことが) ない」を比較した。

【性別、年代別】

(単位: %)

	n	言葉の内容も意味も知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体	941	71.3	14.0	12.1	2.6
性別	男性	69.1	14.8	12.8	3.3
	女性	72.9	13.5	11.6	1.9
年代別	19歳以下	72.7	6.8	15.9	4.5
	20歳代	79.6	11.4	7.2	1.8
	30歳代	80.2	8.4	9.9	1.5
	40歳代	71.8	12.6	15.2	0.4
	50歳代	66.3	12.0	14.5	7.2
	60歳代	50.0	34.8	13.0	2.2
	70歳以上	29.3	44.8	15.5	10.3

※網掛けは最も多いもの

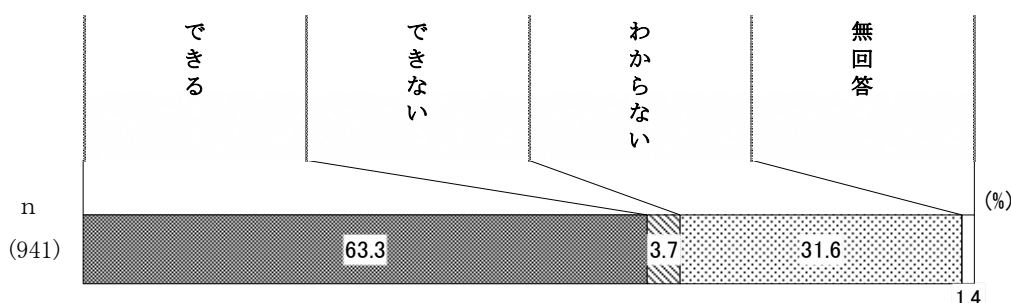
(2) 学校や職場内の人がLGBT等と知った後の接し方

問32 あなたは、学校や職場内の人が、LGBT等の性的少数者だった場合、これまでと変わりなく接することができますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

学校や職場内の人が、LGBT等であった場合でも、変わりなく接することが「できる」は63.3%、「できない」は3.7%とわずかであるが、「わからない」も31.6%と比較的多い。

性別でみると、「できる」は女性が70.5%と男性より18.4ポイント多い。男性は「わからない」が39.3%と女性より12.6ポイント多い。

年代別でみると、「できる」は50歳代までは半数以上であるが、60歳代以上からは2割から3割台と少ない。一方、「できない」は70歳以上で12.1%と唯一1割超えである。また、「わからない」は60歳代以上で5割台である。



【性別、年代別】

(単位: %)

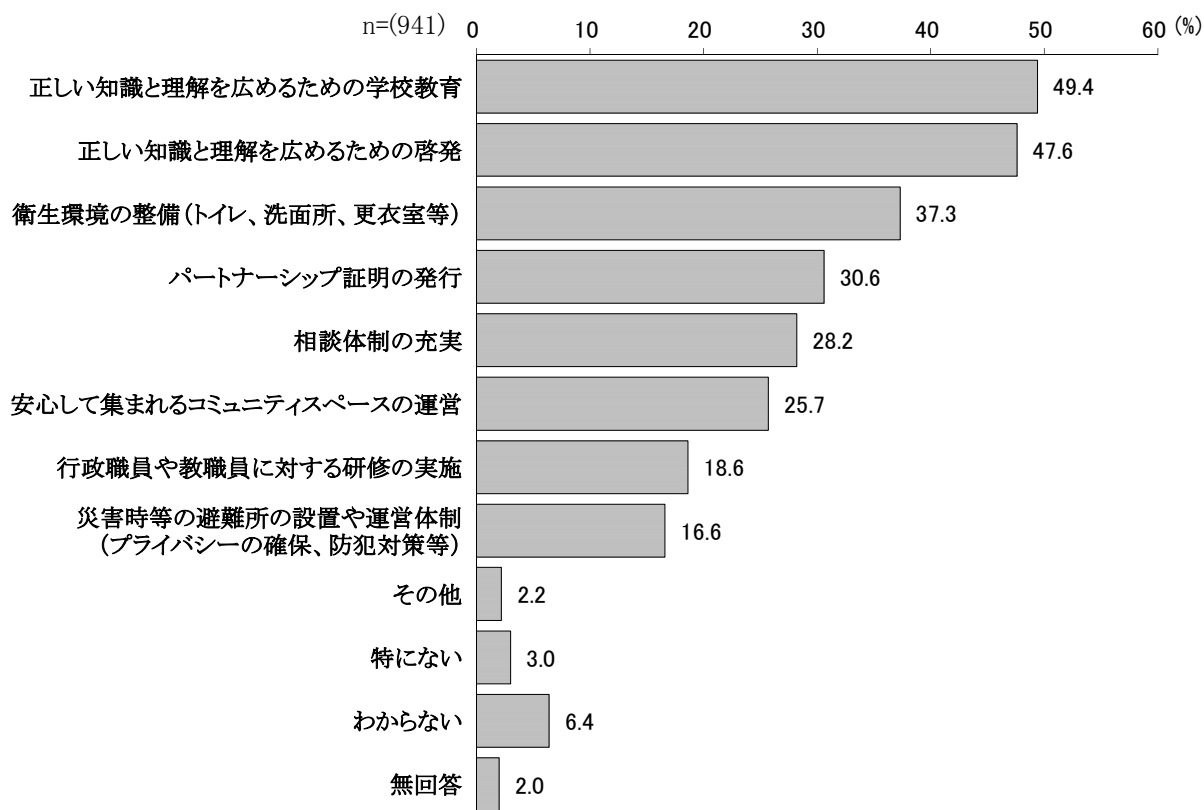
		n	できる	できない	わからない	無回答
全体		941	63.3	3.7	31.6	1.4
性別	男性	359	52.1	7.0	39.3	1.7
	女性	576	70.5	1.7	26.7	1.0
年代別	19歳以下	44	68.2	-	31.8	-
	20歳代	167	77.2	1.8	21.0	-
	30歳代	263	67.7	3.0	28.9	0.4
	40歳代	277	65.7	3.6	30.3	0.4
	50歳代	83	56.6	6.0	32.5	4.8
	60歳代	46	37.0	4.3	58.7	-
	70歳以上	58	22.4	12.1	55.2	10.3

※網掛けは最も多いもの

(3) LGBT等のために必要な支援

問33 あなたは、LGBT等の性的少数者の方のために、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

LGBT等の性的少数者の方のために必要な支援は、「正しい知識と理解を広めるための学校教育」(49.4%)、「正しい知識と理解を広めるための啓発」(47.6%)と、環境的な整備よりも周知を高める項目が4割台で上位にあげられている。これに「衛生環境の整備(トイレ、洗面所、更衣室等)」(37.3%)、「パートナーシップ証明の発行」(30.6%)が3割台で次いでいる。



6-4. 男女共同参画について<WLBについて>

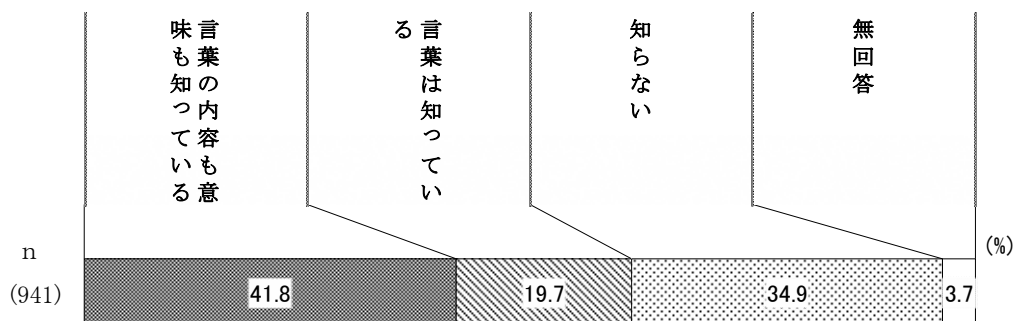
(1) WLB (ワーク・ライフ・バランス) の認知度

問34 あなたは、WLB (ワーク・ライフ・バランス) という言葉を聞いたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

WLB (ワーク・ライフ・バランス) という言葉の認知度は、「言葉の内容も意味も知っている」が41.8%で、これに「言葉は知っている」(19.7%)をあわせた《知っている》は61.5%である。

性別でみると、《知っている》は男性で多い。

年代別でみると、「言葉の内容も意味も知っている」は30歳代以下で4割以上である。《知っている》でみた場合は、50歳代以下で半数以上である。一方、「知らない」は40歳代以上で多い。



【性別、年代別】

(単位: %)

		n	言葉の内容も意味も知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		941	41.8	19.7	34.9	3.7
性別	男性	359	46.0	19.2	30.9	3.9
	女性	576	39.1	20.1	37.3	3.5
年代別	19歳以下	44	43.2	22.7	34.1	-
	20歳代	167	61.1	17.4	21.6	-
	30歳代	263	51.3	17.9	30.0	0.8
	40歳代	277	32.9	22.0	42.6	2.5
	50歳代	83	32.5	18.1	39.8	9.6
	60歳代	46	28.3	17.4	47.8	6.5
	70歳以上	58	8.6	25.9	41.4	24.1

※網掛けは最も多いもの

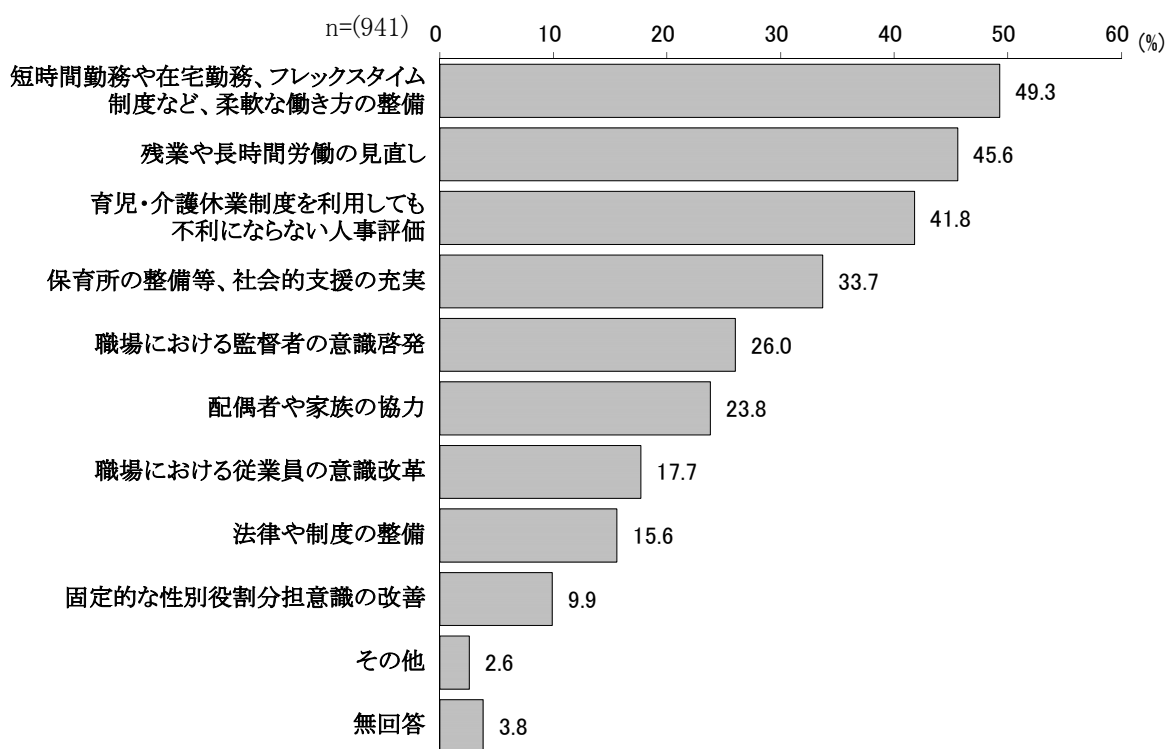
(2) WLBを推進するために必要なこと

問35 男女ともに仕事を続けていけるよう、市では、仕事と個人の生活が両立できる仕組みづくり(WLB)を推進しています。WLBを推進するにあたって、あなたは何が必要だと思いますか。次の中から優先順位の高いもの、3つまでに○印をおつけください。

WLBを推進するために必要なことは、「短時間勤務や在宅勤務、フレックスタイム制度など、柔軟な働き方の整備」が49.3%で最も多く、次いで「残業や長時間労働の見直し」が45.6%、「育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価」が41.8%、「保育所の整備等、社会的支援の充実」が33.7%である。

性別でみると、「短時間勤務や在宅勤務、フレックスタイム制度など、柔軟な働き方の整備」は女性でより多く、「残業や長時間労働の見直し」は男性でより多く、それぞれ1位にあげられている。

年代別でみると、年代によって1位にあげられる項目が異なり、「残業や長時間労働の見直し」は20歳代以下で、「短時間勤務や在宅勤務、フレックスタイム制度など、柔軟な働き方の整備」は30歳代から50歳代で、「育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価」は60歳代以上でそれぞれ最も多い。



【性別、年代別】

(単位:%)

		n	短時間勤務や在宅勤務、フレックスタ イム制度など、柔軟な働き方の整備	残業や長時間労働の見直し	育児・介護休業制度を利用して不利 にならない人事評価	保育所の整備等、社会的支援の充実	職場における監督者の意識啓発	配偶者や家族の協力	職場における従業員の意識改革	法律や制度の整備	固定的な性別役割分担意識の改善	その他	無回答
全体		941	49.3	45.6	41.8	33.7	26.0	23.8	17.7	15.6	9.9	2.6	3.8
性別	男性	359	46.0	47.9	39.8	28.1	27.6	17.8	20.1	20.3	7.8	3.3	5.6
	女性	576	51.6	43.9	43.2	37.5	24.8	27.6	16.5	12.7	10.9	2.1	2.6
年代別	19歳以下	44	34.1	56.8	38.6	40.9	15.9	22.7	15.9	20.5	6.8	2.3	4.5
	20歳代	167	53.9	62.3	49.1	32.3	26.9	19.8	12.0	16.8	7.8	0.6	0.6
	30歳代	263	58.6	48.7	40.3	42.6	24.7	22.1	18.6	17.9	7.2	3.4	0.8
	40歳代	277	49.8	38.3	42.6	31.0	28.9	27.4	19.9	13.4	13.7	4.0	1.1
	50歳代	83	43.4	42.2	33.7	21.7	30.1	20.5	24.1	16.9	10.8	2.4	7.2
	60歳代	46	37.0	32.6	41.3	39.1	23.9	21.7	17.4	13.0	15.2	-	6.5
	70歳以上	58	22.4	27.6	39.7	17.2	19.0	32.8	12.1	10.3	6.9	-	31.0

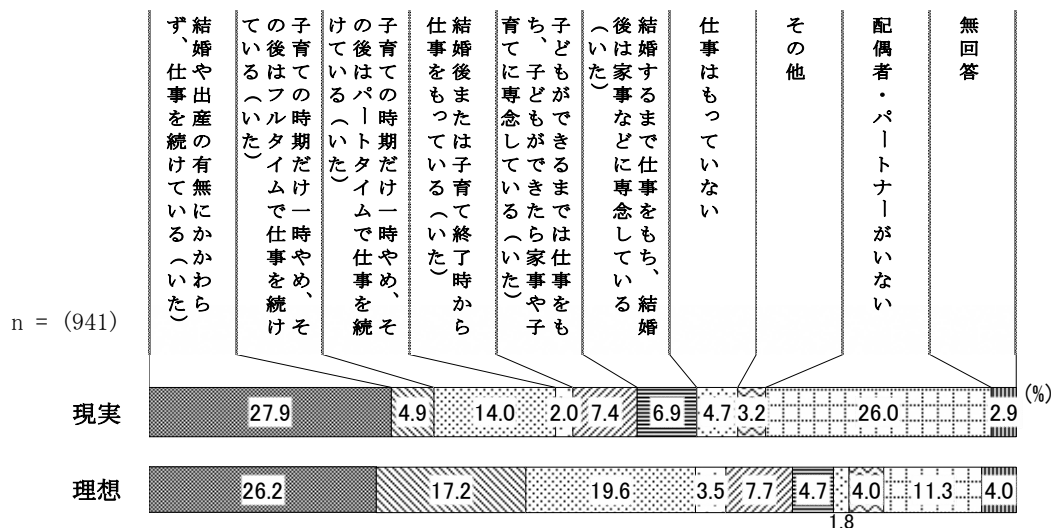
※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

(3) 働き方の現実と理想

問36 あなたの働き方は、「現実」にはどうですか（どうでしたか）。また、「理想」はどうあるべきだと思いますか。男性は、配偶者・パートナーについてお答えください。
 ※結婚には事実婚を含みます。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

働き方の現実と理想について聞いた。現実には、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」が27.9%で最も多く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」が14.0%である。理想と比較すると、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」は26.2%で現実と同様に最も多い。「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている（いた）」は17.2%で現実より12.3ポイント多く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」も現実より5.6ポイント多い。

◎現実と理想（それぞれ1つに○）



現実

性別でみると、男女とも「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」が最も多く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」は女性が16.3%で男性（10.3%）より6ポイント多い。

年代別でみると、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」は19歳以下と60歳代以外の年代で最も多い。60歳代では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」が最も多い。また、「結婚後または子育て終了時から仕事をもっている（いた）」は60歳代で、「子どもができるまでは仕事もち、子どもができたら家事や子育てに専念している（いた）」は30歳代で、「結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念している（いた）」は50歳代と70歳以上で1割台と他の年代より多い。

固定的な性別役割分担（「男は仕事、女は家庭」）の考え方別でみると、いずれの考え方でも「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）」が最も多く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）」は「同感する」で21.8%と他の考え方より多い。

【性別、年代別、固定的な性別役割分担の考え方別（現実）】

（単位：％）

		現 実											
		n	結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）	子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている（いた）	子育ての時期だけ仕事を続け、その後パートタイムで仕事を続けている（いた）	結婚後または子育て終了時から仕事を続けている（いた）	子どもができるまでは家事や子育てに専念している（いた）	子どもができるまでは仕事もち、子どもができたら家事や子育てに専念している（いた）	結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念している（いた）	仕事はもっていない	その他	配偶者・パートナーがいない	無回答
全体		941	27.9	4.9	14.0	2.0	7.4	6.9	4.7	3.2	26.0	2.9	
性別	男性	359	27.3	4.2	10.3	1.9	5.0	4.7	7.0	1.9	34.0	3.6	
	女性	576	28.5	5.4	16.3	2.1	9.0	8.2	3.3	4.0	20.8	2.4	
年代別	19歳以下	44	4.5	-	-	-	-	-	25.0	6.8	59.1	4.5	
	20歳代	167	19.8	1.2	3.0	0.6	6.6	3.0	4.8	5.4	55.1	0.6	
	30歳代	263	35.7	5.7	12.9	1.1	12.9	7.2	2.7	3.0	16.3	2.3	
	40歳代	277	31.4	5.4	21.7	1.1	6.5	7.6	3.6	1.8	19.9	1.1	
	50歳代	83	25.3	8.4	13.3	3.6	4.8	12.0	2.4	2.4	22.9	4.8	
	60歳代	46	23.9	6.5	28.3	13.0	4.3	6.5	-	4.3	10.9	2.2	
	70歳以上	58	24.1	6.9	13.8	5.2	1.7	10.3	10.3	1.7	8.6	17.2	
の別固 考役 え割 方定 分な 性別担性	同感する	87	25.3	2.3	21.8	1.1	5.7	8.0	9.2	2.3	20.7	3.4	
	同感しない	701	29.7	5.4	13.7	2.6	7.1	6.3	3.3	3.3	26.7	2.0	
	わからない	133	21.1	4.5	9.8	-	11.3	9.8	8.3	3.8	27.8	3.8	

※網掛けは最も多いもの（その他、配偶者・パートナーがいないを除く）

第2章 調査結果

理想

性別でみると、男女とも「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける」が最も多く、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」は男性で、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」は女性で多い。

年代別でみると、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける」は50歳代以外の年代で最も多く、20歳代では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が同率で1位である。50歳代では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が最も多い。

固定的な性別役割分担（「男は仕事、女は家庭」）の考え方別でみると、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける」は“同感しない”と“わからない”が、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」は“同感する”が2割台で最も多い。また、家事や子育てに専念（子どもができる／結婚後）は、“同感する”で1割台と他の考え方より多い。

【性別、年代別、固定的な性別役割分担の考え方別（理想）】

(単位:%)

		理想										
		n	結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	結婚後または子育て終了時から仕事をもち、子どもができたならば家事や子育てに専念する	子どもができたならば家事や子育てに専念する	結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する	仕事はもたない	その他	わからない	無回答
全体		941	26.2	17.2	19.6	3.5	7.7	4.7	1.8	4.0	11.3	4.0
性別	男性	359	25.9	20.1	13.1	3.9	5.0	3.3	2.2	5.3	16.7	4.5
	女性	576	26.2	15.5	23.8	3.3	9.4	5.4	1.6	3.3	7.8	3.8
年代別	19歳以下	44	22.7	4.5	20.5	4.5	2.3	4.5	-	9.1	29.5	2.3
	20歳代	167	25.1	16.2	25.1	2.4	8.4	3.0	1.2	3.6	13.8	1.2
	30歳代	263	30.8	18.3	22.1	0.8	8.7	2.3	2.3	4.2	8.7	1.9
	40歳代	277	26.0	19.1	17.7	3.6	7.2	6.5	1.8	5.4	10.5	2.2
	50歳代	83	19.3	22.9	13.3	7.2	6.0	8.4	3.6	-	12.0	7.2
	60歳代	46	26.1	13.0	17.4	8.7	17.4	2.2	-	4.3	8.7	2.2
	70歳以上	58	20.7	12.1	12.1	6.9	1.7	8.6	1.7	-	6.9	29.3
固定的な性別役割分担の考え方別	同感する	87	13.8	14.9	24.1	2.3	10.3	11.5	4.6	2.3	9.2	6.9
	同感しない	701	29.1	19.1	19.4	4.0	7.3	3.7	1.3	4.3	9.8	2.0
	わからない	133	20.3	10.5	18.8	1.5	7.5	6.0	3.0	3.8	20.3	8.3

※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

理想

働き方の『現実』別でみると、「結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける」、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」は現実の働き方と同等の人が多い。また、“結婚後または子育て終了時から仕事をもっている（いた）”、“子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念している（いた）”、“結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念している（いた）”を『現実』の働き方としている人では、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」を『理想』としている人が多い。

【働き方の「現実」別】

(単位:%)

		理想										
		n	結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	結婚後または子育て終了時から仕事をもち、子どもができるまでは仕事をもち、子育てに専念する	子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念する	結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念する	仕事はもたない	その他	わからない	無回答
全体		941	26.2	17.2	19.6	3.5	7.7	4.7	1.8	4.0	11.3	4.0
働き方の「現実」別	結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている(いた)	263	41.8	18.3	13.3	2.7	8.7	4.9	1.1	4.2	4.2	0.8
	子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(いた)	46	13.0	34.8	19.6	2.2	8.7	8.7	2.2	2.2	6.5	2.2
	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(いた)	132	19.7	23.5	27.3	3.8	12.9	4.5	1.5	1.5	4.5	0.8
	結婚後または子育て終了時から仕事をもっている(いた)	19	21.1	15.8	26.3	21.1	10.5	-	5.3	-	-	-
	子どもができるまでは仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念している(いた)	70	17.1	17.1	38.6	4.3	12.9	-	1.4	4.3	4.3	-
	結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事などに専念している(いた)	65	10.8	16.9	27.7	6.2	6.2	10.8	1.5	3.1	12.3	4.6
	仕事はもっていない	44	18.2	9.1	18.2	2.3	6.8	6.8	11.4	4.5	13.6	9.1
	その他	30	23.3	6.7	23.3	-	6.7	3.3	3.3	20.0	10.0	3.3
	配偶者・パートナーがいない	245	26.5	13.9	15.1	3.3	2.9	3.3	0.8	4.5	26.9	2.9

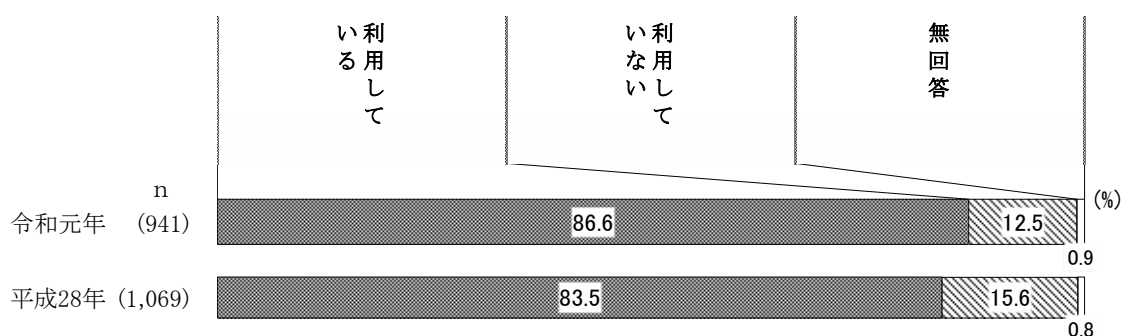
※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

7. インターネット利用状況について

(1) インターネットの利用状況

問37 現在、あなたはインターネットを利用していますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

インターネットの利用状況は、「利用している」が86.6%、「利用していない」が12.5%である。過去の調査との比較では、大きな違いはみられないが、「利用している」がやや増加している。年代別で見ると、若い世代ほど利用者が多く、40歳代以下では9割台であり、以降、年代が高くなるほど少なくなり、70歳以上での利用者は1割台である。



【年代別】

(単位: %)

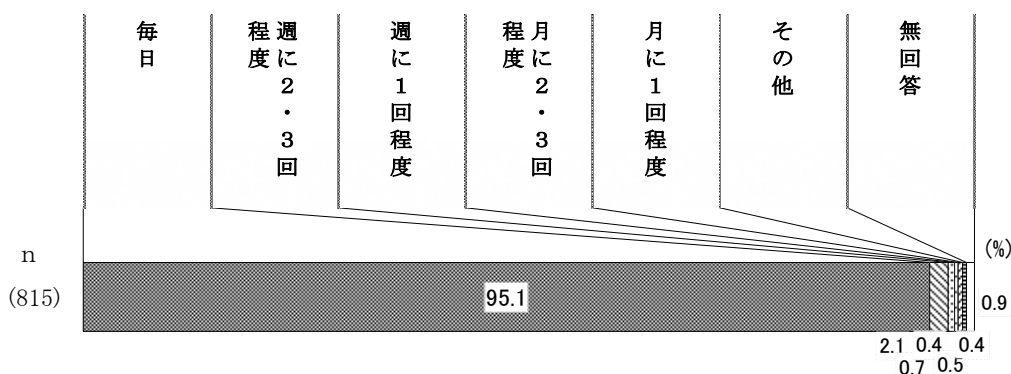
		n	利用している	利用していない	無回答
全体		941	86.6	12.5	0.9
年代別	19歳以下	44	93.2	6.8	-
	20歳代	167	97.0	3.0	-
	30歳代	263	97.3	2.3	0.4
	40歳代	277	93.9	5.8	0.4
	50歳代	83	78.3	18.1	3.6
	60歳代	46	47.8	52.2	-
	70歳以上	58	13.8	81.0	5.2

※網掛けは最も多いもの

(2) インターネットの利用頻度

※問37-1から問37-3は、問37で“利用している”を選択された方に
 問37-1 あなたのインターネットの利用頻度について、おたずねします。あてはまる番号1
 つに○印をおつけください。

インターネットを利用している人の利用頻度は、「毎日」が95.1%である。
 年代別でみると、若い世代ほど利用頻度が多く、40歳代以下では9割台である。



【年代別】

(単位: %)

	n	毎日	週に2・3回	週に1回程度	月に2・3回	月に1回程度	その他	無回答	
全体	815	95.1	2.1	0.7	0.4	0.5	0.4	0.9	
年代別	19歳以下	41	97.6	2.4	-	-	-	-	
	20歳代	162	98.8	1.2	-	-	-	-	
	30歳代	256	97.3	1.6	0.4	0.4	-	0.4	
	40歳代	260	93.8	2.3	1.2	-	0.8	0.4	1.5
	50歳代	65	89.2	3.1	-	3.1	3.1	-	1.5
	60歳代	22	77.3	9.1	4.5	-	-	4.5	4.5
	70歳以上	8	75.0	-	12.5	-	-	-	12.5

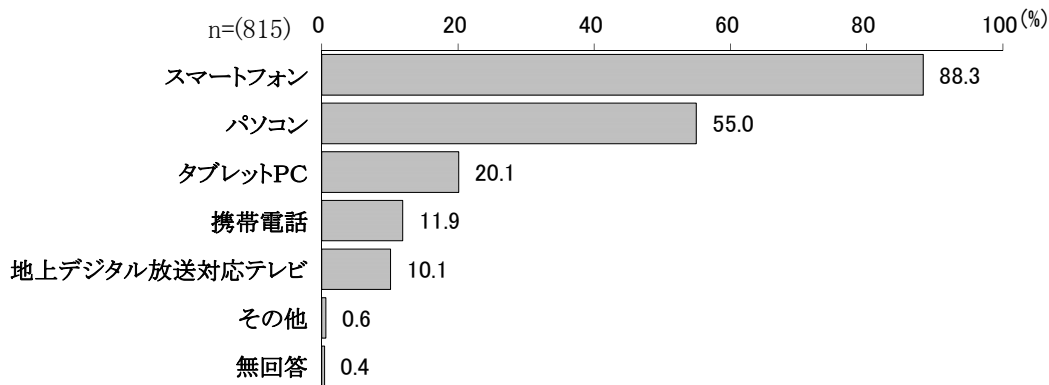
※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

(3) インターネットを利用する機器

問37-2 あなたがインターネットを利用する場合の機器について、お伺いします。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

インターネットを利用する場合の機器は、「スマートフォン」が88.3%と特に多く、次いで「パソコン」が55.0%、「タブレットPC」が20.1%である。

年代別でみると、「スマートフォン」は50歳代までで8割以上である。



【年代別】

(単位: %)

	n	スマー	パソ	タブ	携	対地	そ	無	
		ート	コン	レ	帯	上デ	の	回	
		フォン		ット	電	デジタル	他	答	
				PC	話	放送			
全体	815	88.3	55.0	20.1	11.9	10.1	0.6	0.4	
年代別	19歳以下	41	95.1	65.9	17.1	9.8	12.2	-	-
	20歳代	162	91.4	54.9	17.9	11.7	13.0	1.2	-
	30歳代	256	91.4	52.3	21.1	11.7	9.0	0.8	-
	40歳代	260	87.7	53.8	21.5	12.3	10.4	0.4	0.8
	50歳代	65	84.6	56.9	18.5	9.2	7.7	-	-
	60歳代	22	54.5	77.3	18.2	22.7	-	-	4.5
	70歳以上	8	37.5	50.0	25.0	12.5	-	-	-

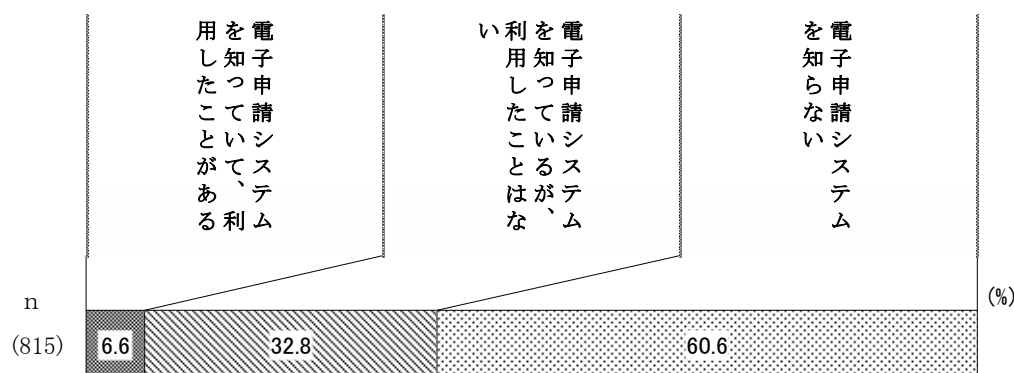
※網掛けは最も多いもの(その他を除く)

(4) 市の電子申請システムの認知度

問37-3 現在、八潮市ではインターネットを利用した電子申請システムで、各種届け出や、講座等の申し込みができますが、知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

市の電子申請システムの認知度は、「電子申請システムを知っていて、利用したことがある」は6.6%とわずかであるが、これに「電子申請システムを知っているが、利用したことはない」(32.8%)をあわせた《知っている》は39.4%である。

年代別でみると、「電子申請システムを知らない」の割合はインターネットの利用や頻度の多い若年層で高い傾向にあり、60歳代を除く年代で最も多い。



【年代別】

(単位: %)

年代別	n	こ知電	た知電	ら電	
		こ知電 とつ子 があて いる る てシ 、ス テム 利用 しを た	た知電 こつ子 とはい はない が、 テム 利用 をし	ら電 子申 請シ ステム を知 ない	
全体	815	6.6	32.8	60.6	
年代別	19歳以下	-	12.2	87.8	
	20歳代	6.8	16.7	76.5	
	30歳代	8.2	31.6	60.2	
	40歳代	5.4	41.5	53.1	
	50歳代	4.6	47.7	47.7	
	60歳代	22	18.2	50.0	31.8
	70歳以上	8	12.5	37.5	50.0

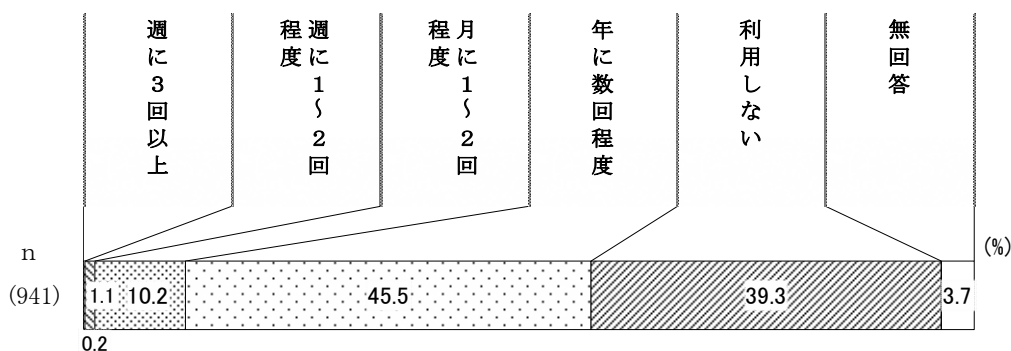
※網掛けは最も多いもの

(5) 市ホームページの閲覧頻度

問37-4 あなたは、八潮市のホームページをどれくらいの頻度でご覧になりますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

八潮市のホームページの閲覧頻度は、「年に数回程度」が45.5%、「月に1～2回程度」が10.2%である。一方、「利用しない」は39.3%である。

年代別でみると、「年に数回程度」は30歳代と40歳代の5割台を中心に20歳代と50歳代でも4割台であり、「月に1～2回程度」は30歳代と40歳代が1割台と他の年代より頻度が多い。一方、「利用しない」は19歳以下で7割台、60歳代以上で6割台と多い。



【年代別】

(単位: %)

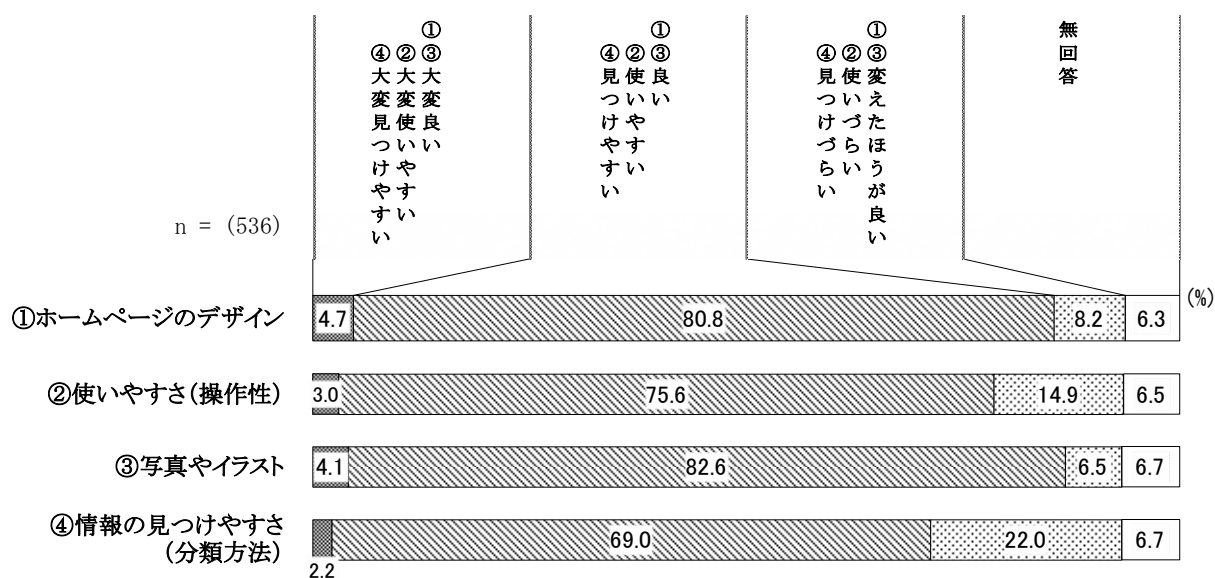
		n	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	利用しない	無回答
全体		941	0.2	1.1	10.2	45.5	39.3	3.7
年代別	19歳以下	44	-	-	4.5	18.2	72.7	4.5
	20歳代	167	-	1.2	8.4	40.7	48.5	1.2
	30歳代	263	0.8	1.5	14.8	57.0	24.7	1.1
	40歳代	277	-	1.1	13.0	53.8	30.7	1.4
	50歳代	83	-	-	2.4	43.4	47.0	7.2
	60歳代	46	-	-	4.3	26.1	65.2	4.3
	70歳以上	58	-	1.7	1.7	6.9	63.8	25.9

※網掛けは最も多いもの

(6) 市ホームページに対する感想

※問37-4で“週に3回以上”、“週に1～2回程度”、“月に1～2回程度”、“年に数回程度”のいずれかを選択された方に
 問37-5 市ホームページについてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

市ホームページを利用する人の感想は、①ホームページのデザインは、《良い》（「大変良い」＋「良い」の計）が85.5%、②使いやすさ（操作性）は、《使いやすい》（「大変使いやすい」＋「使いやすい」の計）が78.6%、③写真やイラストは、《良い》（「大変良い」＋「良い」の計）が86.7%、④情報の見つけやすさ（分類方法）は、《見つけやすい》（「大変見つけやすい」＋「見つけやすい」の計）が71.2%である。



【年代別】

◆ ①ホームページのデザイン

(単位:%)

		n	大変良い	良い	変えたほうが良い	無回答
全体		536	4.7	80.8	8.2	6.3
年代別	19歳以下	10	-	90.0	-	10.0
	20歳代	84	7.1	84.5	3.6	4.8
	30歳代	195	5.1	80.5	9.2	5.1
	40歳代	188	4.3	78.2	10.6	6.9
	50歳代	38	2.6	84.2	7.9	5.3
	60歳代	14	-	85.7	-	14.3
	70歳以上	6	-	66.7	-	33.3

※網掛けは最も多いもの

◆ ②使いやすさ (操作性)

(単位:%)

		n	大変使いやすい	使いやすい	使いづらい	無回答
全体		536	3.0	75.6	14.9	6.5
年代別	19歳以下	10	-	90.0	-	10.0
	20歳代	84	4.8	81.0	9.5	4.8
	30歳代	195	3.1	72.8	18.5	5.6
	40歳代	188	2.7	75.5	14.4	7.4
	50歳代	38	2.6	73.7	21.1	2.6
	60歳代	14	-	85.7	-	14.3
	70歳以上	6	-	50.0	16.7	33.3

※網掛けは最も多いもの

◆ ③写真やイラスト

(単位:%)

		n	大変良い	良い	変えたほうが良い	無回答
全体		536	4.1	82.6	6.5	6.7
年代別	19歳以下	10	10.0	80.0	-	10.0
	20歳代	84	3.6	86.9	4.8	4.8
	30歳代	195	3.6	84.6	6.7	5.1
	40歳代	188	4.3	79.8	7.4	8.5
	50歳代	38	2.6	84.2	10.5	2.6
	60歳代	14	7.1	78.6	-	14.3
	70歳以上	6	16.7	50.0	-	33.3

※網掛けは最も多いもの

◆ ④情報の見つけやすさ (分類方法)

(単位:%)

		n	大変見つけやすい	見つけやすい	見つけづらい	無回答
全体		536	2.2	69.0	22.0	6.7
年代別	19歳以下	10	-	70.0	20.0	10.0
	20歳代	84	2.4	78.6	14.3	4.8
	30歳代	195	2.6	64.6	26.2	6.7
	40歳代	188	2.1	69.7	21.3	6.9
	50歳代	38	2.6	63.2	31.6	2.6
	60歳代	14	-	85.7	-	14.3
	70歳以上	6	-	50.0	16.7	33.3

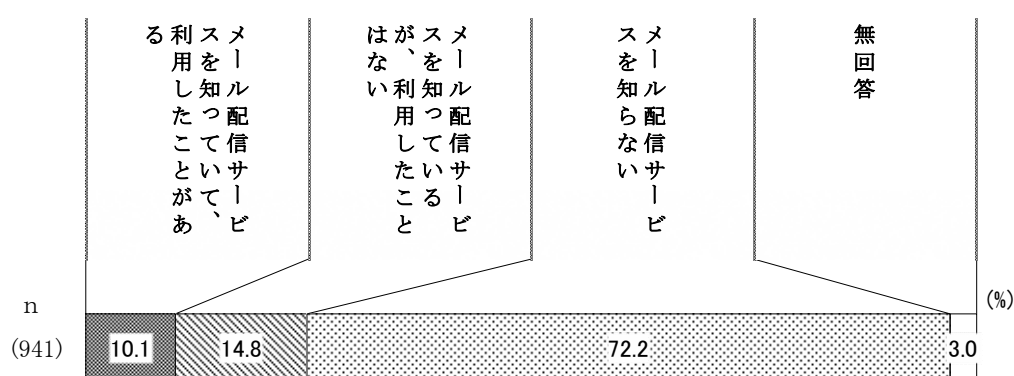
※網掛けは最も多いもの

(7) 市のメール配信サービスの認知度

問37-6 現在、八潮市では、やしお840メール配信サービスで、さまざまな情報を配信していますが、知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

やしお840メール配信サービス（市政情報や緊急情報をモバイル機器やPCに配信するサービス）の認知度は、「メール配信サービスを知っていて、利用したことがある」が10.1%、「メール配信サービスを知っているが、利用したことはない」が14.8%であり、これらをあわせた《知っている》は24.9%である。一方、「メール配信サービスを知らない」は72.2%である。

年代別でみると、「メール配信サービスを知らない」はいずれの年代でも半数以上であり、20歳代以下では9割に近く、《知っている》は40歳代と60歳代で3割台である。



【年代別】

(単位: %)

	n	しをメ	用をメ	をメ	無回答	
		た知し	し知し	知ら		
		ことつ	ことつ	ない		
		がいて	といは	配		
		るサ	るサ	信サ		
		る、	なが	信サ		
		利	い、	ビ		
		用	ス	ス		
全体	941	10.1	14.8	72.2	3.0	
年代別	19歳以下	44	2.3	6.8	88.6	2.3
	20歳代	167	3.6	7.2	88.6	0.6
	30歳代	263	14.1	13.3	72.2	0.4
	40歳代	277	15.2	17.7	63.5	3.6
	50歳代	83	7.2	16.9	72.3	3.6
	60歳代	46	4.3	26.1	65.2	4.3
	70歳以上	58	1.7	24.1	56.9	17.2

※網掛けは最も多いもの

8. 自由回答

(1) 市政等への意見や要望

問38 市政等にご意見、ご要望がございましたら自由にご記入ください。

意見（一部抜粋）

(1) 教育文化・コミュニティ

◆学校教育の充実

- ・市内の小学校から私立への進学の際のサポートなども今後向上していただけたらと思う。
- ・他市に比べ、学力の差を痛感している。
- ・小学校が遠い。通学路を少し考えてほしい。
- ・他の市は、夏休みが少なくなっている。八潮もエアコンが入ったので、学校を増やしてほしい。

◆地域コミュニティ活動の推進

- ・地域の人々のつながりを持てるような街にしてほしい。昔から住んでいる人と最近引っ越してきた人とが自然と交流できるような環境を作ってほしい。
- ・現在八潮市は外国人が多いので、外国人に対するサービスやコミュニティが増えれば良いと思う。また、外国人市民と日本人市民が交流できる場をもっとつくってほしい。

◆市民文化活動の推進

- ・八潮市のお祭りの時に埼玉県出身のミュージシャンを呼んで音楽フェスみたいにしてほしい。
- ・イベントを増やし、若い方の活気ある市にしてほしい。

◆男女共同参画社会の推進

- ・男女平等、共同参画等を正しく理解し、実行するのであれば、管理者（リーダー）登用数や女性議員の数など、すべてにおいて数が少ないから男性ではなく女性を登用するという選択は間違っていると思う。男女問わず、能力で適材適所に判断をするべき。
- ・アンケートを行う事、市民の声を聞こうとする事はとても素晴らしいと思うが、男女共同参画や性についての項目は、今の時代すでに内容にかたよりやズレがある様に感じて、不安に思った。男女とかではなく、ひとり一人、個人の力や思いを大切に出来るというのが一番だと思う。

(2) 健康福祉・子育て

◆健康・保健サービスの充実

- ・子供のインフルエンザ予防接種の助成をしてほしい。
- ・乳がん検診の申込が平日の昼間だけなので、仕事をしていると申し込みができない。Tel しても混んでいてかからず、かかってもすでにいっぱいになっていて申し込めない。

◆医療体制・制度の充実

- ・総合病院（救急対応）の新設をお願いしたい。歯科以外がなさすぎる。

- ・医療機関が少ないと感じる。子どもが行く耳鼻科や皮膚科が少なく、産婦人科もない為、病院を探すことが大変だった。
- ・24時間受付の病院がない。子どもの急な病気に対応できない。

◆スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ・市営のスポーツ施設（プール、卓球など）を大瀬、戸ヶ崎近くに作ってほしい。
- ・公園内に筋力アップの為のアスレチックを設置してほしい（大人も利用出来るもの）。公園内か川沿いに安心して走れるジョギングコースを設置してほしい。
- ・子供が参加出来るスポーツ教室等を充実させてほしい。

◆高齢者福祉・介護サービスの充実

- ・老人ひとり暮らしの方々に配慮してほしい。その方の身になり、安心して生活できる環境にするために色々な方に意見をきいてほしい。
- ・免許を返納した高齢者向けの公共交通機関を利用できる定期券などをリーズナブルな値段で販売するなどしてほしい。例えば、東京都のようなシルバーパスがあると免許を持たなくなった高齢の人は買い物などで気軽に出かける事ができると思う。

◆障がい者（児）福祉の推進

- ・特別支援学校卒業後の余暇活動を行える場がほしい。社会問題としてひきこもり対策もしてもらいたい。
- ・障がい者向けの高校が、三郷市、草加市にしかないので八潮市にもあれば幸いである。
- ・発達障がいに関する理解や啓発が、東京23区や川口市、越谷市などの他の自治体と比べると、少し遅れているように思える。発達障がいに関する理解や、市民への啓発や教育などを、より一層深めていただけるとありがたい。

◆子育て環境の充実

- ・教育、育児支援に力を入れていただいているので、このまま継続いただけると、若者世帯も増え続けるかと思う。保育園の更なる開園、運営補助を。
- ・ある県や地区では、子育て世帯へ家事サービスなどの無料チケットなどがあると知った。産後は特にあれば助かる。
- ・子どもが放課後に安心して遊べる場の提供（学童等に入っていない子どももみてる大人の配置など）。
- ・小学生など、学童に入れなかった子供が長期休みや放課後過ごせる環境を整えてほしい。

（3）防災・防犯・消防・救急

◆防災・減災体制の強化

- ・防災無線は家にいるとまったく聞こえない。そのためメール配信サービスに登録したが、防災無線の内容は流れてこないし、HPにも見あたらないように思う。SNSの存在は今回の設問で初めて知ったが、防災無線の内容は載っていない。迷い人など名前などは表示させづらいのかもしれないが、服装等だけでも流してくれると良い。

第2章 調査結果

- ・特に駅付近など、住民が増えている中、震災時の避難場所や諸々が足りるのか心配。

◆防犯体策の充実

- ・駅前に公園ができたり、駅周辺の施設が増え、マンションやアパートが増えているのはとても良い事だと思う。ただ、それによって人口も増えたと思うが、街灯が少なく、遅い時間だと駅周辺でも暗く感じる。できたら少しずつ明るくなっていけばより良いと思う。
- ・市内に警察署があればもっと治安もよくなると思う。
- ・市内にもう少し防犯カメラを増やしたら安全性がUPすると思う。

◆交通安全対策の推進

- ・市内に大型の車が頻繁に走っているにも関わらず、歩道が整備されていないと感じる。歩道を広くするのは困難だと思うが、狭い歩道に街路樹は必要ないと思うので伐採をしてほしい。
- ・自転車レーンの増設、逆走防止の啓発。
- ・横断歩道や、止まれ文字、一時停止線が、見えなくなっている所があるので、整備してほしい。
- ・警察署がないためか、車、バイク、自転車、歩行者の交通マナーが悪く、危ない。

(4) 産業経済・観光

◆商工業の振興

- ・駅周辺に飲食店を増やしてほしい。
- ・八潮市に大型ショッピングモールまたは映画館をつかってほしい。
- ・魅力的な商業施設の誘致してほしい。
- ・他の地域の人もあつまるように商業施設の強化。名物ストリートとかあったら面白い。

◆労働環境の整備

- ・子育てママさんのお仕事を支援する制度があるといいと思う。
- ・八潮市ふるさとハローワークで草加市の施設と同じく様々な手続きをできる様にしてほしい。
(失業保険等)

(5) 都市基盤・環境

◆土地利用・市街地形成の推進

- ・八潮駅が出来てからの八潮の発展には驚くばかりである。元々、土地も多く残っていたと思うが、主要都市などの良いところを参考に住みやすい街づくりをお願いしたい。
- ・10年前より家や店が多くなり活気付いているが、まだまだ住みやすい街にはなれていないと思う。計画をどんどん立てて、効率よく新しい住みよい街になってほしい。
- ・八条の調整区域を解除し、もっと発展した八潮市にしてほしい。

◆道路の整備

- ・道が狭いのと、草や木が道路にはみ出ている。

- ・作りかけの道路早く作ってほしい。柳之宮橋のところ混みすぎて車で右折できない。草加市に行くための橋を増やしてほしい。
- ・八潮駅（TX）から離れていくと道がせまい。
- ・道路が中途半端な状態が何年も続いていたので少しずつでもいいので進めてほしい。
- ・道路に植えた植栽、花など、メンテナンスできないなら最初からコンクリートの方が良い。
- ・TX八潮駅の線路沿いで一部通行止めになっており、通勤、登園などで不便に感じている。

◆公共交通機関

- ・交通の便が悪い。バスの最終時間が早かったり市内の移動がすごく不便。
- ・バスの本数を増やす、または時間調整してほしい。本数自体少ない時間帯があったり、それなりに本数があっても、八潮駅北口・南口行のバスの時間がくっついていたり少し不便。
- ・市の南北の公共交通機関がバスだけであり、アクセスにも不便さを感じる。
- ・八潮市の人口が増えてきていると思うが、つくばエクスプレスの電車しかなく、不便。電車の本数を増やすか、別の電車の駅を増設する等、対策してほしい。

◆公園・緑地の整備

- ・八潮市には大型公園がない。散歩したり緑の中を散策したりできればよいと思う。
- ・公園が古すぎる。もう少し滑り台やブランコの設置をしてもらいたい（小さな子供も遊べるような遊具を）。
- ・各公園のトイレ（特に大原公園）が古くて汚くて入れない。あと、三郷市のピアラシティ中央公園のような、休日も運営しているカフェとスペースがあると嬉しい。
- ・公園内にタバコの吸い殻がたくさん落ちているので公園内は禁煙にしてほしい。
- ・公園、緑地が不足している。

◆治水・下水道の整備

- ・下水道の整備率が、23区隣接市の中で最も低い状況を改善すべき。
- ・早く下水道を通してほしい。浄化槽の点検費用や、ポンプの故障などで出費が多大。
- ・新町地区の道路冠水を少しでも改善してほしい。

◆住宅・住環境の整備

- ・中川の河川敷をより整備し、憩いの場やデートスポットとしても活用できるようにしてほしい。
- ・住宅地：住民が安全に生活できる環境強化。

◆環境保全・衛生の推進

- ・用水路が蓋などで塞がれていないため、夏場に虫がわいて近隣の建物住民は困っている。また、ゴミを投棄され、衛生面でも問題であるため改善してほしい。
- ・猫の去勢、避妊手術の助成を検討してほしい。
- ・歩きタバコをする人をととても多く見かけるので、しっかりと規制して、ルールを守って喫煙する環境をつくってほしい。八潮駅周辺ですら守られていない。
- ・ゴミ収集の頻度が少ない、粗大ゴミ持込みなどのサービスの使い勝手が悪い。

- ・区画整備による工事の粉塵が飛んでくる。騒音など対策をしっかりとしてほしい。

（6）新公共経営

◆広聴・広報の充実

- ・市の必要情報など、地域別情報など、月頭で各戸のポストに入れてほしい。市公式ウェブサイトはゴチャゴチャしていて探しづらい。
- ・東京からも近く便の良い所のわりに、認知度の非常に低い市のように感じて残念に思うことが多い。SNSなどを使って八潮市のイメージUPを進めてほしい。
- ・広報紙や市のウェブサイトを見る等、自分から情報へアクセスしないと、普通に街を歩いて生活する限りでは市政で何をとり組んでいるのかわからない（体感できない）。
- ・広報紙について、情報が整理され、まとまっている印象はあるが、特集ページなどは、どういう視点で、何を伝えたいのかが不明であると感じることが多々ある。

◆行財政運営

- ・水道の民営化はやめてほしい。一度民営化して、再公営化すると、莫大な請求書が届くため、それが市民の肩にのしかかるのはさけてほしい。
- ・市職員の市民への対応の向上。
- ・八潮は「これから」の部分が多いのに、新しい取り組みや今どきの取り組みがないため人気がない。もっと市の行政や市内施設の魅力によって人を集めるべき。
- ・魅力的なことをいろいろ行ってほしい。映画やアニメの舞台になるようなことを考えてほしい。
- ・計画があるのに、まったく実行されていない（学校、公園、区画整理地の整備、開発）ことを早く実現してほしい。
- ・より議員人員を絞ることにより、責任等を明確にし、行動することにより、市政の力のアップ
プラス市の魅力もあがり、人口増プラス市税アップにもつながるのでは。

◆公共施設等の整備

- ・八潮市の図書館には学習スペースがないので、作ってほしい。
- ・人口が増えているので、役所の建て替えでまずは市役所の方々が働きやすい環境を整えてほしい。公共施設の充実を望む。
- ・八潮駅の周辺に図書館や子供が楽しめる施設、スポーツセンター、イベント会場などをつくってほしい。

第3章 調査票

第17回八潮市市民意識調査

調査ご協力のお願い

平素から市民の皆様には、市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
この調査は、より快適なまちづくりを進めていく上で、市民の皆様が日常どのような意見をもっておられるかを伺い、市政運営の基礎資料とさせていただきますので、この機会にぜひお考えをお聞かせください。

なお、この調査票は令和元年6月1日現在の住民基本台帳から、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に抽出してお送りいたしました。集計結果は公表させていただく予定ですが、無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることは決してございません。また、ご回答の内容が皆様の不利益になるようなことはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年7月 八潮市長 大山 忍

ご記入にあたってのお願い

- 必ず宛名のご本人がお答えください。
- ご記入は、**黒のボールペンもしくは濃い鉛筆**でお願いします。
- お答え（指示のあるもの以外）は、**あてはまる回答番号に○印**をおつけください。
- この調査票をご記入いただきましたら、**同封の返信用封筒**に入れ、**7月29日（月）**までに**切手を貼らず**にご投函ください。
- 調査票及び封筒には、**住所・氏名をお書きにならなくて結構です。**
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<連絡先>

八潮市 企画財政部 秘書広報課
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
電話：048-996-2111（代表）内線373
048-996-2047（ダイヤルイン）
E-mail：hishokoho@city.yashio.lg.jp



ハッピーごまちゃん®

1 あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。
（あなたが自認している性別をお答えください。）

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 19歳以下 | 5. 50歳代 |
| 2. 20歳代 | 6. 60歳代 |
| 3. 30歳代 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40歳代 | |

問3 あなたのお住まいの地区をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | |
|--|
| 1. Aブロック（八條、鶴ヶ曾根、伊草、新町、小作田、松之木） |
| 2. Bブロック（上馬場、中馬場、中央一～四丁目、八潮一～八丁目、緑町一～五丁目） |
| 3. Cブロック（木曾根、二丁目、南川崎） |
| 4. Dブロック（伊勢野、大瀬、古新田、垢、大原、浮塚、大瀬一～六丁目、茜町一丁目） |
| 5. Eブロック（大曾根、西袋、柳之宮、南後谷） |

問4 あなたのご職業をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | | |
|---------------------|--------------|---------------|
| 1. 会社員・公務員 | 4. 農業 | 7. 家事専業 |
| 2. 会社、団体の役員 | 5. パート、アルバイト | 8. 無職 |
| 3. 自営業
（商工業、医院等） | 6. 学生 | 9. その他
（ ） |

問5 あなたの通勤・通学先をおたずねします（パートタイマー等の方も含みます）。
あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 八潮市内 | 6. 千葉県内 |
| 2. 草加市・三郷市・越谷市 | 7. 茨城県内 |
| 3. 上記「1」・「2」以外の埼玉県内 | 8. 自宅 |
| 4. 足立区・葛飾区 | 9. その他（ ） |
| 5. 上記「4」以外の東京都内 | |

問6 あなたの家族構成をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | | |
|---------|-----------------|--------|
| 1. 単身世帯 | 3. 二世帯世帯（親と子） | 5. その他 |
| 2. 夫婦のみ | 4. 三世帯世帯（親と子と孫） | （ ） |

問7 あなたご自身を含めて同居の家族の中に65歳以上の方はいますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問8 同居の家族の中に中学生以下の方はいますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問9 あなたの住宅の形態をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 一戸建て住宅（持ち家） | 5. 民間アパート・賃貸マンション |
| 2. 一戸建て住宅（借家） | 6. 社宅・会社寮 |
| 3. 公営住宅（借家） | 7. その他（ ） |
| 4. 分譲マンション | |

2 定住意向、暮らしやすさについて

問10 あなたは、八潮市に住んでから何年になりますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年～20年未満 |
| 2. 1年～5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年～10年未満 | |

問11 あなたは、八潮市に引き続き住みたいですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい ⇒問11-1へ | 3. 引っ越したい ⇒問11-2へ |
| 2. 当分の間は住み続けたい ⇒問11-1へ | 4. わからない ⇒問12へ |

※問11で“1”または“2”を選択された方にお聞きします。

問11-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○印をおつけください。
（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 通勤・通学の便が良い | 6. 交通の便が良い |
| 2. 働くところがある（近い） | 7. 公共施設が整っている |
| 3. 買い物の便が良い | 8. 居住環境が整っている |
| 4. 近所との人間関係が良い | 9. 教育・子育て環境が良い |
| 5. 住みなれていて愛着を感じる | 10. その他（ ） |

続いて問12へお進みください。

※問11で“3”を選択された方にお聞きします。

問11-2 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○印をおつけください。
(複数選択可)

1. 通勤・通学の便が悪い	6. 交通の便が悪い
2. 働くところがない(遠い)	7. 公共施設が整っていない
3. 買い物の便が悪い	8. 居住環境が整っていない
4. 近所との人間関係が悪い	9. 教育・子育て環境が悪い
5. 住みなれず愛着を感じない	10. その他 ()

続いて問12へお進みください。

3 市からの情報入手方法について

問12 あなたは、市からの情報をどのように得ていますか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

1. 広報紙	5. 町会・自治会の回覧、掲示板
2. 市ホームページ	6. 知人に聞く
3. 市公式SNSやメール配信サービス	7. その他 ()
4. 関係機関に直接問い合わせる	8. 特に市の情報を必要としない

問13 あなたは、「広報やしお」をどの程度読みますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. よく読んでいる ⇒問13-1へ	3. まったく読まない ⇒問13-3へ
2. ときどき読んでいる ⇒問13-1へ	

※問13-1から問13-2は、問13で“1”または“2”を選択された方にお聞きします。

問13-1 「広報やしお」は、12ページを基本に毎月1回発行しています。紙面についてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

①記事の分かりやすさ	1. 大変分かりやすい	2. 分かりやすい	3. 分かりにくい (理由:)
②紙面のレイアウト	1. 大変良い	2. 良い	3. 改善すべきである (理由:)
③ページ数 (12ページ)	1. 適当である	2. 多い (理由:)	3. 少ない (理由:)
④広報紙のサイズ (タブロイド判)	1. 適当である	2. 大きい (理由:)	3. 小さい (理由:)
⑤発行回数 (月1回)	1. 適当である	2. 多い (理由:)	3. 少ない (理由:)

問 13-2 あなたは、広報やしおをどのような方法で入手していますか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1. 新聞折り込み | 5. 金融機関や郵便局 |
| 2. 公共施設 | 6. 市内のスーパーやコンビニエンスストア・商店 |
| 3. 市ホームページ | 7. その他 () |
| 4. 高齢者福祉施設 | |

続いて問14へお進みください。

※問 13 で “3” を選択された方にお聞きします。

問 13-3 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 新聞を購読していない |
| 2. 公共施設など広報を設置しているところが近くにない |
| 3. インターネットなど他の手段で情報を取得している |
| 4. 必要な情報がない |
| 5. その他 () |

続いて問14へお進みください。

4

市政に対する評価と今後への期待

問 14 以下の 34 項目について、満足度をお答えください。

回答例にならって、これまですすめてきた施策の「満足度」について、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで回答欄に○印をおつけください。

	満足度					
	満足	やや満足	どちらとも いえ ない	やや不満	不満	わからない
回答例 ○○の整備	1	2	3	4	5	6
(1)生涯学習の推進	1	2	3	4	5	6
(2)学校教育の充実	1	2	3	4	5	6
(3)青少年育成・社会教育の推進	1	2	3	4	5	6
(4)人権・平和教育	1	2	3	4	5	6
(5)地域コミュニティ活動の推進	1	2	3	4	5	6
(6)市民文化活動の推進	1	2	3	4	5	6
(7)男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	6
(8)健康・保健サービスの充実	1	2	3	4	5	6
(9)医療体制・制度の充実	1	2	3	4	5	6
(10)医療保険・国民年金	1	2	3	4	5	6

	満足度					
	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	わからない
(11) スポーツ・レクリエーション活動の推進	1	2	3	4	5	6
(12) 高齢者福祉・介護サービスの充実	1	2	3	4	5	6
(13) 障がい者（児）福祉の推進	1	2	3	4	5	6
(14) 子育て環境の充実	1	2	3	4	5	6
(15) 防災・減災体制の強化	1	2	3	4	5	6
(16) 防犯対策の充実	1	2	3	4	5	6
(17) 交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	6
(18) 消費者保護対策の推進	1	2	3	4	5	6
(19) 農業環境の促進	1	2	3	4	5	6
(20) 商工業の振興	1	2	3	4	5	6
(21) 観光の振興	1	2	3	4	5	6
(22) 労働環境の整備	1	2	3	4	5	6
(23) 土地利用・市街地形成の推進	1	2	3	4	5	6
(24) 道路の整備	1	2	3	4	5	6
(25) 公共交通機関	1	2	3	4	5	6
(26) 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	6
(27) 上水道の整備	1	2	3	4	5	6
(28) 治水・下水道の整備	1	2	3	4	5	6
(29) 住宅・住環境の整備	1	2	3	4	5	6
(30) 環境保全・衛生の推進	1	2	3	4	5	6
(31) 協働によるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	6
(32) 広聴・広報の充実	1	2	3	4	5	6
(33) 行財政運営	1	2	3	4	5	6
(34) 公共施設等の整備	1	2	3	4	5	6

問 15 上記の表中の 34 項目内で、特に市に力を入れてほしい施策を3つまで選び回答欄にその番号を記入してください。

回答欄

--	--	--

問 16 あなたは過去1年間に、町会・自治会、NPO、ボランティア等の地域活動にどの程度参加していますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 積極的に参加している ⇒問17へ	3. あまり参加したことがない ⇒問16-1へ
2. ときどき参加している ⇒問17へ	4. 参加したことがない ⇒問16-1へ

※問 16 で “3” または “4” を選択された方にお聞きします。

問 16-1 その理由は次のうちどれですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 活動に関心がない
2. 活動するきっかけがない
3. 活動がわずらわしい
4. 活動に参加する時間がない
5. 活動についての情報がない
6. どこに問い合わせれば良いかわからない
7. その他 ()

続いて問 17 へお進みください。

5 人権問題について

問 17 あなたは、人権問題について、どのように考えていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. すべての人に関わる大切な問題	3. 自分とは関わりがない問題
2. 関係ある一部の人の問題	4. わからない

問 18 あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの周りの人（家族・友人等）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. ある ⇒問18-1へ	2. ない ⇒問19へ	3. わからない ⇒問19へ
---------------	-------------	----------------

※問18で“1”を選択された方にお聞きします。

問18-1 それはどのような内容ですか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

1. あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた
2. 名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された
3. 相手の社会的地位(職場以外)、習慣、脅迫等により、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された
4. 職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ(パワー・ハラスメント等)を受けた
5. 人種・信条・性別の違い等により、不平等または不利益な扱いを受けた
6. プライバシーの侵害を受けた
7. インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された
8. 性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)を受けた
9. 夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた
10. ストーカー被害を受けた
11. 学校、地域等で仲間はずれにされた
12. その他 ()

続いて問19へお進みください。

6 男女共同参画について

男女共同参画の実現について

問19 あなたは、男女共同参画という言葉を知っていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 言葉の内容も意味も知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

問20 あなたは、以下の(1)～(8)の場合において、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

	優遇されている 男性の方が	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平等になっている	どちらかといえ ば女性の方が優遇さ れている	優遇されている 女性の方が	わからない
回答例 ○○で	1	2	3	4	5	6
(1)家庭生活で	1	2	3	4	5	6
(2)学校教育の場で	1	2	3	4	5	6

	男性の方が 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇さ れている	女性の方が 優遇されている	わからない
(3) 職場の中で	1	2	3	4	5	6
(4) 地域社会で	1	2	3	4	5	6
(5) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(6) 社会通念・慣習・しきたり等で	1	2	3	4	5	6
(7) 法律や制度で	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問21 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担の考え方について、どう思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 同感する	2. 同感しない	3. わからない
---------	----------	----------

問22 あなたの家庭では、以下の(1)～(8)のことについて、主に男性、女性のどちらが行っていますか。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

	主として男性 が行っている	共同して 分担している	主として女性 が行っている	その他	該当しない
回答例 ○○への参加	1	2	3	4	5
(1) 家事(炊事・洗濯・掃除など)	1	2	3	4	5
(2) 子育て(子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4	5
(3) 介護(介護の必要な親の世話、病人の介護など)	1	2	3	4	5
(4) 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
(5) 自治会、PTA活動	1	2	3	4	5
(6) 生活費の確保	1	2	3	4	5
(7) 家計の管理	1	2	3	4	5
(8) 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	1	2	3	4	5

問 23 性別にとらわれず、誰もが自分らしく、輝いて暮らせるまちをめざして、市では、「男女共同参画」を推進しています。「男女共同参画」を推進するにあたって、あなたは何が必要だと思いますか。次の中から優先順位の高いもの、3つまでに○印をおつけください。

1. 法律や制度上の見直しを行い、性別による差別につながるものを改めること
2. 男女の固定的な役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 男性も女性もお互いをパートナーとして理解し、協力すること
4. 子どもの時から家庭や学校で男女平等について教えること
5. 男性も女性も対等に仕事と家庭の両立ができるようなサービスの充実を図ること
6. 男性も女性も経済力保持、知識・技術の習得など、積極的に力の向上を図ること
7. 就労の場の待遇に性別による差別がないようにすること
8. 行政や企業などの重要な役職など女性の少ない分野に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
9. その他 ()

問 24 各種団体や組合など、地域組織のリーダーに女性が少ない理由は次のうちどれだと思いますか。最もあてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 家事・育児・介護などを主に女性が担っているため役職を務めることが困難だから
2. トップは男性になるという慣習があるから
3. 男性優位の組織になっているから
4. 女性側に積極性がないから
5. 女性の社会的地位が低いから
6. その他 ()
7. わからない

問 25 本市の市議会議員に占める女性の割合は、28.6%です。あなたは、議員に女性が少ない理由は、次のうちどれだと思いますか。最もあてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 家事・育児・介護などを主に女性が担っているため議員活動を行うことが困難だから
2. 議員は男性になるという慣習があるから
3. 男性優位の組織になっているから
4. 女性側に積極性がないから
5. 女性の社会的地位が低いから
6. その他 ()
7. わからない

問 26 あなたは、女性が職場において管理職になることについて、どう思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 賛成
2. 反対
3. どちらでもよい

問 30 あなたは、DVを防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

1. DVの正しい理解の啓発
2. 家庭・学校における男女平等教育
3. 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の拡充・強化
4. 加害者更生プログラムの実施
5. 相談機関の増設
6. 男性の相談窓口の設置
7. その他 ()
8. わからない

LGBTについて

問 31 あなたは、LGBTという言葉を知っていますか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

1. 言葉の内容も意味も知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

LGBTとは

- | | |
|-------------------------|-------------|
| Lesbian (レズビアン) | : 女性同性愛者 |
| Gay (ゲイ) | : 男性同性愛者 |
| Bisexual (バイセクシャル) | : 両性愛者 |
| Transgender (トランスジェンダー) | : 心と体の性の不一致 |

の頭文字をとった単語であり、性的少数者の総称のひとつです。

問 32 あなたは、学校や職場内の人々が、LGBT等の性的少数者だった場合、これまでと変わりなく接することができますか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

1. できる
2. できない
3. わからない

問33 あなたは、LGBT等の性的少数者の方のために、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号に○印をおつけください。（複数選択可）

1. 衛生環境の整備（トイレ、洗面所、更衣室等）
2. 災害時等の避難所の設置や運営体制（プライバシーの確保、防犯対策等）
3. 相談体制の充実
4. 正しい知識と理解を広めるための啓発
5. 正しい知識と理解を広めるための学校教育
6. 行政職員や教職員に対する研修の実施
7. 安心して集まれるコミュニティスペースの運営
8. パートナーシップ証明の発行
9. その他（)
10. 特にない
11. わからない

WLBについて

問34 あなたは、WLB（ワーク・ライフ・バランス）という言葉聞いたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 言葉の内容も意味も知っている
2. 言葉は知っている
3. 知らない

問35 男女ともに仕事を続けていけるよう、市では、仕事と個人の生活が両立できる仕組みづくり（WLB）を推進しています。WLBを推進するにあたって、あなたは何かが必要だと思いますか。次の中から優先順位の高いもの、3つまでに○印をおつけください。

1. 残業や長時間労働の見直し
2. 育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価
3. 短時間勤務や在宅勤務、フレックスタイム制度など、柔軟な働き方の整備
4. 配偶者や家族の協力
5. 固定的な性別役割分担意識の改善
6. 保育所の整備等、社会的支援の充実
7. 職場における監督者の意識啓発
8. 職場における従業員の意識改革
9. 法律や制度の整備
10. その他（)

問 36 あなたの働き方は、「現実」にはどうですか（どうでしたか）。

また、「理想」はどうあるべきだと思いますか。男性は、配偶者・パートナーについてお答えください。※結婚には事実婚を含みます。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

【現実（1つに○）】

1. 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続けている（いた）
2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている（いた）
3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている（いた）
4. 結婚後または子育て終了時から仕事をもっている（いた）
5. 子どもができるまでは仕事もち、子どもができたなら家事や子育てに専念している（いた）
6. 結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念している（いた）
7. 仕事はもっていない
8. その他（)
9. 配偶者・パートナーがいない

【理想（1つに○）】

1. 結婚や出産の有無にかかわらず、仕事を続ける
2. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
3. 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
4. 結婚後または子育て終了時から仕事をもつ
5. 子どもができるまでは仕事もち、子どもができたなら家事や子育てに専念する
6. 結婚するまで仕事もち、結婚後は家事などに専念する
7. 仕事はもたない
8. その他（)
9. わからない

7 インターネット利用状況について

問 37 現在、あなたはインターネットを利用していますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 利用している ⇒問37-1へ | 2. 利用していない ⇒問37-4へ |
|-------------------|--------------------|

※問 37-1 から問 37-3 は、問 37 で “1” を選択された方にお聞きします。

問 37-1 あなたのインターネットの利用頻度について、おたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 毎日 | 4. 月に2・3回程度 |
| 2. 週に2・3回程度 | 5. 月に1回程度 |
| 3. 週に1回程度 | 6. その他 () |

問 37-2 あなたがインターネットを利用する場合の機器について、お伺いします。あてはまる番号に○印をおつけください。(複数選択可)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. パソコン | 4. 携帯電話 |
| 2. タブレットPC | 5. 地上デジタル放送対応テレビ |
| 3. スマートフォン | 6. その他 () |

問 37-3 現在、八潮市ではインターネットを利用した電子申請システムで、各種届け出や、講座等の申し込みができますが、知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 電子申請システムを知っていて、利用したことがある |
| 2. 電子申請システムを知っているが、利用したことはない |
| 3. 電子申請システムを知らない |

続いて問 37-4 へお進みください。

問 37-4 あなたは、八潮市のホームページをどれくらいの頻度でご覧になりますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 週に3回以上 ⇒問37-5へ | 4. 年に数回程度 ⇒問37-5へ |
| 2. 週に1～2回程度 ⇒問37-5へ | 5. 利用しない ⇒問37-6へ |
| 3. 月に1～2回程度 ⇒問37-5へ | |

※問37-4で“1”から“4”のいずれかを選択された方にお聞きします。

問37-5 市ホームページについてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をおつけください。

①ホームページのデザイン	1. 大変良い	2. 良い	3. 変えたほうが良い (理由:)
②使いやすさ(操作性)	1. 大変使いやすい	2. 使いやすい	3. 使いづらい (理由:)
③写真やイラスト	1. 大変良い	2. 良い	3. 変えたほうが良い (理由:)
④情報の見つけやすさ(分類方法)	1. 大変見つけやすい	2. 見つけやすい	3. 見つけづらい (理由:)

続いて問37-6へお進みください。

問37-6 現在、八潮市では、やしお840メール配信サービスで、さまざまな情報を配信していますが、知っていましたか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | |
|---|
| <p>1. メール配信サービスを知っていて、利用したことがある</p> <p>2. メール配信サービスを知っているが、利用したことはない</p> <p>3. メール配信サービスを知らない</p> |
|---|

続いて問38へお進みください。

問38 市政等にご意見、ご要望がございましたら自由にご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は7月29日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

第17回 八潮市市民意識調査報告書

編集・発行：八潮市企画財政部秘書広報課

〒340-8588 埼玉県八潮市中央1-2-1

電話：048-996-2111（代表）
